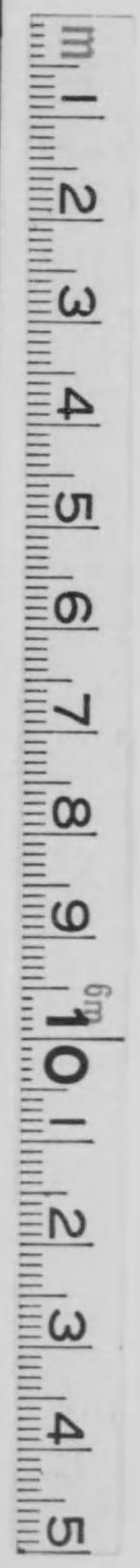


291
30



鹿兒島高等農林學校一覽

自大正十一年
至大正十一年

鹿兒島高等農林學校

始



291-30

鹿兒島高等農林學校一覽

(自大正十一年至大正十二年)

目錄

○沿革略

○法令

第一	文部省直轄諸學校官制抄	七
第二	文部省直轄諸學校專任職員定員令抄	九
第三	高等官官等俸給令抄	九
第四	判任官俸給令抄	四
第五	文部省直轄諸學校教官俸給ノ支給ニ關スル件	一五
第六	直轄諸學校長職務規程	一六
第七	文部省直轄諸學校雇外國人使用方	一七
第八	文部省直轄諸學校外國人特別入學規程抄	一七
第九	學生生徒身體檢查規程	一八
第十	發育概評決定標準	二七

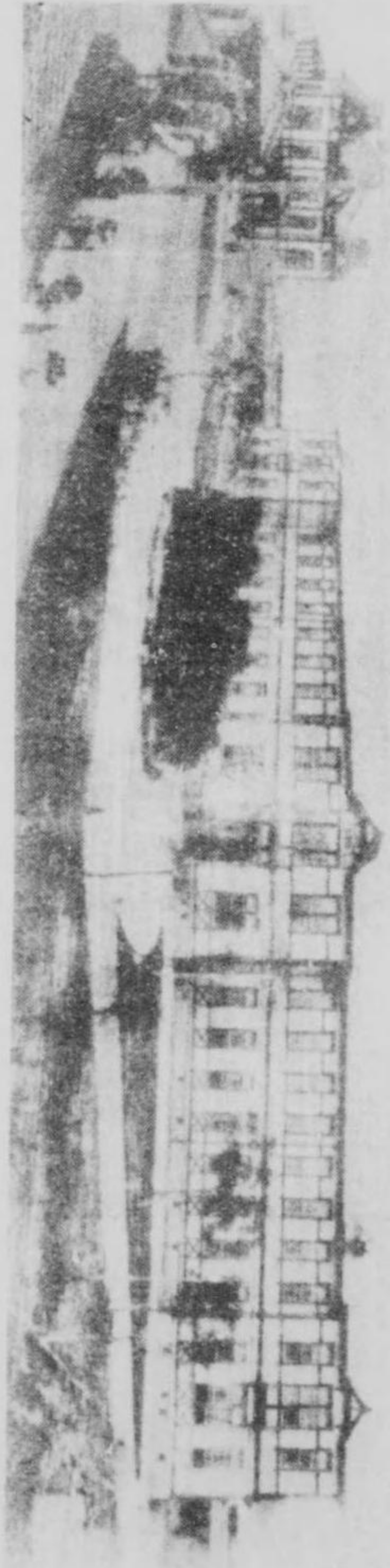
大正 11 26 內交

第十一	實業學校令抄	二一九
第十二	專門學校令抄	二一九
第十三	專門學校入學者檢定規程	三〇
第十四	甲種農業學校卒業者入學ニ關スル件	三二
第十五	二箇以上ノ學校ニ入學許可ノ場合ニ關スル件	三二
第十六	教員無試験檢定ニ關スル指定ノ件	三三
第十七	實業學校教員養成規程抄	三三
第十八	奏任文官及判任文官ノ優遇ニ關スル件	三六
第十九	鹿兒島高等農林學校規程	三七
○學年曆		五三
○細則		五四
第一	學則	五四
第二	別科規程	八一
第三	圖書館規程	八四
第四	學生心得	八九

第五	寄宿舍規則	九〇
第六	通學生取締規則	九四
第七	學生制服	九四
第八	校旗ニ關スル規程	九八
第九	寄宿料徴收規程	一〇一
第十	非常手配規程	一〇二
第十一	獎學金	一〇七
第十二	玉利農學博士獎學資金給與規程	一〇八
第十三	學校醫職務規程	一〇八
第十四	見習生規程	一一〇
○出版物		一一三
○敷地、建物及農林實習場		一一七
○職員		一一七
○學生		一二三
○卒業生		一五五

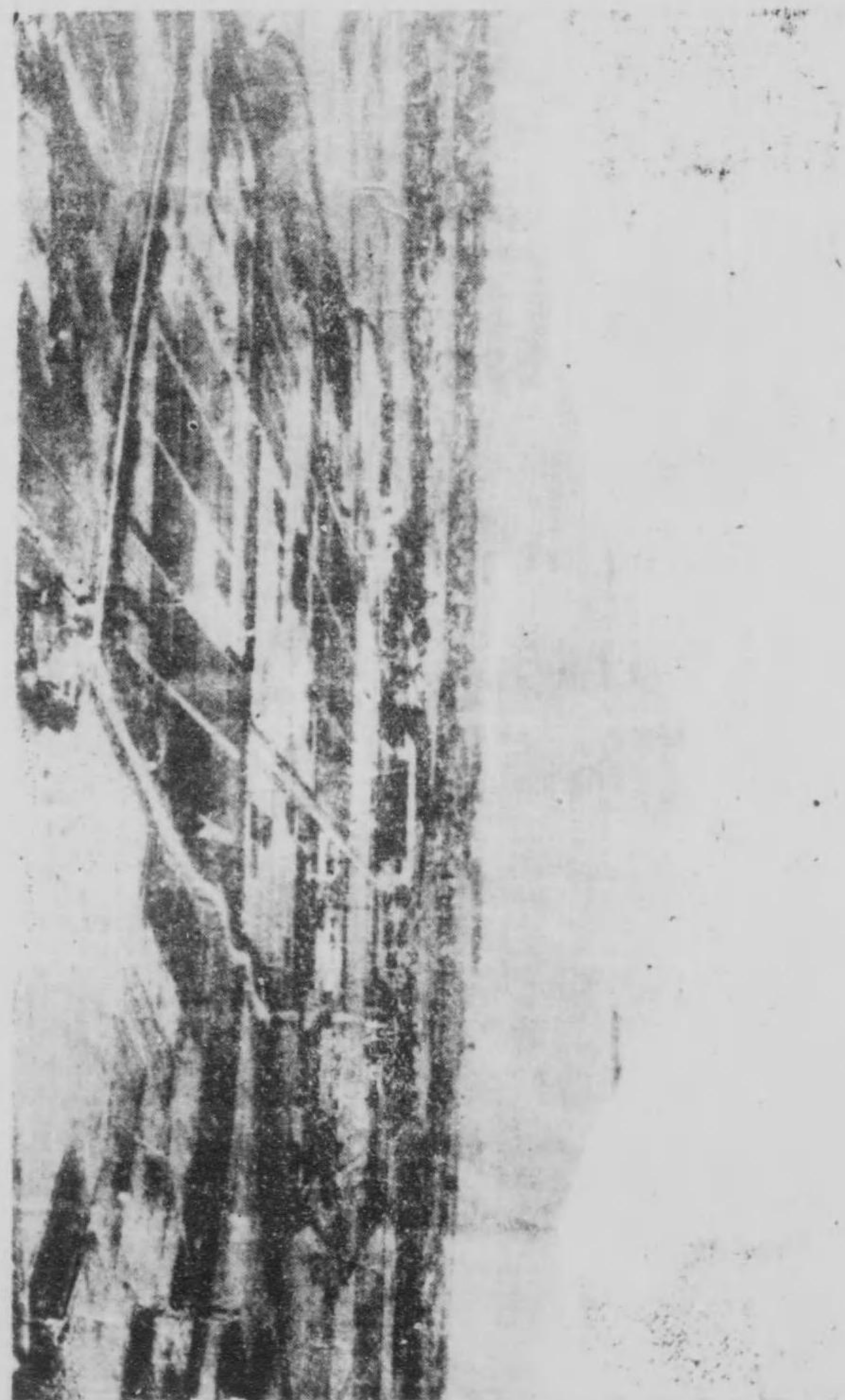
○ 卷一	1
○ 卷二	1
○ 卷三、卷四及卷五	1
○ 出 刊	1
第十編	1
第十一編	1
第十二編	1
第十三編	1
第十四編	1
第十五編	1
第十六編	1
第十七編	1
第十八編	1
第十九編	1
第二十編	1
第二十一編	1
第二十二編	1
第二十三編	1
第二十四編	1
第二十五編	1
第二十六編	1
第二十七編	1
第二十八編	1
第二十九編	1
第三十編	1

鹿兒島高等農林學校前面



華僑學校建築圖

鹿兒島高等農林學校全圖



Faint, illegible text, possibly bleed-through from the reverse side of the page. The text is arranged in several lines and is too light to read accurately.

○沿革略

本校ハ明治四十一年三月三十日勅令第六十八號ニ依リ設置セラレ同日勅令第六十九號ヲ以テ本校員
定員令ヲ公布セララル

明治四十二年四月六日勅令第八十八號ヲ以テ本校職員定員令ヲ改正セララル

五月八日盛岡高等農林學校長農學博士玉利喜造校長ニ任セララル

五月三十一日位置ヲ鹿兒島縣鹿兒島市荒田村ニ定メラレ同日文部省内ニ事務所ヲ設置シ事務ヲ開始
ス

七月六日學則ヲ制定ス

七月七日文部省令第十四號專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ依リ無試驗檢定ヲ受クルコトヲ
得ル者ヲ指定セラレ同日農學科及ヒ林學科第一學年生徒各三十名ヲ募集ス

七月十五日文部省内本校事務所ヲ鹿兒島縣鹿兒島市ニ新設ノ本校内ニ移ス

九月二十一日入學志願者三百三十名ノ内農學科ニ三十一名林學科ニ二十八名及ヒ選科ニ清國人三名
斗六十二名ニ入學ヲ許可ス

九月二十八日入學式ヲ舉行シ翌二十九日ヨリ授業ヲ始ム

十月十六日 天皇皇后兩陛下ノ御眞影竝教育ニ關スル御眞署ノ 勅語謄本ヲ拜受ス

十一月三十日小松原文部大臣瀬戸、茨木兩視學官、黑澤祕書官等ヲ從ヘ臨校セラル

十二月十二日本校所屬演習林トシテ鹿兒島縣肝屬郡垂水村、牛根村及ヒ佐多村所在地積九百四十七町九畝十歩ヲ農商務省ヨリ讓受ク

明治四十三年三月二十六日勅令第六十七號ヲ以テ職員ノ定員ヲ改正セラル

八月十日入學志願者三百四十三名ノ内農學科ニ三十一名林學科ニ三十名及ヒ選科ニ清國人八名計六十九名ニ入學ヲ許可ス

明治四十四年三月三十一日勅令第七十三號ヲ以テ職員ノ定員ヲ改正セラル

五月十三日大浦農商務大臣、下岡農務局長、堀祕書官等ヲ隨ヘ臨校セラル

八月七日入學志願者三百五十名ノ内農學科ニ三十四名林學科ニ三十三名及ヒ選科ニ清國人八名計七十五名ニ入學ヲ許可ス

十一月二十三日本校開校式ヲ舉行ス眞野文部省實業學務局長文部大臣代理トシテ臨校セラル

明治四十五年七月十一日第一回得業證書授與式ヲ舉行シ農學科二十六名林學科二十一名ニ得業證書ヲ授與シ農學科選科二名及ヒ林學科選科一名ニ修了證書ヲ授與セリ當日眞野文部省實業學務局長文部大臣代理トシテ臨校セラル

大正元年八月六日入學志願者三百四十二名ノ内農學科ニ三十二名林學科ニ二十八名及ヒ選科ニ二名計六十二名ニ入學ヲ許可ス

十一月二十六日本校牧場敷地トシテ鹿兒島縣熊毛郡北種子村所在地積貳百六拾八町六段貳畝貳歩ヲ農商務省ヨリ讓受ク

大正二年六月十三日勅令第八十三號ヲ以テ本校職員定員令ヲ改正セラル

七月十一日第二回得業證書授與式ヲ舉行シ農學科二十六名林學科二十六名ニ得業證書ヲ授與シ農學科選科一名及ヒ林學科選科二名ニ修了證書ヲ授與セリ

八月四日入學志願者三百八十七名ノ内農學科ニ三十名林學科ニ二十九名及ヒ選科ニ一名計六十名ニ入學ヲ許可ス

大正三年七月十一日第三回得業證書授與式ヲ舉行シ農學科二十九名林學科二十九名ニ得業證書ヲ授與シ農學科選科二名及ヒ林學科選科二名ニ修了證書ヲ授與セリ

八月四日入學志願者四百十五名ノ内農學科ニ三十名林學科ニ二十四名及ヒ選科ニ一名計五十五名ニ入學ヲ許可ス

十一月十日日本校學則ノ一部ヲ改正ス

十一月十八日本校牧場敷地ノ一部トシテ鹿兒島縣熊毛郡北種子村所在地積壹町貳段九畝拾八歩ヲ同

村ヨリ寄附セシニ付受領セリ

大正四年二月一日本校學則ノ一部ヲ改正ス

三月三十一日本校牧場敷地ノ一部トシテ鹿兒島縣熊毛郡北種子村所在地積參段七畝貳拾八步ヲ買收ス

四月十六日牧場畜舎貳百四拾貳坪ノ新築竣成シタルヲ以テ牧場ヲ開始セリ

四月二十日 勅語騰本下賜セララル

七月七日本校學則ノ一部ヲ改正ス

七月十一日第四回得業證書授與式ヲ舉行シ農學科二十六名林學科二十四名ニ得業證書ヲ授與シ農學科選科二名及ヒ林學科選科三名ニ修了證書ヲ授與セリ

八月七日入學志願者三百九名ノ内農學科ニ三十七名林學科ニ三十名及ヒ選科ニ三名計七十名ニ入學ヲ許可ス

十月十六日 天皇陛下ノ御眞影ヲ拜受ス

大正五年四月一日第五回得業證書授與式ヲ舉行シ研究科二名ニ研究證書ヲ農學科三十三名及ヒ林學科二十四名ニ得業證書ヲ授與シ農學科選科二名ニ修了證書ヲ授與セリ

四月五日入學志願者二百九十一名ノ内農學科ニ三十八名林學科ニ二十八名及ヒ選科ニ二名計六十八

名ニ入學ヲ許可ス

四月十五日本校學則中學科課程ヲ改正ス

五月八日高田文部大臣樞秘書官ヲ隨ヘ臨校セララル

六月十日文部省告示第九十四號ヲ以テ明治三十六年文部省告示第三十號教員無試驗檢定ニ關スル指定中改正セララル

大正六年三月十六日第六回得業證書授與式ヲ舉行シ研究科一名ニ研究證書ヲ農學科二十三名及ヒ林學科二十三名ニ得業證書ヲ授與シ農學科選科一名ニ修了證書ヲ授與セリ

三月二十九日入學志願者二百五十六名ノ内農學科ニ四十名林學科ニ三十名及ヒ選科ニ一名計七十一名ニ入學ヲ許可ス

大正七年三月十六日第七回得業證書授與式ヲ舉行シ農學科三十一名及ヒ林學科二十三名ニ得業證書ヲ授與シ農學科選科一各及ヒ林學科選科一名ニ修了證書ヲ授與セリ

四月五日入學志願者二百八十七名ノ内農學科ニ三十九名林學科ニ三十三名及ヒ選科ニ四名計七十六名ニ入學ヲ許可ス

十月三日指宿植物試驗場ヲ開設ス

大正八年三月十五日第八回得業證書授與式ヲ舉行シ農學科三十四名(内支那人二名)及ヒ林學科二十

五名ニ得業證書ヲ授與シ農學科選科一名ニ修了證書ヲ授與セリ
三月二十八日入學志願者二百六十名ノ内農學科ニ四十三名林學科ニ三十三名及ヒ選科ニ一名計七十
七名ニ入學ヲ許可ス

大正九年二月七日本校學則中學科課程改正養蠶學科増設セララル

三月十四日第九回得業證書授與式ヲ舉行シ農學科三十五名(内支那人一名)及ヒ林學科二十五名ニ得
業證書ヲ授與セリ

三月二十六日 皇太子殿下本校ニ行啓器械標本等ヲ臺覽アラセラレ校庭ニ記念樹ヲ御手栽遊ハサル
四月六日入學志願者三百三十五名ノ内農學科ニ三十八名林學科ニ二十九名養蠶學科ニ十三名及ヒ選
科ニ二名計八十二名ニ入學ヲ許可ス

五月三十日勅令第百八十號ヲ以テ本校職員定員令ヲ改正セララル
九月七日別科規程制定ノ件許可セララル

大正十年三月二日本校學則中學科課程改正農藝化學科増設セララル

三月十四日第十回得業證書授與式ヲ舉行シ農學科四十一名(内支那人二名)及ヒ林學科三十名ニ得業
證書ヲ授與セリ

三月二十九日入學志願者三百三十五名ノ内農學科ニ二十八名林學科ニ二十七名養蠶學科ニ十名農藝

化學科ニ十二名及選科ニ三名計八十名ニ入學ヲ許可ス

○法 令

第一 文部省直轄諸學校官制抄 (明治二十六年勅令第八十六號)

第一條 文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ

東京高等師範學校	廣島高等師範學校	東京女子高等師範學校
奈良女子高等師範學校	盛岡高等農林學校	鹿兒島高等農林學校
鳥取高等農業學校	上田蠶絲專門學校	東京高等蠶業學校
京都高等蠶業學校	神戸高等商業學校	長崎高等商業學校
山口高等商業學校	小樽高等商業學校	名古屋高等商業學校
第一高等學校	第二高等學校	第三高等學校
第四高等學校	第五高等學校	第六高等學校
第七高等學校造士館	第八高等學校	新潟高等學校
松本高等學校	山口高等學校	松山高等學校
水戸高等學校	山形高等學校	佐賀高等學校

八

弘前高等學校 松江高等學校 千葉醫學專門學校
 岡山醫學專門學校 金澤醫學專門學校 長崎醫學專門學校
 新潟醫學專門學校 富山醫學專門學校 東京高等工業學校
 大阪高等工業學校 京都高等工藝學校 名古屋高等工業學校
 熊本高等工業學校 米澤高等工業學校 桐生高等工業學校
 橫濱高等工業學校 廣島高等工業學校 秋田鐵山專門學校
 金澤高等工業學校 仙臺高等工業學校 明治專門學校
 神戶高等商船學校 東京外國語學校 東京美術學校
 東京音樂學校 東京盲學校 東京聾啞學校
 松江高等學校 東京高等學校 大阪高等學校
 浦和高等學校 福岡高等學校

第六條 文部省直轄學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長 教授 生徒監
 助教授 書記

第七條 校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第八條 教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第九條 生徒監ハ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒監ハ校長ノ指揮ヲ受ケ専ラ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

第十七條 專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スベキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ

苦クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十九條 文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

第二 文部省直轄諸學校專任職員定員令抄 (明治三十五年勅令第九十九號)

鹿兒島高等農林學校	校長	一	教授	二	助教授	一	書記	一
-----------	----	---	----	---	-----	---	----	---

第三 高等官官等俸給令抄 (明治四十三年三月勅令第四百三十四號)

第一條 親任式ヲ以テ敘任スル官ヲ除クノ外高等官ヲ分テ九等トス親任式ヲ以テ敘任スル官及ビ一

等官二等官ヲ勅任官トシ三等官乃至九等官ヲ奏任官トス

第三條 高等官ノ官等ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外別表第一表ニ依ル(別表略ス)

官制上他ノ官ニ在ル者ヲ以テ兼任セシムル官ニシテ別ニ官等ヲ定メサルモノハ本官ノ官等ニ依ル

第四條 初メテ高等文官ニ任セララル者ノ官等ハ六等以下トス

高等文官ニシテ退官シタル者再ビ高等文官ニ任セララル場合ニ於テハ其ノ官等ハ前官ノ官等以下トス

但シ前官官等在職年數二年ヲ超エタル者ハ前官ノ官等ニ一等ヲ進ムルコトヲ得

前官ノ官等七等以下ナルトキハ前項ノ規定ニ拘ハラズ陸シテ六等官ニ至ルコトヲ得

第五條 高等文官ノ官等ハ別ニ進級ノ例ヲ定メタルモノ及ビ七等以下ノモノヲ除キ在職二年ヲ超ユルニ非サレバ陸級スルコトヲ得ス

第九條 勅任文官(親任式ヲ以テ叙任スル文官ヲ除ク)ニシテ五年以上其ノ官ノ最高俸ヲ受ケテ在職シ功績顯著ナル者ニハ特ニ七百圓以内ノ年功加俸ヲ給スルコトヲ得

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ勅任文官(親任式ヲ以テ叙任スル文官ヲ除ク)ノ在職年數ニシテ現官ノ最高俸額以上ノ俸給ヲ受ケタル年數ハ之ヲ現官ノ最高俸ヲ受ケタル在職年數ニ通算ス

前項ノ規定ニ依リ在職年數ヲ通算シ五年以上ニ及フ者ヲ勅任文官ニ任スル際ハ特ニ第一項ノ年功加俸ヲ給スルコトヲ得

第九條ノ二 高等官二等ヲ最高官トスル勅任文官ニシテ三年以上高等官二等ニ在職シ功績顯著ナル者ハ特ニ高等官一等ニ陞級スルコトヲ得

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ高等官一等又ハ高等官二等ヲ最高官等トスル勅任文官ノ高等官二等以上ノ在職年數ハ之ヲ現官ノ高等官二等官ノ在職年數ニ通算ス

前官高等官一等ノ勅任文官ニ在リタル者ヲ高等官二等ヲ最高官トスル勅任文官ニ任スル場合ニ於テハ特ニ高等官一等ニ級スルコトヲ得

第十條 (抄出)又部省直轄諸學校教授ニシテ五年以上高等官三等ニ在リ功績アル者ハ二十七人ヲ限リ高等官二等ニ陞級スルコトヲ得

但シ各校二人ヲ超ユルコトヲ得ス

第十二條 奏任文官ノ俸給ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外別表第二表各號ノ一ニ依ル

第十三條 別表第二表第一號ニ依ル官ノ官等ハ高等官三等乃至七等同第二號ニ依ルモノハ高等官四等乃至八等、同第三號ニ依ルモノハ高等官五等以下トス

第十四條 別表第二表第一號ニ依ル諸官左ノ如シ(抄)

文部省直轄學校教授

第十九條 別表第二表第一號乃至第三號又ハ別表第五表ニ依ル奏任文官ニシテ五年以上各其ノ官ノ

一級俸ヲ受ケテ在職シ功績顯著ナル者ニハ特ニ七百圓以内ノ年功加俸ヲ給スルコトヲ得

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ高等文官ノ在職年數ニシテ現官ノ一級俸額以上ノ俸給ヲ受ケタル年數ハ之ヲ現官ノ一級俸ヲ受ケタル在職年數ニ通算ス

前項ノ規定ニ依リ在職年數ヲ通算シ五年以上ニ及フ者ヲ奏任文官ニ任スル際ハ特ニ第一項ノ年功加俸ヲ給スルコトヲ得

第二十一條 第九號ノ二第二項及前條第二項ノ規定ニ依リ在職年數ヲ通算シテ官等ヲ陞叙スル場合ニ於テハ第五條第一項ノ規定ノ適用ヲ妨ケス

第二十三條 高等文官死亡シタルトキハ在職最終年俸三分ノ一ノ額ニ相當スル死亡賜金ヲ其ノ遺族ニ給ス

前項遺族ト稱スルハ配偶者、子、父母、孫、祖父母及ヒ兄弟、姉妹ニシテ同一戶籍内ニ在ル者ヲ謂フ

第一項ノ死亡賜金ヲ受クヘキ遺族ノ順位ハ前項ニ掲ケタル順序ニ依リ同順位内ニ在リテハ家督相續人ハ其ノ他ノ者ニ、男ハ女ニ、長ハ幼ニ先ツ

終身官ニ付テハ其ノ在職中死亡シタル場合ニ限り前三項ノ規定ヲ適用ス

第二十四條 年俸ハ十二分ニシテ毎月之ヲ支給ス

第二十五條 俸給ハ新任増俸減俸トモ總テ發布ノ翌日ヨリ計算ス

退職又ハ待命ヲ命セラレ年俸全額ヲ給セサル場合ハ減俸ト看做シ前項ノ規定ヲ適用ス

第二十七條 廢官退官退職及ヒ死亡ノトキハ年俸ヲ月割計算トシ當月分ノ全額ヲ給ス

第二十八條 退職廢官退官ノ者事務引繼殘務調理ノ爲特ニ命ヲ受ケ事務ニ従事スル場合ニ於テハ其ノ間仍從前ノ年俸ヲ給ス

第二十九條 病氣ノ爲執務セサルコト九十日ヲ超ユル者及ヒ私事ノ故障ニヨリ執務セサルコト三十日ヲ超ユル者ハ俸給ノ半額ヲ減ス

但シ公務ノ爲傷痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ又ハ服忌ヲ受クル者及ヒ特旨ニ由リ賜暇休養スル者ハ此ノ限ニ在ラス

第二表 第一號

奏任文官年俸表

(文部省直轄諸學校教授ハ本表ニ依ル)

一級
二級
三級
四級
五級
六級
七級
八級
九級
十級
十一級
十二級

4,500	4,100	3,700	3,300	2,900	2,500	2,100	1,700	1,300	900	500
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	-----

官名	級	俸
文部省直轄	一級	5,100
諸學校長	二級	4,800
文部省直轄	三級	4,500
諸學校長	四級	4,200
文部省直轄	五級	3,900
諸學校長	六級	3,600
文部省直轄	七級	3,300
諸學校長	八級	3,000
文部省直轄	九級	2,700
諸學校長	十級	2,400
文部省直轄	十一級	2,100
諸學校長	十二級	1,800

第四 判任官俸給令抄 (明治四十三年三月 勅令第三百三十五號)

第一條 判任官ノ月俸ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外別表ニ依ル

第三條 判任文官ハ毎級在職一年以上ニ至ラサレハ増給スルコトヲ得ス
但シ六級俸以下ノ者ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 判任文官ニシテ一級俸ヲ受ケ五年ヲ超エ事務熟練優等ナル者ハ特ニ二百圓迄ヲ給スルコトヲ得

第五條 判任文官ノ俸給ハ月俸七十五圓未滿ノ者ニ限り級俸ニ拘ハラズ適宜ノ金額ヲ定メ之ヲ支給スルコトヲ得
但シ各所定ノ最低俸給額ヲ下ルコトヲ得ス

第十二條 前四條ノ判任文官最上級俸ヲ受ケ三年ヲ超エ事務熟練優等ナル者ハ特ニ月額十圓以内ヲ加給スルコトヲ得

第十三條 判任官死亡シタルトキハ在職最終月俸三箇月分ノ額ニ相當スル死亡賜金ヲ其ノ遺族ニ給ス

前項遺族ト稱スルハ配偶者、子、父母、孫、祖父母及ヒ兄弟姉妹ニシテ同一戸籍内ニ在ル者ヲ謂フ

第一項ノ死亡賜金ヲ受クヘキ遺族ノ順位ハ前項ニ掲ケタル順序ニ依リ同順位内ニ在リテハ家督相續人ハ其ノ他ノ者ニ男ハ女ニ、長ハ幼ニ充ツ

第十四條 月俸ハ毎月下旬之ヲ支給ス
前項ノ外俸給ノ支給ニ關シテハ高等官官等俸給令ノ例ニ依ル

(別表)

級	俸	月額
一級俸	5,100	1,600
二級俸	4,800	1,350
三級俸	4,500	1,150
四級俸	4,200	1,000
五級俸	3,900	850
六級俸	3,600	750
七級俸	3,300	650
八級俸	3,000	550
九級俸	2,700	500
十級俸	2,400	450
十一級俸	2,100	400

第五 文部省直轄諸學校教官俸給ノ支給ニ關スル件 (明治四十三年三月 勅令第三百五十四號)

第一條 文部省直轄諸學校教官ノ俸給ハ其ノ授業ノ時間又ハ學科ノ難易輕重ニ依リ最低額以下ヲ給スルコトヲ得

第二條 文部省直轄諸學校教官ニシテ一校又ハ數校ノ教官ヲ兼任スル者ニハ本官及ヒ兼官ニ於ケル授業ノ時間又ハ學科ノ難易輕重ニ依リ其ノ俸給額ヲ分割シテ各學校ヨリ給スルコトヲ得

第三條 文部省直轄諸學校ノ囑託講師ニハ教官俸給額ノ中ヨリ相當ノ手當ヲ給スルコトヲ得

第四條 前三條ノ規定ハ東北帝國大學農科大學附屬大學豫科、土木工程科、林學科、水產學科又ハ隨時教員養成所ノ教授又ハ講師之ニ之ヲ準用ス

附 則

本令ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第六 直轄諸學校校長職務規程 (大正二年六月二十三日文部大臣訓令)

第一條 校長ハ判任官ノ進退ヲ具狀シ及ヒ高等官ノ進退ニ付意見ヲ具ヘテ文部大臣ニ稟申スルコトヲ得

第二條 校長事故アルトキハ文部大臣ノ許可ヲ經テ高等官ヲシテ其ノ事務ヲ代理セシムルコトヲ得

第三條 左ノ事項ハ校長之ヲ專行スヘシ

但シ第六號及ヒ第八號ニ關シテハ處分後文部大臣ニ報告スヘシ

第一 教官ノ學科擔任及ヒ事務員ノ分課ヲ定ムルコト

第二 規則ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコト

第三 俸給月額八十五圓以下ノ雇員ノ進退ニ關スルコト

第四 教官以下ノ内國各地出張ニ關スルコト

第五 教官以下ノ除服出仕請暇ニ關スルコト

第六 講師ノ解囑及ヒ其ノ報酬減額ニ關スルコト

第七 經費中ノ目ヲ流用スルコト

第八 三日以内ノ臨時休業ヲ爲スコト

第四條 前條ニ掲ケタルモノノ外文部大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ施行スヘシ

第七 文部省直轄諸學校雇外國人使用方 (明治二十六年勅令第九十六號)

帝國大學官立大學及ヒ文部省直轄諸學校ニ於テ學科教授ノ必要アルトキハ帝國大學總長官立大學長及ヒ直轄諸學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ雇外國人ヲシテ教官ノ職務ニ當ラシムルコトヲ得

第八 文部省直轄諸學校外國人特別入學規程抄 (明治四十三年文部省令第十五號)

第一條 外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若クハ數科ノ教科ヲ受ケムトスル者ハ外務省在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限リ特ニ

之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 前條ニ依リ教授ヲ受ケムトスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若クハ學校長ニ願出ツヘシ

第三條 帝國大學總長若クハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限り之ヲ許可スヘシ

但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限りニ在ラス

第四條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケムトスル者ニハ試験ノ上之ヲ附與スヘシ

第五條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試験料入學料及ヒ授業料ヲ徴收セサルコトヲ得

第六條 帝國大學總長及ヒ學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

第九 學生生徒兒童身體檢查規程

(大正九年七月文
部省令第十六號)

第一條 學生生徒兒童身體檢查ハ毎年四月ニ於テ之ヲ施行スヘシ

但シ止ムヲ得サル場合ハ五月ニ於テ之ヲ施行スルコトヲ得

監督官廳又ハ學校長ニ於テ必要ト認ムルトキ又ハ學校醫ニ於テ必要ト認メ學校長ノ同意ヲ得タルトキハ身體檢查ノ全部若ハ一部ヲ臨時施行スルコトヲ得

第二條 身體檢查ハ學校醫ヲシテ之ヲ行ハシムヘシ

學校醫ナキ場合若ハ學校醫ガ身體檢查ヲ行ヒ難キ事情アルトキハ他ノ醫師ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

學校職員又ハ他ノ適當ナルモノヲシテ身體檢查ノ一部ヲ助ケシムルコトヲ得

第三條 身體檢查ハ左ノ項目ニ就キ施行スヘシ

一、發育(身長、體重、胸圍、概評) 二、營養 三、脊柱 四、視力及屈折狀態 五、色神 六、眼疾 七、聽力 八、耳疾 九、齒牙 十、其ノ他ノ疾病及異常 十一、監察ノ要否

前項目ノ外必要ト認メタル事項ハ特ニ検査ヲ行フコトヲ得

色神検査ハ在學中一回行ヒタルトキハ其ノ後之ヲ省略スルコトヲ得

以下畧ス

第四條 身體検査ハ左ノ各號ニ準據シテ施行スヘシ

一、検査ノ表記ニハ度ハ尺、衡ハ貫ヲ以テ單位トシ四捨五入法ヲ用ヒテ度ハ分、衡ハ分ニ止ムヘシ

- 二、身長ヲ測定スルニハ足袋、靴等ヲ脱セシメ兩踵ヲ密接シテ直立シ兩上肢ヲ鉛直ニ垂レ頭部ヲ正位ニ保タシムヘシ又女子ニシテ髻アル者ハ小髻ヲ髻下ニ水平ニ挿入レテ測定スヘシ
- 三、體量ノ著衣ノ儘測定シタルトキハ其ノ著衣ノ重量ヲ全重量ヨリ除去スヘシ
- 四、胸圍ハ起立ノ姿勢ニ於テ兩上肢ヲ自然ニ垂レシメ乳頭ノ水平線ニ沿ヒ普通呼氣ノ終レル時ヲ測定スヘシ
- 乳房ノ下垂セル女子ニ在リテハ乳線上第四肋間ノ水平線ニ於テ測定スルモノトス
- 五、發育ノ概評ハ別ニ定ムル標準ニ據リ甲、乙、丙ノ三ニ分ツモノトス
- 六、營養ハ甲、乙、丙ニ分チ其ノ佳良ナルヲ甲トシ不良ナルヲ丙トシ其ノ中間ナルヲ乙トス
- 七、脊柱ハ正、左彎、右彎、前彎、後彎ヲ區別シ彎ニ就テハ凡テ其ノ凸側ニ依リテ前後左右ノ方向ヲ表示スルモノトス其ノ程度ハ之ヲ強弱ノ二種ニ區別シ自己ノ意思ニ依リ容易ニ矯正シ得ルモノヲ弱トシ然ラサルモノヲ強トス
- 八、視力ハ萬國式試視力表ニ就キ兩眼ヲ各別ニ検査シ裸眼視力ヲ記入スヘシ
裸眼視力一、〇以上ナルヲ正視眼トス
屈折機ノ異常アルモノハ其ノ種別ヲ記入スヘシ
弱視、失明等モ兩眼ニツキ各別ニ記入スヘシ

九、色神ハ其ノ異常アルモノニ就キ色盲及色弱ヲ區別スヘシ

十、聽力ハ其ノ障礙ノ有無ヲ検査スヘシ

十一、齒牙ハ齲齒ニ就キ検査スヘシ

十二、其ノ他ノ疾病及異常ハ検査ノ際發見シタルモノヲ記入スヘシ殊ニ結核性疾患、腺病、肋膜炎、心臟疾患及機能障礙、貧血、脚氣、傳染性皮膚病、腺樣增殖症及扁桃腺肥大「ヘルニヤ」、神經衰弱、精神障礙ニ注意スヘシ

十三、監察ノ要否バ検査ノ結果身心ノ健康狀態不良ニシテ學校衛生上持ニ繼續的ニ監察ヲ要ス
ト認ムル者ヲ「要」トシ記入スルモノトス

第五條 第一條第一項ノ身體検査ヲ施行シタルトキハ其ノ結果ヲ身體検査票ニ記入シ本人同一種類ノ學校ニ在學中連年之ヲ繼續スヘシ

但シ程度ヲ異ニスル科學部類ヲ有スル學校ニ在リテハ其ノ部類毎ニ別票ヲ用フルモノトス
第一條第二項ノ臨時身體検査ノ際必要ト認ムル事項ヲ發見シタルトキハ之ヲ身體検査票ノ裏面ニ記入スルモノトス繼續的監察ノ場合亦同シ

他校ヨリ轉入シタル者アルトキハ學校長ハ前ノ學校ヨリ其ノ身體検査票ノ交付ヲ受ケ使用スヘシ
身體検査票ハ學校長ニ於テ保管スヘシ

第六條 身體検査ヲ施行シタルトキハ學校長ハ其ノ結果ヲ本人若ハ其ノ保護者ニ示スヘシ授業免除
就學猶豫、就學免除、休學、退學又ハ治療保護矯正等ヲ要スヘキモノアルトキハ本人若クハ其
ノ保護者ニ對シテ特ニ注意ヲ與ヘ其ノ他必要ナル處置ヲ取ルヘシ

第七條 第一條第一項ノ身體検査ヲ施行シタルトキハ學校長ハ身體検査統計表ヲ調製シ其ノ年六月
限リ文部省直轄學校長及公立大學長ニ在リテハ文部大臣ニ其ノ他ノ學校ニ在リテハ地方長官ニ
報告スヘシ

第八條 幼稚園ニ於テハ本令中尋常小學校第四學年以下ノ兒童ノ身體検査ニ關スル規定ヲ準用ス
但シ胸圍及脊柱ノ検査ヲ省略スルコトヲ得

第九條 特別ノ事情アル場合ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケ本令ノ身體検査ヲ行ハサルコトヲ得

附 則

本令ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
明治三十三年文部省令第四號ハ之ヲ廢止ス

（注意事項）

營 養	發 育			年 檢 査 日	學 年	年 齡	氏 名	學 校 名	身 體 檢 査 票	身 體 檢 査 票	身 體 檢 査 票	身 體 檢 査 票	身 體 檢 査 票	身 體 檢 査 票	身 體 檢 査 票	身 體 檢 査 票	身 體 檢 査 票	身 體 檢 査 票	身 體 檢 査 票	
	概 評	胸 圍	體 重																	

↑一寸五分... ↓一寸五分... ←七分→

(校名) 學生生徒兒童身體檢查統計表 (男女) (大正 年 月 檢查)

年	身長	體重	胸圍	齡		年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年		
				總平	長均														
發	概	育	評	甲	乙														
營	養	脊	柱	甲	乙														
視	力	及	屈	正	兩														
				遠	兩														
				近	兩														
視	其	及	他	異	常														
				色	神														
眼	疾	其	他																
聽	力	障	害	者															
耳	疾	者																	
齒	牙	齲	齒	者															
其	他	疾	病	異	常														
監	察	ノ	要	ス	ル	者													
檢	査	人	員																
備	考																		

一、本表ハ男女別學科部類別ニ調製スヘシ

檢 査 醫 師	備 考	本 人 ニ 對 ス ル 注 意	要 監 察 ノ 否	疾 病 異 常	其 他 ノ	齒 牙	耳 疾	聽 力	眼 疾	色 神	視 力 及 屈 折 狀 態		脊 柱
											右	左	

セ記入スヘシ 移轉先學
 校名ハ適宜學校名欄ノ
 餘白ニ記入スヘシ
 四、疾病其ノ他ノ爲検査ヲ
 受ケサル場合ハ當該區
 劃ニ其旨記入スヘシ

一、年齢ハ四月一日ノ計算ニ依リ滿六年一日以上七年迄ノ者ヲ七年トシ其他之ニ準ス

一、身長、胸圍ニ係ル總長、體重ニ係ル總重ノ各欄ニハ孰レモ同一年齡ニ於ケル各検査人員ノ身長、胸圍又ハ體重ノ各合計ヲ掲ケ平均ノ各欄ニハ其検査人員ヲ以テ總長又ハ總重ヲ除シタル商ヲ掲クヘシ

一、視力及屈折狀態ニ就テハ兩眼ノ欄ニハ兩眼トモ正視、遠視、近視若ハ亂視及ヒ其他ノ者ノ人員ヲ掲ク一眼ノ欄ニハ一眼ノミ正視、遠視、近視若ハ亂視及ヒ其ノ他ノ者ノ人員ヲ掲クヘシ

一、色神ニ就テハ異常者ノ數及ヒ検査人員ヲ記スヘシ

一、尋常小學校第四學年以下ノ兒童及幼稚園幼兒ニ在リテハ視力及屈折、狀態、色神並聽力ハ之ヲ本表ニ計入スルヲ要セス

一、其ノ他ノ疾病異常欄ニ不足ヲ生シタルトキハ附箋ヲ以テ之ヲ補フヘシ

一、前項ノ外本表ニ記入スヘキ項目ノ一部ノ検査ヲ缺キタル者ハ之ヲ表中ニ計入スヘカラス

一、外國人ニ係ルモノハ之ヲ計入スヘカラス

一、備考ノ欄ニハ表中記入ノ事實ニ關シ説明ヲ要スル事項其ノ他特ニ必要ト認メタル事項ヲ記載スヘシ

一、本表ノ成績ニ關シ學校醫ニ於テ學校衛生上意見アルトキハ之ヲ表未ニ附記スヘシ

第十 發育概評決定標準

學生生徒兒童幼兒ノ發育概評ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ムルモノトス

一、七年ヨリ十八年マテノ男子、七年ヨリ十六年マテノ女子ニ在リテハ被檢者ノ身長、體重、身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商ノ三者ガ何レモ左記發育標準表ニ照シテ當該年齡ヨリ一年々長ノモノノ標準以上ナルヲ甲トシ之ニ該當セスシテ一年々少ノモノノ標準以上ナルヲ乙トシ甲乙何レニモ該當セサルモノヲ丙トス

表中ニ掲ケサル年少者ニ關シテハ右ニ準シテ推定スルモノトス

二、十九年以上ノ男子ニアリテハ身長五尺三寸、體重十四貫三百匁、身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商カ二、七〇以上ナルヲ甲トシ之ニ該當セスシテ身長五尺一寸八分、體重十三貫匁身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商カ二、五一ナルヲ乙トシ、甲乙何レニモ該當セサルヲ丙トス

十七年以上ノ女子ニアリテハ身長四尺九寸、體重十二貫五百匁、身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商カ二、五五以上ナルヲ甲トシ、之ニ該當セスシテ身長四尺七寸五分、體重十貫五百匁、身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商カ二、二一以上ナルヲ乙トシ、甲乙何レニモ該當セサルヲ丙トス

發育概評決定標準表

年 齡	男			女		
	身長	體重	身長ヲ以テ 體重ヲ除シ タル商	身長	體重	身長ヲ以テ 體重ヲ除シ タル商
十七年	五、一八	二、八五〇	二、四八	四、八八	二、〇三〇	二、四七
十六年	五、〇四	二、八六〇	二、三五	四、八四	二、一三〇	二、三五
十五年	四、八三	二、〇、三三〇	二、一四	四、七五	二、〇、三九〇	二、一九
十四年	四、六〇	一、八、九七〇	一、九五	四、六〇	一、九、二六〇	二、〇、一
十三年	四、四二	一、七、九七〇	一、八一	四、四六	一、八、一〇〇	一、八、四
十二年	四、二五	一、七、三三〇	一、七〇	四、二四	一、七、一〇〇	一、七〇
十一年	四、一二	一、六、六五〇	一、六一	四、〇八	一、六、四八〇	一、五九
十年	三、九七	一、六、一〇〇	一、五四	三、九二	一、五、九〇〇	一、五二
九年	三、八二	一、五、六〇〇	一、四七	三、七七	一、五、三八〇	一、四三
八年	三、六七	一、五、一三〇	一、四〇	三、六二	一、四、九一〇	一、三六
七年	三、五二	一、四、六六〇	一、三三	三、四八	一、四、五〇〇	一、二九

年 齡	身長	體重	身長ヲ以テ 體重ヲ除シ タル商
十八年	五、五	一、三、五三〇	二、五八
十九年	五、二九	一、四、〇一〇	二、六五

第十一 實業學校令抄 (明治三十二年勅令第二十九號)

第一條 實業學校ハ工業農業商業等ノ實業ニ従事スル者ニ須要ナル教育ヲ爲スヲ以テ目的トス
 第二條 實業學校ノ種類ハ工業學校、農業學校、商業學校、商船學校及ヒ實業補習學校トス實業學
 校ニシテ高等ノ教育ヲ爲スモノヲ實業專門學校トス
 實業專門學校ニ關シテハニ專門學校令ノ定ムル所ニ依ル
 蠶業學校、山林學校及ヒ水産學校等ハ農業學校ト看做ス
 徒弟學校ハ工業學校ノ種類トス

第八條 實業學校ノ修業年限、學科、學科目及ヒ其ノ程度ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十四條 實業學校ニ於テハ授業料ヲ徴收スルコトヲ得

第十五條 本令施行ノ爲メニ必要ナル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十二 專門學校令抄 (明治三十六年勅令第六十一號)

第一條 高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ハ專門學校ト稱ス

專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規定ニ依ルヘシ

第五條 專門學校ノ入學資格ハ中學校若クハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之レヲ定ムヘシ
但シ美術音樂ニ關スル學術技藝ヲ教授スル專門學校ニ就テハ文部大臣ハ別ニ其ノ入學資格ヲ定ムルコトヲ得

前項檢定ニ關スル規定ハ文部大臣之ヲ定ム

第六條 專門學校ノ修業年限ハ三箇年以上トス

第七條 專門學校ニ於テハ豫科研究科及ヒ別科ヲ置クコトヲ得

第八條 官立專門學校ノ修業年限、學科、學科目及ヒ其ノ程度並豫科、研究科及ヒ別科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

公立又ハ私立ノ專門學校ノ修業年限、學科、學科目及ヒ其ノ程度並豫科、研究科及ヒ別科ニ關スル規程ハ公立學校ニ在リテハ管理者、私立學校ニ在リテハ設立者文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ム

第十二條 第一條ニ該當セサル學校ハ專門學校ト稱スルコトヲ得ス

第十三條 專門學校入學者檢定規程 (明治三十六年文部省令第十四號)

第一條 專門學校ノ本科ニ入學セムトスル者ニシテ中學校若クハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業セサル者ハ此ノ規程ニ依リ檢定ヲ受クヘキモノトス

第二條 檢定ヲ受クムトスル者ハ左ノ資格ヲ具備スルコトヲ要ス

一、年齢男子ハ滿十七年以上女子ハ滿十六年以上ナルコト

二、身體健全ナルコト

三、品行方正ナルコト

四、現ニ中學校若クハ高等女學校ニ在學セサルコト

第三條 檢定ヲ分テ試験檢定、無試験檢定ノ二トシ試験檢定ハ官立、公立ノ中學校若クハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ニ於テ便宜之ヲ行ヒ無試験檢定ハ當該專門學校ニ於テ生徒入學ノ際之ヲ行フ

第四條 試験檢定ノ學科目及ヒ其ノ程度ハ中學校若クハ修業年限四箇年ノ高等女學業ノ各學科目及ヒ其ノ卒業ノ程度トス

但シ中學校若クハ高等女學校ニ於テ加除シ又ハ課セサルコトヲ得ル學科目ハ之ヲ省ク

第五條 官立、公立ノ中學校若クハ高等女學校ニ於テハ試験檢定ニ合格シタル者ニハ試験檢定合格證書ヲ交付スヘシ

第六條 官立、公立ノ中學校若クハ高等女學校ニ於テハ試験檢定ノ問題、答案及成績表ハ五ケ年以
上保存スヘシ

第七條 官立、公立ノ中學校若クハ高等女學校ハ試験檢定手数料ヲ徴收スルコトヲ得
第八條 左ニ掲クル者ハ無試験檢定ヲ受クルコトヲ得

一、文部大臣ニ於テ専門學校ノ入學ニ關シ中學校若クハ修業年限四箇年ノ高等女學校ノ卒業者
ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定シタルモノ

二、明治三十五年文部省告示第八十二號ニ依リ高等學校入學ノ豫備試験ニ合格シタル者

第十四 甲種農業學校卒業者入學ニ關スル件
文部省告示第二百三三號 (明治四十二年)

明治三十六年文部省令第十四號專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ依リ無試験檢定ヲ受クルコ
トヲ得ルモノヲ指定スルコト左ノ如シ

一、鹿兒島高等農林學校ノ入學ニ關シテハ甲種農業學校卒業者

第十五 二箇以上ノ學校ニ入學許可ノ場合ニ關スル件
文部省告示第二百十三號 (明治四十三年)

同一人ニシテ東京帝國大學農科大學農學實科、同林學實科、同獸醫學實科、東北帝國大學農科大學

大學豫科、同附設農學實科、同附設土木工學科、同附設林學科、同附設水産學科並文部省直轄諸學
校中ノ二個以上ノ學科若ハ學校ニ入學ヲ出願シタル者ハ其最前ニ入學ヲ許可セラレタル學科若ハ學
校ニ入學スヘキモノトス

但シ同時ニ二個以上ノ學科若ハ學校ニ入學ヲ許可セラレタル者ノ入學スヘキ學科若ハ學校ハ本人
ノ撰擇ニ任ス

第十六 文部省告示第九十四號 (大正五年)

明治三十六年文部省告示第三十號教員無試験檢定ニ關スル指定中左ノ通改正ス
盛岡高等農林學校ノ次ニ左ノ如ク加フ

鹿兒島高等農林學校

農學科、農業、化學

(大正八年三月以後ノ卒業者ニシテ農藝
化學ヲ修メ其ノ成績優等ノ者ニ限ル)

第十七 實業學校教員養成規程抄 (大正四年
文部省令第七號)

第一條 東京帝國大學農科大學附屬農業教員養成所、東京商科大學附設商業教員養成所、東京高等
工業學校附設工業教員養成所及大阪高等工業學校附設工業教員養成所ノ生徒ニハ授業料ヲ徴收
セス

前項養成所ノ生徒ニハ一箇月貳拾五圓以内ノ學資ヲ補給スルコトアルヘシ

帝國大學、官立大學及文部省直轄諸學校ノ學生生徒ニシテ卒業ノ後實業學校ノ教職ニ從事セントスル者ニハ授業料ヲ免除スルコトヲ得

第二條 前條養成所ノ生徒及ヒ前條第三項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者ハ卒業ノ日ヨリ左ノ期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ教職ニ從事スヘキ義務ヲ有ス

但シ必要ノ場合ニ於テハ文部大臣ハ他ノ教職ニ從事スルノ義務ヲ負ハシムル事アルヘシ

一、養成所ノ生徒ハ其ノ在學期間ノ二分ノ一

二、養成所ノ生徒ニシテ學費ノ補給ヲ受ケタル者ハ其ノ補給ヲ受ケタル年限ニ第一號ノ期間ヲ加ヘタル期間

三、授業料ヲ免除セラレタル者ハ其ノ免除セラレタル期間ノ二分ノ一

第三條 前條ノ義務期間内ニ於テ學校ニ入學シ若ハ外國ニ留學セントスル者アルトキハ時宜ニ依リ之ヲ許可スルコトアルヘシ

前項ニ依リ許可ヲ受ケタル者ノ當該學校ニ在學中若ハ外國留學中ノ期間ハ前條ノ義務期間ニ算入セス

第四條 第二條ノ義務期間内ニ於テ文部大臣ノ指定ヲ受ケサルカ爲任意就職シタル者ハ其ノ旨直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ其ノ就職ヲ罷メ又ハ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

前條ノ許可ヲ受ケタル者學校ヲ卒業又ハ退學シ若ハ歸朝シタルトキハ直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ

第五條 第一條養成所ノ生徒及同條第三項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ授業費學費又ハ授業料ヲ償還セシム

但シ文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

一、退學ヲ命セラレ又ハ自己ノ便宜ニ依リ退學シタルトキ

二、實業學校教員タルノ志望ヲ變更シタルトキ

三、第二條ノ義務ヲ盡サス又ハ第三條第一項ノ許可ヲ受ケスシテ入學若ハ留學シタルトキ

前項授業費ノ額ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ各教員養成所ニ於テ之ヲ定ム

第八條 大學及專門學校ノ學生生徒ニシテ卒業ノ後實業學校ノ教職ニ從事セントスル者ニハ一箇月貳拾五圓以内ノ學費ヲ補給スルコトアルヘシ

前項ノ規定ニ依リ學費ノ補給ヲ受クル者將來教員タルニ適セサルモノト認メタルトキハ文部大臣ハ學費ノ補給ヲ止ムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ既ニ支給シタル學費ヲ償還セシム但シ文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

第九條 前條ノ規定ニ依リ學資ノ補給ヲ受ケタル者ハ其ノ補給ヲ受ケタル年限ノ一倍半ニ相當スル期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ教職ニ從事スル義務ヲ有ス但シ必要ノ場合ニ於テハ文部大臣ハ他ノ教職ニ從事スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ

第三條乃至第六條ノ規定ハ前條ノ規定ニ依リ學資ヲ補給スヘキ學生生徒ニ關シテ之ヲ準用ス

第十八條 奏任文官及判任文官ノ優遇ニ關スル件 (大正十年五月二十二日勅令第二百二十三號)

第一條 高等官官等俸給令別表第二表第一號、第三表及第五表ニ依ル奏任文官ニシテ引續キ五年以上高等官三等ニ在職シ功績顯著ナル者ハ特ニ之ヲ勅任官ノ待遇ト爲スコトヲ得但シ帝國大學教授、官立大學教授、行政裁判所評定官及高等官四等ヲ最高官等トスル奏任文官ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二條 判任文官ニシテ引續キ五年以上一級俸ヲ受ケテ在職シ事務練熟優等ナル者ハ特ニ之ヲ奏任官ノ待遇ト爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ奏任官ノ待遇ヲ受クル者ノ待遇相當官等ハ高等官六等以下トス

第一項ノ規定ニ依リ奏任官ノ待遇ヲ受クル者ハ之ヲ主事ト稱ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十九條 鹿兒島高等農林學校規程 (明治四十二年七月七日 日文科省令第十八號)

第一條 鹿兒島高等農林學校ノ修業年限ハ三箇年トス

第二條 學科ハ分テテ農學科、林學科、養蠶學科及農藝化學科トス

第三條 各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ

但シ農學科ノ生徒ニシテ第二年以上ニ於テ主トシテ農藝動物學ヲ修メントスル者ハ農學科別表ニ依ル

實習又ハ實驗等ノ都合ニ依リ每週教授時數ヲ臨時増減スルコトアルヘシ

農 學 科

學 科 目	第 一 學 年			第 二 學 年			第 三 學 年		
	每 週 教 授 時 數	每 週 教 授 時 數	每 週 教 授 時 數	每 週 教 授 時 數	每 週 教 授 時 數	每 週 教 授 時 數	每 週 教 授 時 數	每 週 教 授 時 數	
修 身	一	一	一	一	一	一	一	一	
體 操	一	一	一	一	一	一	一	一	
外 國 語 (英 語 獨 語)	三	三	三	三	三	三	三	三	
物 理 學 及 氣 象 學	三	三	三						

化學實驗	物理學實驗	合計	教育學	植民政策	林學	機械工學	農產製造學	生理化學	熱帶農學	農業工學	測量學	農業經濟學及 農政學
		二四										
		二四										
	三	二四										
三		(三) 三						(三)			一	二
		(三) 三						(三)			一	二
		(三) 三						(三)			一	二
		(九) 一五	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	一		二
		(九) 一五	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	一		二
		(九) 一五	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	一		二

微生物學	肥料學	畜產學	園藝學	作物學	育種學	養蠶學	農學總論	經濟學及 法律學	植物病學及 植物學	昆蟲學及 動物學	土壤學及 地質學	化學
			一	一		二	一	二	二	二	二	三
			一	一		二	一	二	二	二	二	三
			一	一		二	一	二	二	二	二	三
			一	一		二	一	二	二	二	二	三
一	二	三	一	二				二	一	一		
	二	三	一	二				二	一	一		
		二	二	一	一							
		二	二	一	一							
		二	二	一	一							

遺傳學	農業經濟學及農政學	微生物學	生理化學	畜產學	園藝學	作物學	養蠶學	肥料學	法律及經濟學	植物病理學	植物學及昆蟲學	外國語	
												英語	獨語
	二	二		一	一	二	一	二	二	二	二	三	
二	二	二		一	一	二	一	二	二	二	二	三	
二	二	二		一	一	二	一	二	二	二	二	三	
(1)	二	(1)		(1)	(1)	一				二	二	三	
(1)	二	(1)		(1)	(1)	一				二	二	三	
(1)	二	(1)		(1)	(1)	一				二	二	三	

體操	修身	學科別表		農場實習	測量實習	經濟演習	微生物學實驗	園藝學實驗	作物學實驗	植物學實驗	動物學實驗
		第一學期	第二學期								
一	一	第一學期	第二學期	回数	(回数)	(回数)					三
一	一	第一學期	第二學期	四						三	
一	一	第一學期	第二學期	四							
一	一	第一學期	第二學期	三	三						
一	一	第一學期	第二學期	二	三		三			三	
一	一	第一學期	第二學期	二	三		三			三	
一	一	第一學期	第二學期	四		一		一	一		
一	一	第一學期	第二學期	四		一		一	一		

體操	外國語		數學	物理學及氣象學	化學	地質學及土壤學	森林昆蟲學	森林植物學及樹病學	經濟學	財政學	法律及行政大意	森林測量學	造林學及森林保護學
	英語	獨逸語											
一	六	(三)	四	三	三	二	二	二	二			二	二
一	六	(二)	三	三	三	二	二	二	二			三	二
一	六	(三)	三	三	三	二	二	二	二			三	二
一	五	(一)				二	二	二			二	一	三
一	五	(一)				二	二	二			二	一	三
一	五	(一)				二	二	二			二	一	三
一	三	(一)								二	二		
一	三	(一)								二	二		
一	三	(一)								二	二		

修身	學科	學年	林學科	農場實習(回数)	微生物學實驗	植物學實驗	動物學實驗	化學實驗	合計	教育學	植民政策	育種學
一	第一學期	每週教授時數		三		三		三	三			
一	第二學期	每週教授時數		三		三		三	三			
一	第三學期	每週教授時數		一	三	六	三		二四			
一	第一學期	每週教授時數		二		三	三		二四			
一	第二學期	每週教授時數				三	三					
一	第三學期	每週教授時數				六	六		(七)四	(一)	(一)	(一)
一	第一學期	每週教授時數				六	六		(五)四	(一)	(一)	(一)
一	第二學期	每週教授時數				六	六		(五)四	(一)	(一)	(一)
一	第三學期	每週教授時數				六	六		(五)五	(一)	(一)	(一)

蠶業汎論	栽桑學	養蠶學	蠶種學	蠶體解剖學及蠶體生理學	蠶體病理學及消毒論	殺菌論及乾繭論	製絲學	絹絲化學	蠶繭論及纖維學	農學汎論	作物學	園藝學
一		五		四								
一	一	二		二								
一	一	二		二								
一					二							
一	二				二	一						
一	二				二	一						
一							二				(一)	(一)
一							二				(一)	(一)
一							二				(一)	(一)

體操	外國語 (英語) (佛語)	物理學及氣象學	化學	土壤學及肥料學	生理化學	動物學	植物學	昆蟲學	微生物學	法律及經濟學	農業經濟學及農政學	遺傳學
一	三											
一	三	三	三			二	二					
一	三	三	三			二	二					
一	三					二	二					
一	三					二	二					
一	三					二	二					
一	三					二	二					
一	三					二	二					
一	四				二						(一)	(一)
一	四				二						(一)	(一)
一	四				二						(一)	(一)

外國語 英語 獨語	體操	修身	學科 學年	農藝化學科			殺蛹乾藏實習	蠶具製造實習	消毒法實習	製絲法實習 (回数)	屑物整理實習 (回数)	桑園實習	農場實習
				第一學年	第二學年	第三學年							
			第一學期	每週	第一學期	每週							
			第二學期	教授	第二學期	教授							
			第三學期	時數	第三學期	時數							
			第一學期	每週	第一學期	每週							
			第二學期	教授	第二學期	教授							
			第三學期	時數	第三學期	時數							
			第一學期	每週	第一學期	每週							
			第二學期	教授	第二學期	教授							
			第三學期	時數	第三學期	時數							

各期 蠶兒飼育 實習	製絲學 實驗	蠶體病理學及 消毒論 實驗	蠶體解剖學及 蠶體生理學 實驗	養蠶學 實驗	微生物學 實驗	植物學 實驗	動物學 實驗	化學 實驗	物理學 實驗	合計	教育 學	畜產 學
不定										一五		
不定			三	不定		三	三		不定	三		
不定			三			三	三		不定	三		
不定			三	不定						一五		
不定					三			三		三		
不定						三				三		
不定			三							(七)三	(一)	(一)
不定	不定									(九)一四	(一)	(一)
不定	不定									(九)三	(一)	(一)

化學實驗	合計	教育學	植民政策	機械工學	微生物學	食品化學	生理化學	製造化學	農產製造學	肥料學	畜產學	園藝學
	三											一
	三											一
	三											一
九	(三) 三				二					二	一	(一)
九	(三) 三				二					二	一	(一)
三	(三) 三				二					二	一	(一)
五	(七) 一五	(一)	(一)	(一)			二	二	二		(一)	
五	(五) 一七	(一)	(一)	(一)		二	二	二	二			
五	(五) 一八	(一)	(一)	(一)			二	二	二			

作物學	農學總論	農業經濟學及農政學	法律及經濟學	植物病學及植物學	昆蟲學及動物學	數學	地質學及土壤學	分析化學	理論化學	有機化學	無機化學	物理學及氣象學
一	一		二	二	二	二	二				二	三
一	一		二	二	二	二	二				二	三
一	一		二	二	二	二	二				二	三
二		二	二	(一)	(一)		一	一		二		一
二		二	二	(一)	(一)		一	一		二		一
二		二	二	(一)	(一)		一	一		二		一
一		(一)						一	二			
一		(一)						一	二			
一		(一)						一	二			

物理學實驗											
動物學實驗		三				六					
植物學實驗			三								
微生物學實驗					三			三			
農場實習	(回数)四	四	四	四	不定	不定	不定	不定	不定	不定	不定

備考 各學科教授時數中弧括()ヲ附スルモノハ實驗ノ時數トシ括弧()ヲ附スルモノハ隨意科目ノ時數トス

第四條 卒業者ニシテ既習ノ學科ニ就キ更ニ研究セムトスル者ハ研究生トシテ二箇年以内在學セシムルコトヲ得

第五條 各學科ノ學科目中一科目若クハ數科目ヲ選擇シテ學修セシムトスル者ハ選科生トシテ入學セシムルコトヲ得

第六條 本校ニ別科ヲ置クコトヲ得

第七條 別科ニ關スル規程ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ學校長之ヲ定ム
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ第二學年以上ニ在學スル生徒ニ課スヘキ學科目及其ノ程度ハ其ノ卒業ニ至ル迄仍從前ノ規定ニ依ル

○學 年 歷

- 四月三日 休業(神武天皇祭)
- 四月七日 春季休業終ル
- 四月八日 第一學期授業始ル
- 七月十日 第一學期授業終ル
- 七月十一日 夏季休業始ル
- 七月三十日 休業(明治天皇祭)
- 八月三十一日 休業(天長節)
- 九月十日 夏季休業終ル
- 九月十一日 第二學期授業始ル
- 秋分ノ日 休業(秋季皇靈祭)
- 十月十七日 休業(神嘗祭)

- 十月三十一日 休業(天長節祝日)
- 十一月二十三日 休業(新嘗祭、開校記念)
- 十二月二十四日 第二學期授業終ル
- 十二月二十五日 冬季休業始ル
- 一月十日 冬季休業終ル
- 一月十一日 第三學期授業始ル
- 二月十一日 休業(紀元節)
- 春分ノ日 休業(春季皇靈祭)
- 三月二十四日 第三學期授業終ル
- 三月二十五日 春季休業始ル

○細則

第一學則

第一章 總則

第一條 本校ハ農林業ニ必要ナル高等ノ教育ヲ施ス所トス

第二條 本校ニ農學科、林學科、養蠶學科及農藝化學科ヲ置キ之ヲ本科トシ別ニ研究生及ヒ選科生ヲ置タコトアルヘシ

前項ノ外特ニ別科ヲ置クコトアルヘシ但シ別科ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第三條 農學科、林學科、養蠶學科及農藝化學科ノ修業年限ハ三箇年トス

第四條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第五條 學年ヲ分チテ三學期トシ第一學期ハ四月一日ヨリ七月十日ニ至リ第二學期ハ七月十一日ヨリ十二月三十一日ニ至リ第三學期ハ一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第六條 休業日ハ左ノ如シ但シ休業中ト雖實習又ハ實驗ヲ課スルコトアルヘシ

- 一、日 曜 日
- 一、大祭 祝 日
- 一、開校紀念日 十一月二十二日
- 一、春 期 休 業 (自三月二十五日 至四月七日)
- 一、夏 期 休 業 (自七月十一日 至九月十日)
- 一、冬 期 休 業 (自十二月二十五日 至一月二十五日)

第七條 研究生、選科生及ヒ別科生ニ關シテハ特ニ定ムルモノ、外本科學生一般ノ規定ヲ準用ス

第二章 學科目、授業時數

第八條 各學科ノ學科目及ヒ其程度ハ左ノ如シ但シ農學科ノ學生ニシテ第二學年以上ニ於テ其志望

ニ依リ主トシテ農藝動物學ヲ修メントスル者ハ農學科別表ニ依ル

實習又ハ實驗ノ都合ニ依リ每週教授時數ヲ臨時増減スルコトアルヘシ

農學科

學科目	第一學年			第二學年			第三學年		
	每週	授業	時數	每週	授業	時數	每週	授業	時數
修身	一			一			一		
體操	一			一			一		
外國語 英語			三			三			三
外國語 獨語									
物理學及 氣象學			三			三			三
化學			三			三			三
地質學及 土壤學			二			二			二
動物學及 昆蟲學			二			一			二

植物學及 植物病理學			二			一			一
法律及經濟學			二			二			一
農學總論			一			二			二
養蠶學			二			二			二
作物學			一			二			二
園藝學			一			一			二
畜產學						三			三
肥料學						二			三
微生物學						二			二
農業經濟學及 農政學						二			二
測量學						一			二
農業工學						一			二
熱帶農學						(1)			(1)
						(1)			(1)
						(1)			(1)
						(1)			(1)
						(1)			(1)
						(1)			(1)

法律及經濟學	植物病理學及植物學	昆蟲學及動物學	外國語 (英語)	體操	修身	農學科別表			微生物學實驗	經濟演習 (回數)	測量實習 (回數)	農場實習 (回數)
						農學科別表						
						第一學期	第二學期	第三學期				
二	二	二	三	一	一	第一學期	二	四	四	三	二	
二	二	二	三	一	一	第二學期	二	四	三	三	三	
二	二	二	三	一	一	第三學期	二	三	三	三	三	
二	二	二	三	一	一	第一學期	二	三	三	二	二	
二	二	二	三	一	一	第二學期	二	三	三	二	二	
二	二	二	三	一	一	第三學期	二	三	三	二	二	

園藝學實驗	作物學實驗	植物學實驗	動物學實驗	化學實驗	物理學實驗	合計	教育學	植民政策	林學	機械工學	農產製造學	生理化學
			三			二四						
		三				二四						
					三	二四						
				三		(三) 二						
		三				(三) 三						
		三				(三) 三						
一	一					(九) 一五	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)
一	一					(九) 一五	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)
一	一					(九) 一五	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)

學科	年	修身	體操	外國語 (英語 獨語)	數學	物理學 及 氣象學	農 場 實 習	微 生 物 學 實 驗	植 物 學 實 驗	動 物 學 實 驗	化 學 實 驗	林 學 科	學 年							
													第一學年	第二學年	第三學年	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期
第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
每 週 教 授 時 數	每 週 教 授 時 數	每 週 教 授 時 數	每 週 教 授 時 數	每 週 教 授 時 數	每 週 教 授 時 數	每 週 教 授 時 數	每 週 教 授 時 數	每 週 教 授 時 數	每 週 教 授 時 數	每 週 教 授 時 數	每 週 教 授 時 數	每 週 教 授 時 數	每 週 教 授 時 數	每 週 教 授 時 數	每 週 教 授 時 數	每 週 教 授 時 數	每 週 教 授 時 數	每 週 教 授 時 數	每 週 教 授 時 數	每 週 教 授 時 數
一	一	一	一	一	一	三	三	六	三	三	三									
三	三	三	三	三	三	一	三	六	三	三	三									
六	六	六	六	六	六															
(三)	(三)	(三)	(三)	(三)	(三)															
四	四	四	四	四	四															
三	三	三	三	三	三															

合 計	教 育 學	植 民 政 策	育 種 學	遺 傳 學	農 業 經 濟 學 及 農 政 學	微 生 物 學	生 理 化 學	畜 產 學	園 藝 學	作 物 學	養 蠶 學	肥 料 學
三					二	二		一	一	二	一	二
二四				二	二	二		一	一	二	一	二
二四				一	二	二		一	一	二	一	二
(七)	(一)	(一)	(一)		二	二		(一)	(一)	一		
四												
(五)	(一)	(一)	(一)		二	二		(一)	(一)	一		
(五)	(一)	(一)	(一)		二	二		(三)	(一)	一		

物理學實驗	合計	教育學	植民政策	機械工學	狩獵術	畜產學	園藝學	農學汎論	熱帶林學	森林經濟學及	森林管理學及	森林法律及	森林經理學
二	(三)元												
二	(三)元												
	(三)元												
	(一)元												
	(一)元												
	(一)元												
	(一)元												
	(九)元	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	三	二	三	
	(九)元	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	三	二	二	
	(九)元	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	三	二	二	

森林數學	森林土木學及治水學	林產製造學	森林利用學	造林學及森林保護學	森林測量學	行政大意及法律	財政學	經濟學	樹病學及森林植物學	森林昆蟲學	地質學及土壤學	化學
				二	二			二	二		二	三
				二	三			二	二		二	三
				二	三			二	二		二	三
				三	一	二			二	二		
				三	一	二			二	二		
				三	一	二			二	二		
				三	一	二			二	二		
				二		二	二					
				二		二	二					
				二		二	二					

蠶種學	養蠶學	栽桑學	蠶業汎論	遺傳學	農業經濟學及農政學	法律及經濟學	微生物學	昆蟲學	植物學	動物學	生理化學	土壤學及肥料學
	五		一									
	二	一	一						二	二		
	二	一	一						二	二		
					二		二	二				二
		二		二	二	二	二	二				三
		二		二	二	二	二	二				二
					(I)	(II)	(III)	(IV)	(V)	(VI)	(VII)	(VIII)
					(II)	(III)	(IV)	(V)	(VI)	(VII)	(VIII)	(IX)
					(III)	(IV)	(V)	(VI)	(VII)	(VIII)	(IX)	(X)
					(IV)	(V)	(VI)	(VII)	(VIII)	(IX)	(X)	(XI)

化學	物理學及氣象學	外國語 英語 佛語	體操	修身	學科			養蠶學科	森林事務見習	演習林實習	林學實習 (回数) 三	森林植物學實驗	化學實驗
					第一學年	第二學年	第三學年						
					第一學期	第二學期	第三學期						
					每週	每週	每週						
					授時數	授時數	授時數						
					一	一	一						
					三	三	三						
					一	一	一						
					三	三	三						
					一	一	一						
					三	三	三						
					一	一	一						
					三	三	三						
					一	一	一						
					三	三	三						
					一	一	一						
					三	三	三						

製絲法實習	消毒法實習	蠶具製造實習	殺蛹乾繭實習	各期蠶兒飼育實習	製絲學實驗	蠶體病理學及消毒論實驗	蠶體解剖學及蠶體生理學實驗	養蠶學實驗	微生物學實驗	植物學實驗	動物學實驗	化學實驗
(回數)		不定		不定								
		不定		不定				不定		三	三	
		不定		不定				三		三	三	
	不定	不定	不定	不定				不定				
	不定			不定					三			三
				不定						三		
			不定	不定								
				不定								
一				不定	不定							
一				不定	不定							

物理學實驗	合計	教育學	畜產學	園藝學	作物學	農學汎論	蠶繭論及纖維學	絹絲化學	製絲學	乾繭論及殺蛹論	蠶體病理學及消毒論	蠶體生理學及蠶體解剖學
	一五											
不定	三											四
不定	三											二
	一五											二
	三									一	二	
	三									一	二	
	(七) 三	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)			二			
	(九) 四	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	二			
	(九) 二	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	二			

分析化學	地質學及土壤學	數學	動物學及昆蟲學	植物學及植物病理學	法律及經濟學	農業經濟學及農政學	農學總論	作物學	園藝學	畜產學	肥料學	農產製造學
	二	二	二	二	二		一	一	一			
	二	二	二	二	二		一	一	一			
	二	二	二	二	二		一	一	一			
	一		(一)	(一)	二	二	二	二	(一)	一	二	
	一		(一)	(一)	二	二	二	二	(一)	一	二	
	一		(一)	(一)	二	二	二	二	(一)	一	二	
	一				(三)	(三)	(三)	(三)		(三)		二
	一				(三)	(三)	(三)	(三)				二
					(三)	(三)	(三)	(三)				二
					(三)	(三)	(三)	(三)				二

學科目年	修身	體操	外國語 (英語獨語)	物理學及氣象學	無機化學	有機化學	理論化學	農藝化學科			農場實習	桑園實習	屑物整理實習 (回数)
								第一學年	第二學年	第三學年			
第一學期	一	一	三	三	二			農藝化學科	不定	不定	不定	不定	
第二學期	一	一	三	三	二			農藝化學科	不定	不定	不定	不定	
第三學期	一	一	三	三	二			農藝化學科	不定	不定	不定	不定	
第一學期	一	一	三	三	二			農藝化學科	不定	不定	不定	不定	
第二學期	一	一	三	三	二			農藝化學科	不定	不定	不定	不定	
第三學期	一	一	三	三	二			農藝化學科	不定	不定	不定	不定	
第一學期	一	一	三	三	二			農藝化學科	不定	不定	不定	不定	
第二學期	一	一	三	三	二			農藝化學科	不定	不定	不定	不定	
第三學期	一	一	三	三	二			農藝化學科	不定	不定	不定	不定	

製造化學	生理化學	食品化學	微生物學	機械工學	植民政策	教育學	合計	化學實驗	物理學實驗	動物學實驗	植物學實驗	微生物學實驗
							三三			三		
							三三				三	
							三三					
			二				三三	九	六			
			二				三三	九	三			三
			二				三三	二				三
					(一)	(一)	二五	(七)				
					(一)	(一)	一七	(五)	一五			
					(一)	(一)	一六	(五)	一五			

農場實習回数(回数) 四 四 四 不定 不定 不定 不定 不定 不定 不定

備考 各學科教授時數中括弧()ヲ附スルモノハ實驗ノ時數トシ括弧()ヲ附スルモノハ隨意科目ノ時數トス

第三章 學生

第一 入學、在學、退學

第九條 入學ノ期ハ每學年ノ始トス但シ臨時入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十條 本校ニ入學ヲ許可スヘキ者ハ品行端正身體強壯年齡滿十七歲以上ノ男子ニシテ左ノ各號一ニ該當シ入學試驗ニ及第シタル者タルヘシ

- 一、中學校ヲ卒業シタル者
- 二、甲種農業學校ヲ卒業シタル者
- 三、專門學校入學者檢定規程ニ依レル試驗檢定ニ合格シタル者
- 四、專門學校入學者檢定規程第八條第一號ノ指定ヲ受ケタル學校ヲ卒業シタル者

第十一條 入學試驗ノ學科目ハ國語及ヒ漢文、英語(林學科ニ入學志願ノ者ハ)、數學、物理、化學、動物植物トシ中學校卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行ヒ別ニ體格檢査及ヒ口頭試問ヲ行フ

第十二條 入學手数料ハ金參圓トス入學志願書ト共ニ納付スヘシ
 入學手数料ハ一旦納付ノ後ハ何等ノ事由アリト雖之ヲ返付セス
 第十三條 本校學生ハ校長ノ許可ヲ經ルニアラサレバ他ノ學校ニ入り又ハ他ノ學校若クハ官署ニ於
 ケル各種ノ試験ニ應スルコトヲ得ス

第十四條 入學志願者ハ左式ノ入學願書及ヒ履歷書ニ入學志願前六箇月以内ニ撮影シタル寫眞(脱
 帽半身手札形)及ヒ當該學校長ノ卒業證明書並學業成績表又ハ專門學校入學者試験檢定合格證
 明書ヲ添ヘテ差出スヘシ但シ農學科ニ入學志望ノ者ハ本文ノ外本人又ハ父兄ノ所有地反別ノ調
 書ヲ差出スヘシ
 入學願書式(用紙美濃紙)

私儀今般御校何學科ニ入學志願ニ付御許可相成度別紙履歷書並入學手数料相添ヘ此段相願候也
 族籍住所(戶主又ハ誰何男又ハ弟等)

年	月	日	氏	名	印
生	年	月	日	氏	名

鹿兒島高等農林學校校長氏 名殿

履歷書式 (用紙美濃紙)

履 歷 書

族籍(戶主又ハ誰何男又ハ弟等)

氏 名 印

生 年 月 日

學 業

- 一、何年何月ヨリ何年何月マデ何地何學校ニ入り又ハ何某ニ就キ何學修業
- 一、何年何月何學校ニ於テ何課程卒業
- 一、何年何月何學校ニ於テ專門學校入學者檢定規程ニ依リ試験檢定合格證書ヲ受ク(卒業證書及
 ヒ試験檢定合格證明書寫ヲ添付スヘシ)

賞 罰

- 一、何年何月何處ニ於テ何賞罰ヲ受ク

以 上

第十五條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ二十日以内ニ保證人二名ヲ立テ左式ノ證書及ヒ戶籍謄本ヲ差出
 スヘシ

證書式 (用紙美濃紙)

三 收 入 紙 印

證 書

私儀令般御校へ入學許可相成候ニ付テハ御規則堅ク相守リ猥リニ退學等致間敷候仍テ證書如此候也

右何某在學中御規則等堅ク相守ラセ候事ハ勿論退學後タリトモ同人在學中ニ係ル一切ノ事件ハ抽者共ニ於テ引受申候此段保證候也

族 籍 住 所

氏 名 印

生 年 月 日

本 人 ト ノ 關 係

職 業

保 證 人

何 某 印

生 年 月 日

族 籍 住 所

本人トノ關係
職 業
保 證 人
年 月 日
保 證 人 何 某 印

年 月 日 生

鹿兒島高等農林學校長氏 名殿

第十六條 入學ノ許可ヲ得タル者ニハ入學ノ際宣誓ヲ行ハシム

第十七條 保證人ハ本人ノ父兄若クハ丁年以上ノ近親ニシテ相應ノ資産ヲ有スル者タルベシ

前項ノ父兄親族アラサルトキハ學生ノ身上ニ關シ一切引受クルニ足ルヘキ者ヲ以テ保證人ト爲スコトヲ得

第十八條 保證人死去若クハ前條ノ資格ヲ失ヒタルトキ又ハ學校ニ於テ不適當ナリト認メタルトキ

ハ更ニ保證人ヲ定メ直ニ證書ヲ本校ニ差出スヘシ

第十九條 保證人改姓、改名、改印、轉居等ヲ爲シタルトキハ速ニ届出ツヘシ

第二十條 學生疾病又ハ事故ニヨリ闕課セムトスルトキハ豫メ事由ヲ具シ届出ツヘシ但シ疾病ノ爲

五日以上ニ亘ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第二十一條 學生疾病又ハ事故ニ依リ退學セムト欲スルトキハ其ノ事由ヲ具シ願出ツヘシ但シ疾病

ソトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ
第二十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ學籍ヲ除名ス

一、無届ニテ二箇月以上引續キ闕課シタル者

二、學業不進歩ニシテ成業ノ見込ナシト認ムルモノ

三、授業料ヲ納付セサル者

四、病氣又ハ事故ノ爲メ同一學級ニ於テ休學ニ學年ヲ超ユル者但シ第二十九條ノ場合ヲ除ク

第二十三條 學生校規命令ニ違背シ其ノ他學生タルノ本分ヲ失フ者ハ其ノ輕重ニ依リ戒飭、謹慎、

停學又ハ放校ニ處スヘシ

第二十四條 學術優等品行方正ナル學生ヲ選抜シ特待生ト爲ス但シ特待生ニハ授業料ヲ徵收セス

第二十五條 特待生ノ資格ヲ失フト認ムルトキハ直ニ其ノ特待生タルノ待遇ヲ止ム

第三 休 學

第二十六條 學生疾病又ハ事故ニ依リ二箇月以上修學スルコト能ハサルトキハ許可ヲ得テ該學年間

休學スルコトヲ得但シ疾病ノトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第二十七條 休學ノ許可ヲ得タル者ハ次學年ヨリ其ノ原級ニ復スルモノトス

第二十八條 休學ノ期限内ト雖其ノ事故消滅シタルトキハ出願ニ依リ詮議ノ上休學ヲ解除スルコト

アルヘシ

第二十九條 學生ノ陸軍現役ニ服スル者及ヒ召集中ノ者ハ校長ノ許可ヲ得テ其ノ間休學シ現役又ハ

召集終レハ直ニ其ノ原級ニ復スルコトヲ得

第四 試 験、得 業 及 ヒ 稱 號

第三十條 試験ヲ分チテ臨時試験及ヒ學年試験ノ二種トス

第三十一條 臨時試験ハ學年中教官ノ見込ヲ以テ臨時ニ之ヲ行ヒ學年試験ハ學年ノ終ニ於テ之ヲ行

フモノトス

第三十二條 試験ハ教官ノ見込ニ依リ口述、筆記又ハ實驗ヲ以テ之ヲ行ヒ其ノ成績ヲ按シ之ニ評點

ヲ付ス

第三十三條 評ハ點之ヲ學科點ト實習點トニ分チ學科點ハ一科目一百ヲ最高點トシ實習點ハ一學年

間ノ實習ノ成績ヲ按シ一百ヲ最高點トス

第三十四條 各學科目學年評點ハ臨時試験評點ノ和ヲ其ノ採點回数ヲ以テ除シタルモノニ學年試験

評點數ヲ加ヘ二分シテ定ムルモノトス

第三十五條 學年ノ成績ハ學科點實習點及ヒ平素ノ勤惰、行狀等ヲ參酌シテ之ヲ定メ其ノ及落ヲ決

第三十六條 試験ニ出席シタル者ハ零點ヲ附ス但シ疾病又ハ事故ノ爲ニ缺席シタル者ハ詮議ノ上追
試験ヲ行フコトアルヘシ

第三十七條 第三學年ノ終ニ於テ各自修得ノ主要學科ニ就キ得業試問ヲ行フ

第三十八條 各學年ノ成績及ヒ得業試問ノ成績ヲ按シ其ノ適當ナリト認メタル者ニハ得業證書ヲ授
與ス

本校得業生ハ其ノ學科ニ從ヒ農學得業士林學得業士ト稱スルコトヲ得

第一項ノ場合ニ於テ不適當ト認メタルコト引續キ二回ナルトキハ願ニ依リ其ノ學科ニ對シ修了
證書ヲ附與スルコトアルヘシ

第五 服 制

第三十九條 學生ハ本校制定ノ制服制帽ヲ着用スベシ

第四章 研 究 生

第四十條 本校得業生中學業優良ナル者ニシテ既習ノ學科ニ就キ更ニ研究セムト欲スル者ニハ出願
ニ依リ研究生トシテ在學ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十一條 研究生ノ在學期ハ二箇年トス

第四十二條 研究生ハ在學期ノ終ニ於テ研究報文ヲ作り指導教官ヲ經テ之ヲ校長ニ提出スヘシ
第四十三條 研究報文ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ研究證書ヲ授與ス

第五章 選 科 生

第四十四條 本校學科ノ一科目若クハ數科目ヲ選擇專修セムトアル者アルトキハ選科生トシテ在學
セシムルコトアルヘシ

第四十五條 選科生ハ教授上差支ナキ場合ニ限り學年ノ始ニ於テ試験ノ上入學ヲ許可スルモノトス

第四十六條 選科生ニシテ修學中ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與ス

第六章 授 業 料

第四十七條 授業料ハ一學年本科學生金參拾五圓選科生金貳拾圓トシ研究生ニハ之ヲ徵收セス
外國人ニシテ特別ニ入學ヲ許可シタル者ニハ一學年本科ハ金五拾五圓選科ハ金參拾五圓ヲ徵收
ス

第四十八條 授業料ハ一學年ヲ左ノ三期ニ分チテ徵收ス

第一學期 一學年分ノ十分ノ三

第二學期 一學年分ノ十分ノ四

第三學期 一學年分ノ十分ノ三

第四十九條 授業料徴收期日ハ四月、九月及ヒ一月ノ二十六日、二十七日、二十八日ノ三日間トス
但シ期中休業日アルトキハ之ヲ順延ス

第五十條 授業料ハ一旦納付ノ後ハ何等ノ事由アリト雖之ヲ返付セス

第五十一條 大正四年三月文部省令第七號實業學校教員養成規程ニ依リ得業後實業學校ノ教職ニ從事セムトスル者ニシテ文部大臣ノ認可ヲ經タル者ハ授業料ヲ徴收セス

前項出願者ニ對シテハ其ノ決定ニ至ル迄其ノ期ノ授業料徴收ヲ猶豫ス

第一項ノ選定ヲ得タル者ハ得業ノ日ヨリ授業料ヲ免除セラレタル期間ノ二分ノ一實業學校ノ教職ニ従事スルノ義務アルモノトス

第五十二條 停學ヲ命セラレタル者又ハ休學ノ許可ヲ得タル者ハ其ノ期間内授業料ヲ徴收セス但シ各學期始業後授業料徴收期日以前ニ退學停學又ハ休學シタルトキハ其ノ月ノ授業料ハ一學年分ノ十分ノ一トシ指定ノ日ニ於テ之ヲ納付スヘシ

第五十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ其ノ月ヨリ一箇年一學年分ノ十分ノ一ヲ割テ以テ次ノ授業料納付期ノ前月迄ノ授業料ヲ指定期日内ニ納付スヘシ但シ第二號又ハ第三號ニ該當スル者ニシテ既ニ其ノ期ノ授業料納付済ノ者ハ此ノ限リニ在ラス

第一、特待生タルノ資格消滅シタルモノ
第二、休學ノ解除セラレ就學シタル者
第三、休學ノ事故止ミ就學シタル者

第五十四條 授業料ハ定日ニ納付スヘキ其ノ定日以後ニ入學シタル者ハ入學許可ノ日ヨリ五日以内ニ之ヲ納付スヘキモノトス

第五十五條 授業料ヲ定日ニ納付セサルトキハ本人ニ之ヲ催告シ尙納付ヲ怠ルトキハ第二十二條ニ依リ處分ス

附 則

第五十六條 第四十七條ノ改正ハ大正八年ノ入學者ヨリ之ヲ適用シ其ノ以前ニ入學シタル學生ニ對シテハ從前ノ規定ニ據ルモノトス

第五十七條 第二條、第三條及第三十八條ノ改正ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第八條ノ改正ハ大正十年第一學年ヨリ之ヲ適用シ第二學年以上ニ對シテハ仍從前ノ規定ニ據ルモノトス

第二 別 科 規 程

第一條 別科ニ於テハ短期ニ専門ノ學術技藝ヲ授クルモノトス

第二條 別科ニ於テ授ケル學科目左ノ如シ但シ變更又ハ取捨スルコトアルヘシ

農學別科

農學總論、育種、作物、園藝、土壤及肥料、畜産、農産製造、病蟲害、農業經濟、實驗及實習

林學別科

測量、測樹、森林經理、造林及森林保護、森林利用、森林法及林政、實驗及實習

學校長ハ生徒ノ願ニ依リ前項ノ學科目中一科目又ハ數科目ノ選擇專修ヲ許可スルコトアルヘシ

第三條 別科ノ修業年限ハ一箇年トシ十月一日ニ始マリ翌年九月三十日ニ終ル但シ時宜ニ依リ四十

日ノ期間内ニ於テ延長又ハ短縮スルコトアルヘシ

第四條 別科ニ入學ヲ許可スヘキモノハ左ノ資格ヲ有シ入學試驗並ニ身體検査ニ合格シタル者タル

ヘシ

一、農業學校卒業

二、中學校卒業

三、前二號ニ準シ農林業ニ相當ノ經歷アル者

第五條 入學試驗ハ前條第一號第二號ノモノニ對シテハ口頭試問ヲ用ヒ第三號ノモノニ對シテハ口

頭試問ノ外ニ國語、數學、理科ノ三科目ニ就キ檢定ヲ行フ

第六條 入學檢定料ハ金貳圓トス入學願書ト共ニ納付スルモノトス

第七條 授業料ハ一人一箇月金貳圓トシ毎月五日迄ニ納付スルモノトス

第八條 別科ノ課程ヲ修了シタル者ニハ其成績ヲ按シ適當ナリト認メタルトハキ修業證書ヲ授與ス

入學願書書式

入學願書

私儀今般御校農學別科ニ入學志願ニ付御許可相成度別紙履歷書並入學手数料相添へ此段相願候也

族籍住所(戸主又ハ誰何男又ハ弟等)

一 年 月 日

氏

名 印

生 年 月 日

鹿兒島高等農林學校長

履歷書書式

履歷書

族籍(戸主又ハ誰何男又ハ弟等)

氏

名 印

生 年 月 日

一、何年何月ヨリ何年何月マデ何地何學校ニ入り又ハ何某ニ就キ何學修業

一、何年何月何學校ニ於テ何課程卒業

職業

一、何年何月何日何々職(官)拜命(奉職中)

一、何年何月何日何々職(官)退職(官)

賞罰

一、何年何月何處ニ於テ何賞罰ヲ受ク

以

第三 圖書館規則

總則

第一條 鹿兒島高等農林學校圖書館ハ本校ノ圖書ヲ貯藏スル所トス

第二條 圖書ヲ分チテ左ノ二種トス

第一種 普通圖書

第二種 貴重圖書

第三條 本校職員及ヒ學生ハ圖書ヲ閱覽シ又ハ借受クルコトヲ得

第四條 諸官廳若クハ公私團體及ヒ其ノ役員ハ學校長ノ許可ヲ經テ圖書ヲ閱覽スルコトヲ得

第五條 本館員ノ外圖書ノ出納ヲ爲スコトヲ許サス

第六條 第一種ノ辭書諸學科ニ通スル參考書閱覽室備付ノ圖書及ヒ第二種ノ圖書ヲ借受ケムトスル

トキハ學校長ノ許可ヲ受ヘキモノトス

第七條 圖書ヲ借受ケムトスル者ハ定式ノ證書用紙ニ番號書名、著者氏名及ヒ年月日ヲ詳記シ捺印

ノ上圖書館員ニ差出スヘシ

第八條 借付シタル圖書ハ他人ニ轉貸スルコトヲ得ス

第九條 參考用トシテ借受クルコトヲ得ヘキ圖書ノ冊數ハ左ノ如シ

一、教員ニ對シテ二十五冊(十五部)

一、助教ニ對シテ十冊(十部)

一、助手ニ對シテ五冊(五部)

一、その他ノ職員ニ對シテ二冊(二部)

冊數ハ洋裝ノモノニ就キ之ヲ定メ和漢裝ノモノハ三冊ヲ以テ洋裝ハ一冊ニ充テ其ノ他ノモノハ

一冊ヲ以テ一冊ト定ム又裝釘セサル逐次刊行ノ書ニシテ號數ヲ以テ完冊ヲ爲スモノハ其ノ一完

冊ヲナス迄ノ若干號ヲ合セテ一冊トス

但シ逐次刊行書ハ十日以内ニ閉了シ逐號返納セシム

第十條 各學科主任ハ参考上必要ノ圖書ヲ借用シ之ヲ教員室若クハ特別教室ニ備付ケ又各課ニ於テ課長ハ事務上必要ノ圖書ヲ借用シ之ヲ其ノ室ニ備付ケ使用スルコトヲ得

第十一條 學生ハ教務上差支ナキモノ一冊ヲ限リ借り受タルコトヲ得

但シ主任教官ノ證明アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 冬夏期休業中圖書ヲ借受ケムトスルトキハ職員ハ更ニ借受ケノ手續ヲナシ學生ハ教官ノ承認ヲ經テ冬期休業ニハ二冊夏期休業ニハ五冊ヲ限リ借受ルコトヲ得

圖書貸付期限

第十三條 第十一條ニ依リ貸付シタル圖書ハ一週間以内ニ返納スヘシ若シ引續キ借受クル必要アルトキハ主任教官ノ證明ヲ受クヘシ職員ニシテ免職轉任等ノ場合及ヒ生徒ニシテ退學、休學等ノ

場合ニハ其ノ事由ノ生シタル日ヨリ三日以内ニ返納スヘシ

第十四條 借受ケタル圖書ハ每學年ノ終ニ於テ指定ノ期日迄ニ悉皆返納スヘシ

但シ必要アル場合ハ臨時之ヲ返納セシムルコトアルヘシ

圖書

第十五條 閱覽室ハ休業日ヲ除ク外毎日之ヲ開ク

但シ開閉ノ時限ハ時々之ヲ揭示スヘシ

第十六條 學生閱覽室ニ入ラムトスルトキハ閱覽票ヲ圖書館員ニ渡シ置キ退場ノ際之ヲ受取ルヘシ

但シ毎年九月圖書館ヨリ之ヲ交付ス

第十七條 圖書ヲ閱覽セムトスルトキハ目錄ニ就キ其ノ圖書ヲ檢出シ規程ノ用紙ニ書名番號氏名年月日等ヲ詳記シ館員ニ差出シ之ヲ借受ケ閱覽シ了レハ直ニ返納スヘシ

但シ閱覽冊數ハ一時ニ二冊ヲ過クルヲ得ス

第十八條 圖書閱覽ハ閱覽室ニ於テ爲スベシ

閱覽室備付ノ参考書及ヒ定期刊行物ハ定メタル席ニ於テ閱覽シ閱覽シ了レハ直ニ所定ノ位置ニ納メ置クヘシ

第十九條 閱覽室ニ在リテハ喫煙音讀談話等ヲ爲スコトヲ得ス

第二十條 閱覽室ニハ圖書文房具ノ外他ノ物品ヲ携帯スルコトヲ得ス

第二十一條 閱覽票ハ人ニ轉貸スルコトヲ得ス

第二十二條 閱覽票ヲ亡失毀損シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ圖書館主事ニ届出更ニ閱覽票ノ交付ヲ請フヘシ

第二十三條 第四條ニ依リ學校長ヨリ圖書閱覽ノ特許ヲ得タル者ニハ定式ノ閱覽票ヲ交付ス

圖書檢索

第二十四條 左ニ掲ケタル者ハ書庫内ニ入り圖書ヲ檢索スルコトヲ得

一、教官主事及課長

二、右ノ外圖書館主事ノ許可ヲ得タル者

第二十五條 圖書ヲ檢索スル者ハ圖書ノ位置ヲ錯亂スヘカラズ

圖書製裁

第二十六條 圖書ヲ亡失毀損若クハ汚染シタルモノハ其ノ損害ノ多少ニ依リ同一ノ圖書ヲ以テ償ハ

シメ又ハ修補セシム

但シ時宜ニ依リ修理費用又ハ相當代價ヲ以テ辨償セシムルコトアルヘシ

第二十七條 本則ニ違背シタル者ハ其ノ輕重ニ從ヒ一定ノ期限又ハ無期限ニ圖書ノ閱覽及ヒ借受ヲ

禁スルコトアルヘシ

圖書保管

第二十八條 借受ケタル圖書ハ借受人ニ於テ其ノ保存ノ責ニ任シ亡失毀損若クハ汚染シタルトキハ

借受者ヨリ其ノ趣ヲ書面ニテ圖書館主事ヲ經テ校長ニ開申スヘシ

第二十九條 何人ヲ問ハス書庫中ニ於テ一切火器ヲ使用スルヲ得ス若シ燈火ヲ必要トスル場合ニ於

テハ覆付ノ燭火ニ限り之ヲ使用スルコトヲ得

第四 學生心得

第一條 本校學生タル者ハ常ニ左ノ要項ヲ服膺格守スヘシ

一、常ニ我國體ノ精華ヲ發揮スル様心掛ケ學業ヲ勵ミ苟モ學生タルノ體面ヲ汚スカ如キ舉動

アルヘカラス

二、信義ヲ重シ恭儉自重ヲ旨トシ職員ニ對シテハ勿論學生相互ニ禮讓ヲ厚クスヘシ

三、華ヲ去リ實ニ就キ勤儉ヲ旨トシ常ニ神身ノ修養ニ務ムヘシ

四、校則ヲ遵守シ總テ長上ノ命令ニ服従スヘシ

第二條 告示ハ之ヲ揭示シタル日ヨリ一般ニ知了シタルモノト認ムルヲ以テ常ニ能ク注意スヘシ

第三條 校舎内ヲ疾走シ或ハ高聲ニ誦讀談笑スル等渾テ喧囂ノ行爲アルヘカラス

第四條 本校學生タル者ハ飲酒スヘカラス

第五條 疾病又ハ事故ニヨリ開課スルトキハ其ノ常日ノ授業時間前ニ事由ヲ詳記シ届出ツヘシ

第六條 授業時間ニハ遲滞ナク教室ニ入り直ニ所定ノ席ニ就クヘシ若シ遲參スルトキハ受持教官ノ

指揮ヲ受クヘシ

第七條 授業時間中ハ受持教官ノ許可ヲ得スシテ教室ニ出入スヘカラス

第八條 校内ノ建物、物品、樹木ヲ汚染毀損スヘカラス

第九條 學生間猥リニ金錢物品ノ貸借ヲ爲スヘカラス

第十條 常ニ衛生ニ注意シ身體及ヒ衣服等清潔ナルヲ要ス

第十一條 諸願屆書類ハ校長ニ宛テ通學生ニアリテハ生徒監ヲ寄宿舎生ニアリテハ寮長及ヒ生徒監ヲ經由スヘシ

第十二條 自宅ヨリ通學スル者ノ外ハ總テ寄宿舎ニ入ルヲ要ス

第五 寄宿舎規則

第一條 寄宿舎内ニ寮長、副寮長、室長ヲ置ク

第二條 寮長ハ生徒監及ヒ學生課員ノ指揮ヲ承ケ其ノ寮内一般ノ風紀取締ニ任シ兼テ命令其ノ他ノ事項ヲ傳達スルコトヲ掌ル

第三條 副寮長ハ寮長ヲ補助シ寮長事故アルトキハ其ノ任務ヲ代理ス

第四條 室長ハ室内掃除整理ノ責ニ任ス

第五條 起床、就褥、喫飯、人員點檢及自修時間ノ始終ハ喇叭其ノ他ノ時間ハ半鐘又ハ擊柝ヲ以テ之ヲ報ス

第六條 起床號報ニテ速ニ寢具ヲ片付ケ室内ヲ掃除シ就褥號報ニ燈火ヲ滅シ就褥スヘシ

第七條 人員點檢ハ臨時ニ之ヲ行フ

第八條 人員點檢ノ際ハ所定ノ場所ニ整列シ生徒監又ハ學生課員ノ點呼ニ應スヘシ

第九條 就褥後ハ談話、發聲等安眠妨害ノ所爲アルヘカラス

第十條 燈火及ヒ燧爐等ノ取扱ニ注意シ危險ノ所爲アルヘカラス

第十一條 舎内ニ談話室ヲ設ケ一定ノ時間ニ於テ其ノ室内ニ出入スルヲ許ス

第十二條 談話室ニ關スル規則ハ別ニ之ヲ定ム

第十三條 談話室ノ外猥リニ他室ニ往來シ又他ノ自修ニ妨ケアル舉動ヲ爲スヘカラス

第十四條 食堂ニハ定時ノ外猥リニ出入スヘカラス若シ定時外喫飯ヲ要スルトキハ生徒監ノ許可ヲ受クヘシ

第十五條 入浴ハ定時間内ニ於テ之ヲ爲スヘシ若シ定時外入浴ヲ要スル者ハ生徒監ノ許可ヲ受クヘシ

第十六條 疾病ニ罹リタル者アルトキハ本人又ハ室長ヨリ生徒監ニ届出テ指揮ヲ受クヘシ

第十七條 火災其ノ他非常ノ事變アル場合ニハ生徒監及ヒ課員ノ指揮命令ニ從ヒ危害ヲ防止スルコトニ盡力スヘシ

第十八條 外來人ニ面會スルニハ應接所ニ於テシ決シテ室内ニ誘引スヘカラス但シ病氣其ノ他止ム

ヲ得サル場合ニハ願出ニ依リ許可スルコトアルヘシ

第十九條 室内ノ物品ヲ毀損又ハ亡失シタルトキハ之ヲ辨償セシム若シ毀損者、亡失者判明セサル

トキハ寮内又ハ室内ノ一同ヲシテ辨償セシムルコトアルヘシ

第二十條 談話室外諸室ニ於テ飲食スヘカラス但シ湯水及ヒ疾病ノ爲メ特ニ許可ヲ得タル者ハ此ノ

限ニ在ラス

第二十一條 舍内ニ於テ金錢物品ノ紛失シタルトキハ速ニ生徒監ニ届出ツヘシ

第二十二條 修業上必要ノ書類及ヒ物品ノ外ハ生徒監ノ許可ヲ得ルニアラサレハ携帯スルヲ許サス

第二十三條 荷物ヲ門外ニ持チ出サムトスルトキハ生徒監ノ許可證ヲ受クヘシ

第二十四條 沐浴及ヒ衣服ノ洗濯等ヲ怠ルヘカラス

第二十五條 喫飯及ヒ入浴中ハ殊ニ靜肅ニシテ決シテ喧囂ノ舉動アルヘカラス

第二十六條 盥嗽ハ必ス一定ノ場處ニ於テ爲スヘシ

第二十七條 舍内ニ於テ不潔汚穢ノ所爲ヲ爲シ又ハ窓ヨリ流動物其ノ他ノ物品ヲ投棄スヘカラス

第二十八條 被服書籍其ノ他ノ物品ハ總テ所定ノ場處ニ整頓スヘシ

第二十九條 外出時間ハ左ノ如シ

一、平常日 放課後ヨリ夕食時マテ

一、水、土曜日 放課後ヨリ午後九時マテ

一、休業日 朝食後ヨリ夕食時マテ

但シ時宜ニ依リ伸縮スルコトアルヘシ

第三十條 臨時外出、歸省又ハ外泊セムトスル者ハ生徒監ノ許可ヲ受クヘシ但シ外泊シタル場合ニ

ハ歸校ノトキ宿泊先ヲ届出ツヘシ

第三十一條 關課シタル者及ヒ疾病ニ罹リタル者ハ其ノ當日ハ外出ヲ許サス但シ生徒監ノ許可ヲ得

タル者ハ此ノ限ニ在ラス

第三十二條 受業外出等自室ヲ離ルル場合ニハ室内ノ取締特ニ火ノ元ニ注意スヘシ

第三十三條 外出中止ムヲ得サル事故ノ爲歸舍時限ニ遅レタルトキハ事實ヲ認メ得ヘキ證明書ヲ生

徒監ニ差出シ指揮ヲ受クヘシ

第三十四條 外出ノ際ハ自己ノ名札ヲ門衛ニ渡シ置キ歸舍ノ際ハ之ヲ受取り舍内所定ノ場所ニ掲ケ

置クヘシ

第三十五條 起床、就褥、喫飯、自修、人員點檢及ヒ入浴ノ時間ハ別ニ之ヲ定ム

第三十六條 食料及ヒ諸雜費ハ毎月末日限り炊事委員ニ於テ取纏メ賄方請負人ニ支拂フヘシ

但中途退學ノ場合ハ其ノ際支拂フヘシ
 第三十七條 疾病ニ罹リタルトキハ校醫ノ診斷ニ依リ病室ニ於テ治療セシム但シ輕症ノ者ハ此ノ限
 ニ在ラス

第三十八條 病室ニ於テ治療スル者一週間ヲ經ルモ全治セス又重病及ヒ傳染病ニ罹リタルトキハ最
 寄病院ニ入ラシムルコトアルヘシ

第六 通學生取締規程

第一條 通學生班ヲ分チテ若干組トナス

第二條 通學生班ニ班長及ヒ組長ヲ置ク

第三條 班長ハ生徒監及ヒ學生課員ノ指揮ヲ受ケ通學生全般ノ風紀取締ニ任シ兼テ命令其ノ他ノ事
 項ヲ傳達スルコトヲ掌ル

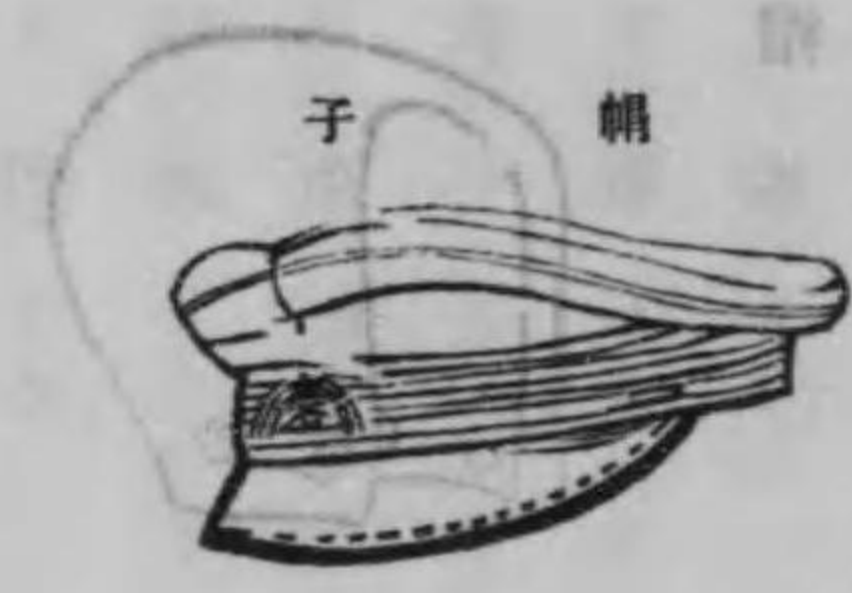
第四條 組長ハ班長ヲ補佐シ其ノ組ノ取締ニ任ス

第五條 通學生ハ本校所定ノ標札ヲ其ノ宿所ノ門外ニ掲クヘシ但シ不用トナリタルトキハ速ニ學生
 課ニ返納スヘシ

第六條 通學生ハ轉宿歸省旅行其ノ他ノ異動ニ際シテハ總テ班長ヲ經テ願出ツヘシ

第七 學生制服

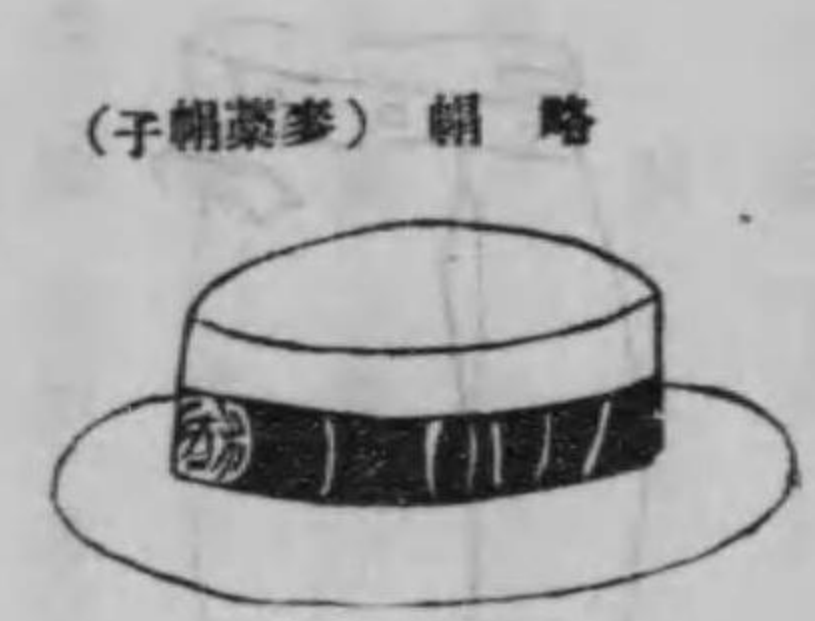
第一條 學生ノ制服ハ左ノ如シ



前章 (色金)



衣 (面前)



略帽 (子朝葉麥)

釦 (色金)



鉢巻ハ黒縞子
 鐙ハ一文字形



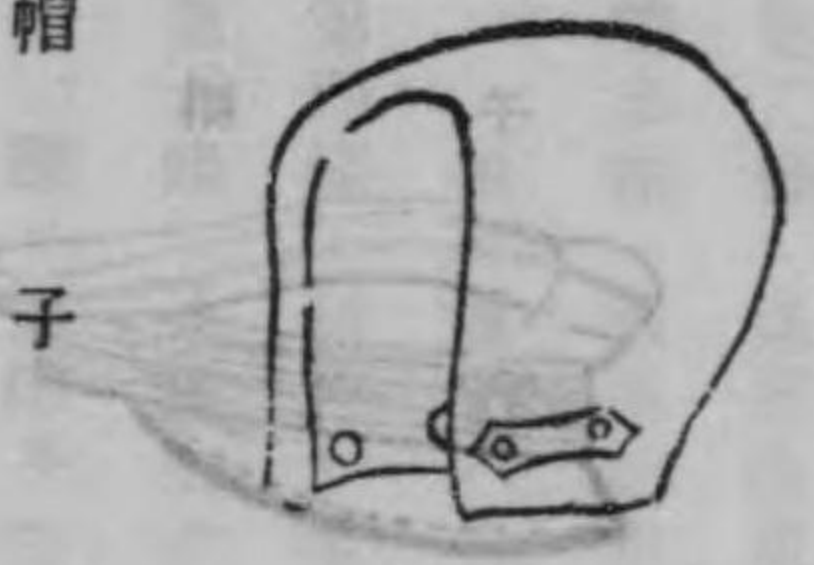
第一條

外套ノ前面

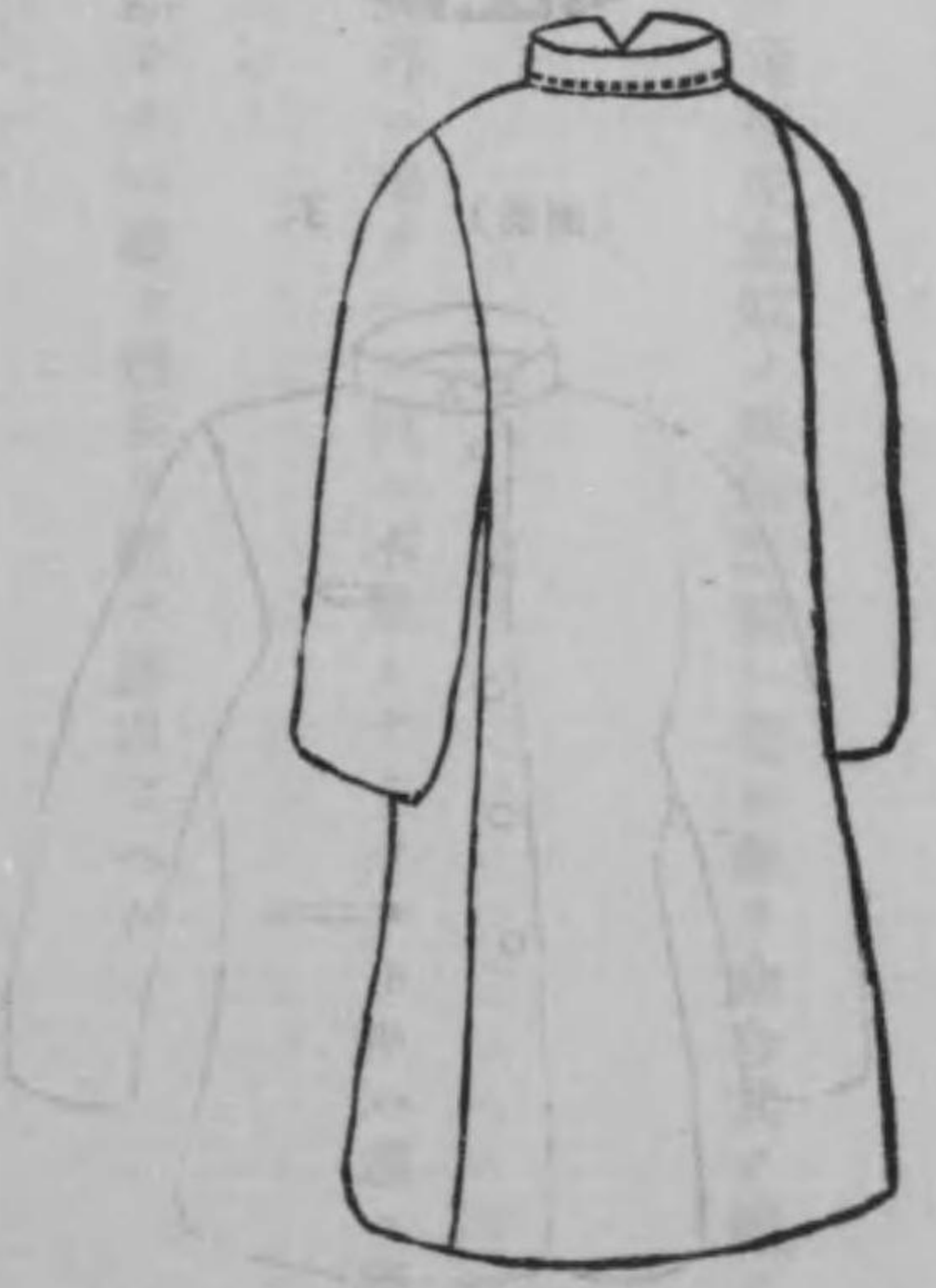
九六

外套ノ頭巾

外套ノ背面



前章 帽 地質 絨 黑色 如圖



眼 庇 八 黒革 幅四分

鈕 黒革 幅四分 金色 圓形 校章入

制 形式 如圖

衣 質 黒革 又ハ黒小倉但シ夏服ハ「セル」小倉又ハ麻

地 質 黒革 又ハ黒小倉但シ夏服ハ「セル」小倉又ハ麻

鈕 金色 如圖

襟 左襟ニ農學科A、林學科、E、養蠶學科ハS、農藝化學科ハC

袖 右ニハ第一學年生ハI、第二學年ハII、第三學年ハIIIノ金字ヲ附ス

制 形式 如圖

袴 形式 如圖

地 質 衣ニ同シ

制 形式 如圖

第二條 制服ヲ着用スヘキ場合ハ左ノ如シ

一、課業ヲ受ケルトキ

九七

二、本校學生タルヲ表示スルトキ

三、其他本校ヨリ特ニ指定セラレタルトキ

第三條 實習實驗等ニ従事スルトキハ所定ノ作業服ヲ着用セシムルコトアルヘシ

第四條 疾病其ノ他ノ事故ニヨリ制服ヲ着用シ難キトキハ其ノ旨届出ツヘシ

第五條 冬服及夏服用期間ハ左ノ如シ

但シ場合ニヨリ特ニ服種ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

夏服

自五月三十一日
至十一月一日

冬服

自十一月三十一日
至四月三十日

第六條 夏服ヲ着クル際ニハ略帽ヲ着用スルコトヲ得

第七條 新入學生ハ五月一日迄ニ制服及實習服ヲ調製着用スヘシ

第八條 學生外出スルトキハ制服制帽又ハ制帽及袴ヲ着用スヘシ

第九條 研究生並ニ選科生ノ制服ハ學生ニ準ス

但シ襟章ノ數字ヲ附セサルモノトス

第十條 制服ハ常ニ清潔ニシ見苦シカラサル様手入スヘシ

第八 校旗ニ關スル規程

校旗ノ保護

第一條 校旗ハ校長室ニ置クモノトス

第二條 校旗ニ對シテハ職員生徒ハ敬虔ノ念ヲ以テ常ニ之ヲ尊重擁護スヘシ

第三條 非常ノ場合ニ於テハ本校職員並旗手ハ校旗ニ對シ臨機ノ處置ヲナスモノトス

旗手ノ任命

第四條 旗手ハ各學科上級生ニ就キ教官會議ニ諮リ校長之レヲ命ス

第五條 旗手ヲ分チテ正副トシ正旗手ハ校旗ノ捧持ヲ掌リ副旗手ハ常ニ正旗手ニ伴ヒ必要ノ場合ハ

正旗手ニ代リテ校旗ノ捧持ヲ掌ル

第六條 正旗手ハ學年ノ變更毎ニ各學科交番ニ之レニ當ル

校旗ノ迎送

第七條 校旗ハ學校長若クハ學校長代理者ノ面前ニ於テ迎送スルモノトス

第八條 校旗ヲ迎フルニハ學生課員一名旗手ヲ引卒シ校長室ニ至リ旗手ヲシテ校旗ヲ持セシメ之レ

ヲ誘導スルモノトス

第九條 校旗ヲ送ルニハ旗手ヲシテ校旗ヲ持セシメ學生課員一名旗手ヲ引率シ之レヲ校長室ニ誘導

スルモノトス

第十條 校旗ヲ捧持スヘキ場合左ノ如シ

一、學校ノ全員行動シ學校ヲ表示スルトキ

二、本校ニ於ケル重要ナル儀式舉行ノトキ

三、其ノ他學校長ノ特ニ適當ト認メタルトキ

第十一條 校旗ヲ捧持シテ出動スル場合ニハ職員學生ハ之レニ隨從スルモノトス但シ止ムヲ得サル

事由アルトキハ途中ノ隨從ヲ省略スルコトヲ得校旗ヲ收メテ携帶スルトキハ此ノ限リニアラス

第十二條 校旗ニ對スル敬禮

第十三條 職員並ニ學生ハ校旗ニ對シ姿勢ヲ正シ注目(着帽ノ場合ニハ脱帽)ノ敬禮ヲナスモノトス

第十四條 學生ノ整列ノ場合ニアリテハ指揮官ノ號令ヲ以テ敬禮ナスモノトス

第十五條 校旗ニ上覆ヲ附シタルトキハ前項ノ敬禮ヲナスニ及ハス

第十六條 校旗ノ持方及ヒ其ノ敬禮

第十七條 旗手列中ニ在リテ停止或ハ行進スルトキハ校旗ヲ持ツニハ旗徽ヲ右ノ臑骨上ニ當テ右肘

ヲ後ロニシテ旗頭ハ僅ニ前方ニ傾カシムルモノトス

第十八條 校旗ノ敬禮ハ皇室並神前其ノ他特ニ指定セラレタル場合ニ限ル

第十七條 校旗ノ敬禮ヲ行フヘキトキハ次ノ方法ニ從フヘシ校旗受敬禮者ヲ距ル六歩ノ所ニテ旗手

ハ右手旗竿ニ沿ヒテ眼ノ高サニ上ケ旗徽ヲ右臑骨ヨリ離スコトナク右手ヲ充分前方ニ伸ハシ始

ムト旗竿ヲ水平ニス而シテ受禮者ヲ過ル六歩ノ所ニ至レハ校旗ヲ起立シ定規ノ持方ニ復ス

第九 寄宿料徴收規程

第一條 本校寄宿舎及ヒ演習林寄宿舎ニ入舎スルモノハ寄宿料ヲ納付スヘシ

但シ特待生ハ之ヲ徴收セス

第二條 寄宿料ハ一箇年拾貳圓トス

第三條 寄宿料ハ壹箇年ヲ左ノ二期ニ分テ每期ノ始ニ於テ之ヲ徴收ス

第壹期 自四月一日ヨリ至七月三十一日 金 四圓

第貳期 自八月一日ヨリ至十二月三十一日 金 五圓

第參期 自一月一日ヨリ至三月三十一日 金 參圓

第四條 寄宿料ハ第壹期ハ四月十六日ヨリ同二十日迄第貳期ハ八月一日ヨリ同五日迄第參期ハ一月

十一日ヨリ同十五日迄ニ納付スヘシ

第五條 其ノ期ノ中途ニ於テ入舎スルモノハ壹箇月金壹圓ノ割合ヲ以テ次ノ寄宿料納付期ノ前月迄

寄宿料ヲ入舎ノ日ヨリ五日以内ニ納付スヘシ

第六條 寄宿料徴收期日以前ニ退舍シタルモノハ壹ヶ月金壹圓ノ月割ヲ以テ直チニ納付スヘシ

第七條 本校ヨリ校外宿泊ヲ命シタルモノニシテ便宜上一時寄宿舎ニ宿泊セシムル必要アルモノハ

七日以内無料入舎ヲ許可スルコトアルヘシ

第八條 本校寄宿舎及ヒ演習林寄宿舎間ヲ轉舎シタル者ノ寄宿料ハ共通トス

第九條 平素ハ通學生ニシテ演習林ニ於テ演習ノ爲メ演習林寄宿舎ニ入舎シタルモノハ入舎ノ日ヨ

リ退舎ノ前日迄一日參錢ノ割合ヲ以テ寄宿料ヲ徴收ス

此ノ寄宿料ハ本校ニ歸着ノ日ヨリ五日以内ニ納付スヘシ

第十條 一旦納付シタル寄宿料ハ半途ニ退舎スルト雖モ之ヲ返付セス

第十一條 寄宿料ヲ定日ニ納付セサルモノアルトキハ本人ニ催告シ尙納付ヲ怠ルトキハ本校學則第

三章第二十二條ニ準シ處分ス

第十 非常手配規程

第一條 本校失火若クハ近火等事變ノ節ハ守衛又ハ小使其ノ他之ヲ知リタル者ヨリ執務時間内ハ庶

務課、會計課及ヒ學生課ニ其ノ他ハ當直員ニ急報スヘシ

第二條 庶務課、會計課、學生課及ヒ當直員ニ於テ前條ノ報ニ接シタルトキハ直ニ手後レナキ様相

當ノ手配ヲ爲シ特ニ 御眞影並 勅語贖本ノ保安ニ留意スヘシ但シ當直員ニ在リテハ同時ニ急

使ヲ以テ學校長、課長、主事及ヒ學生課員ニ報知スヘシ

第三條 事變ノ節多人數ノ手配ヲ要スト認ムル場合ニ於テハ前條職員ハ守衛補ヲシテ火災ハ火災號

音ヲ其ノ他ノ事變ハ集合ノ號音ヲ吹奏セシムヘシ

第四條 前條信號ヲ報シタルトキハ職員以下諸備人ニ至ル迄各自常詰所ニ在リテ上官ノ指揮ヲ受ク

ヘシ

學生ハ寄宿舎玄関前庭ニ南北四列横隊ニ集合シ學生課員ノ指揮ヲ受クヘシ

但シ寄宿舎失火ノ際ハ學生課員ニ於テ臨機ノ處置ヲ爲スヘシ

第五條 非常手配ヲ分チテ左ノ三掛トシ非常事變ノ節夫々分掌ノ手配ニ從事スルモノトス

一、警 戒 掛

二、防 火 掛

三、運 搬 掛

第六條 警戒掛ノ分掌ヲ定ムルコト大要左ノ如シ

一、表裏門共直ニ之ヲ閉鎖ス出入者アルトキハ小脇門ヲ閉鎖スヘシ

二、一名宛各門ノ内側ニ立チ嚴重ニ出入ヲ監視シ本校其ノ他官衙ノ職員及ヒ警官消防夫並本

校諸備人若クハ出入ノ諸商人職工等ノ外ハ通門ヲ禁止スヘシ

- 三、始終校内ヲ巡邏シテ盜賊等ヲ戒ムヘシ
- 四、表立關ニ見張シテ出入ヲ監視シ且ツ駈付人氏名等ヲ書留置クヘシ
- 五、校内ヲ巡邏シ窓ノ外戸ヲ閉チ風孔ヲ塞キ倉庫ハ目達ノ用意ヲ爲シ物品運搬濟ノ上又ハ運搬ヲ待タズ直ニ入口非常戸ヲ締切ル等適宜ノ手配ヲ爲スヘシ
- 六、夜中ニ在リテハ當直員ノ指揮ヲ受ケ表門及ヒ支關等ニ高張提灯ヲ點シ其ノ他要所ニ點燈シ又各所入口開扉ノ用意ヲ爲スヘシ
- 七、燧燼點燈其ノ他一般火氣ノ存スル所ニハ特ニ警戒ヲ加ヘ其ノ必要ト認メタルモノノ外ハ總テ消滅スヘシ

第七條 防火掛ノ分掌ヲ定ムルコト大要左ノ如シ

- 一、校内失火ノ節ハ直ニ備付ノ唧筒及ヒ消火器ヲ使用シ專ラ消防ヲ爲スヘシ
 - 二、近火ノ節ハ適宜ノ場所ニ唧筒ヲ引キ出シ防禦ノ用意ヲテシ若シ延燒ノ虞アルトキハ水ヲ建物ニ注キ充分ノ豫防ヲ爲スヘシ
- 第八條 運搬掛ノ分掌ヲ定ムルコト大要左ノ如シ
- 一、校内失火シテ消止メ難キカ或ハ近火ニシテ延燒ノ虞アリト認ムルトキハ書類圖書其ノ他引ノ物品ヲ安全ノ場所ニ運搬スヘシ

二、物品ヲ運搬スルニハ火元最寄ノ箇所ヨリ始メ且ツ貴重品及ヒ書類ヨリ先ニシ次ニ圖書其ノ他一般ノ物品ニ及フヘシ

三、物品ヲ運搬スルニハ先以テ倉庫ニ入ルルハ勿論ナリト雖倉庫ニ入ルルヲ得サルトキハ延燒ノ虞ナキ場所ニ運フヘシ但シ何レモ監視者ヲ附シラ嚴重ニ取締ヲ爲スヘシ

第九條 校内教室附近ニ於テ失火シタル場合ニハ庶務課、會計課、學生課其ノ他當直員ニ於テ先ツ御眞影並 勅語謄本ヲ構内安全ノ場所ニ奉遷警護シ上官ノ指揮ヲ俟ツヘシ

第十條 非常手配掛員ハ別ニ指定ス但シ掛員駈付ケサル間ハ在校者ニ於テ上官ノ指揮ヲ受ケ夫々手配ニ從事スヘシ

第十一條 左ノ非常用具ハ各掛員ニ於テ夫々整頓シ唧筒消火器其ノ他ハ時々之ヲ使用シテ其ノ具合ヲ試ミ常ニ支障ナカラシムルコトヲ要ス

- (一) 唧筒
- (二) 消火器
- (三) 消火栓用筒先及ホース
- (四) 立筒
- (五) 水桶
- (六) 梯子
- (七) 又
- (八) 斧
- (九) 鋸

(二) 金 杆 (三) 槌

第十二條 倉庫ノ入口及ヒ窓ノ非常戸等ハ掛員ニ於テ時々閉鎖ヲ試ミテ其ノ完備ヲ計リ目塗用土ハ

ハ常ニ所定ノ場所ニ整頓シ臨時使用ニ差支ナキ様注意スヘシ

第十三條 隔月一回寄宿舎學生ヲシテ唧筒使用ノ演習ヲ爲サシムヘシ但シ本文演習ノ外第三條ノ信

號ヲ臨時ニ演習セシムルコトアルヘシ

第十四條 事變ノ際ニ於ケル寄宿舎學生ノ部署ヲ定ムルコト左ノ如シ但學生課員ヲ以テ各其ノ指揮

者トス

一、警戒手配

寄宿舎南寮 (若干人)

寄宿舎北寮 (同)

教 舎 (同)

講堂及ヒ圖書閱覽室 (同)

二、防火手配

唧筒掛長 (若干人)

同 筒 先 (同)

三、運搬手配

第一組 (若干人内一人ハ搬出品監視)

第二組 (同)

第三組 (同)

第四組 (同)

第十五條 前條各手配員ノ配當ハ毎年九月學生課ニ於テ之ヲ定ム但シ臨時變更スルコトアルヘシ

第十一 獎 勵 金

玉利農學博士獎學資金

右ハ大正五年拾貳月玉利農學博士還曆祝賀記念ノ爲メ有志者ニ於テ釀集シ帝國政府四分利公債證書額面參千五百圓ヲ寄附セルモノニシテ其ノ利子ヲ以テ學術研究及獎勵ノ費途ニ充ツベキモノトス

農藝化學研究獎學資金

右ハ合名會社鹿兒島市化學研究所代表社員宮原稻若ヨリ大正六年十一月金六百圓、大正七年四月金四百圓、全年十月金四百圓ヲ寄附セシモノニシテ農藝化學研究費ニ充ツベキモノトス

恒藤農學博士獎學資金

右ハ農學博士恒藤規隆ヨリ金貳千五百圓ヲ寄附シ大正七、八、九、十、十一年ノ五年度ニ涉リ毎
年金五百圓ヲ分納スルモノニシテ甲種農學校出身ノ本校學生中學術優等品行方正ナル者ノ貸費ニ
充ツヘキモノトス

第十二 玉利農學博士獎學資金給與規程

第一條 玉利農學博士獎學資金ヨリ生スル利子ハ本校在學生中學術優良、實習並演習勵精、心身鍛

鍊精進ヲ怠ラサル者等青年學生ノ模範ト爲スニ足ル者ヲ獎勵スル爲メノ費途ニ充ツルモノトス

第二條 獎勵金ノ給與ヲ受クベキ者ノ選定ハ教官會議ニ於テ決定スルモノトス

第三條 獎勵金ハ左ノ標準ニ依リ毎年各等通シテ二十人以内トス

- 甲 號 貳拾圓 以 內 學術優良實習並演習勵
精身心鍛鍊ヲ勉ムル者
- 乙 號 拾圓 以 內 同上ニ準スベキ者
- 丙 號 五圓 以 內 同上ノ一部ニ勵精ナル者
- 特別賞 參圓 以 內 特待生ニ交付スル者

第十三 學校醫職務規程

第一條 本校ニ學校醫二人ヲ置キ一人ヲ顧問醫ト爲シ一人ヲ治療醫ト爲ス

第二條 顧問醫ノ職務ハ左ノ如シ

一、學校衛生及ヒ醫務上ニ關シ學校長ノ顧問タルコト

二、學生及ヒ入學試驗受験者ノ身體檢查ニ關スルコト

第二條 治療醫ノ職務ハ左ノ如シ

一、學生ノ疾病治療ニ關スルコト

二、學生及ヒ入學試驗受験者ノ身體檢查ニ關スルコト

三、寄宿舍ノ衛生ニ關スルコト

第四條 顧問醫ハ學生ノ疾病ニ付治療醫ノ請求アル場合ニハ立會診察シ共ニ治療ニ從事シ若シ病院

ニ於テ治療スルノ必要アル場合ニハ入院其ノ他ニ關シ便宜ヲ與フヘシ

第五條 顧問醫ハ毎月一回以上登校シ一般衛生ニ關スル視察ヲ遂ケ意見ヲ學校長ニ具申スヘシ

第六條 治療醫ハ毎日午前ニ登校シ學生ノ疾病ニ罹レルモノヲ診察シ及ヒ寄宿舍ノ衛生ニ關スル視

察ヲ爲スコト

學生ノ疾病ニ罹レル者ニシテ重患者ト認メタル時ハ顧問醫ニ立會ヲ求メ共ニ診察治療スヘシ

第七條 學校醫ニ於テ學生ノ疾病ニ罹レル者ヲ診察治療スルニハ校内診察室ニ於テシ病症ノ如何ニ

依リ左ノ如ク取扱フヘシ

十一、輕症ナル者ハ自己ノ室内ニ在リテ靜養セシムルコト

十二、稍々重症ナル者又ハ傳染病ノ疑アル者ハ校内ノ病室ニ入り靜養セシムルコト

十三、重症者及ヒ傳染病患者ハ最寄病院ニ入ラシメ又ハ便宜ノ方法ヲトルコト

十四、治療上ニ要スル藥品及ヒ其ノ他ノ用品ハ治療醫ニ於テ供給シ相當代價ヲ患者ヨリ徵收ス

十五、學校醫ハ臨時ニ起リタル衛生上ノ事件又ハ學生ノ急病ニ關シ學校長又ハ學生醫ノ通知アリ

十六、タル場合ニハ直ニ登校シ相當處理スヘシ

第十七、學校醫ニ於テ學生及ヒ入學試驗受験者ノ身體検査ヲ爲スニハ明治三十三年文部省令第四號

第十八、學生生徒身體検査規程ニ依リ身體検査表ヲ調製スヘシ

第十九、學校醫登校シタルトキハ觀察ノ要項及ヒ學生疾病ノ概況ヲ日誌ニ記入スヘシ

第十四 見習生規程

第一條 本校ニ見習生若干ヲ置ク

第二條 見習生ハ農業蠶業若クハ林業ヲ實習スルモノトス

第三條 農業ヲ修メムトスルモノハ農場ニ於テ蠶業ヲ修メムトスルモノハ養蠶室若クハ桑園ニ於テ

林業ヲ修メムトスルモノハ實習地若クハ演習林ニ於テ執業スルモノトス

第四條 見習生タラムト欲スルモノハ乙種農業學校卒業程度以上ニシテ年齡滿十七歲以上品行方正

身體健全實地ノ勞働ニ堪ユル者ニ限ル

第五條 見習生ノ實習年限ハ各貳箇年トス

第六條 見習生タラムト欲スル者ハ書式ノ願書ニ履歷書ヲ添ヘ差出スヘシ

第七條 授業料ハ徵收セス

第八條 自宅ヨリ通學スル者ノ外ハ見習詰所ニ宿泊セシム

第九條 見習生ハ農場又ハ養蠶室ニ於テ宿直ヲ命スルコトアルヘシ

第十條 實習ノ爲メ使用スル材料ハ場合ニ依リ自辨セシムルコトアルヘシ

第十一條 執業中ハ總テ掛員ノ指揮ニ從フヘシ

第十二條 疾病其ノ他事故アリテ執業スル能ハサルトキハ始業時刻迄ニ其ノ旨掛員ニ届出ツヘシ

第十三條 怠惰ニシテ上達ノ見込ナキ者品行不良ノ者又ハ屢闕業スル者ハ之ヲ除名ス

第十四條 實習年限滿期ニ至リ成績適當ト認ムル者ニハ證明書ヲ與フ但シ實習年限内ト雖其ノ成績

優良ノ者ニハ特ニ證明書ヲ與フルコトアルヘシ

書式

見習生志願者

私儀 〔農業〕 見習生志願ニ付御許可相成度御採用ノ上ハ御規則堅ク遵守可致別紙履歷書相添へ此段
〔林業〕 相願候也

年 月 日 現住所

本籍 〔戸主ニアラザレハ〕 何

鹿兒島高等農林學校長 氏名殿

證明書書式

道府縣族籍

生年月日

右者本校見習生規程ニ依リ 〔農業〕 修業シタル者ナルコトヲ證ス 〔林業〕

鹿兒島高等農林學校長

○出版物

- 一 植物體中有機鹽基特ニ「ベタイン」・「プリン鹽基」及「ゴリン」ノ分布ニ就テ
 教授 農學博士 吉村清尙
- 一 乾鱈ノ窒素化合物ニ就テ
 助教授 農學得業士 金井眞澄
- 一 鯉煎汁中ノ窒素化合物ニ就テ
 教授 農學博士 吉村清尙
- 一 鱒鱒中有機鹽基ノ存在ニ就テ
 助教授 農學得業士 金井眞澄
- 一 青椿象ノ窒素化合物ニ就テ
 教授 農學博士 吉村清尙
- 一 椎茸ノ成分ニ就テ
 助教授 農學得業士 金井眞澄
- 一 合成「ベタイン」ニ就テ
 教授 農學博士 吉村清尙

一 薯蕷ノ窒素化合物ニ就テ…………… 教授 農學博士 吉村清尙

一 吐喝喇群鳥糞ニ中之鳥及實島ノ植物ニ就テ…………… 農學得業士 足立彌八

一 Phragmidrum 屬ノ一新種ニ就テ (豫報)…………… 教授 農學士 河越重紀

學術報告 第二號

一 食用植物ノ化學的研究(第一報)…………… 教授 農學博士 吉村清尙

一 食用植物ノ化學的研究(第二報)…………… 農學得業士 足立彌八

一 食用植物ノ化學的研究(第三報)…………… 教授 農學博士 吉村清尙

一 鳥賊 Phosphatides ニ就テ…………… 教授 農學士 竹内徳三郎

一 降水中所含窒素化合物ノ側定成績…………… 農學得業士 足立彌八

一 尿中ノ窒素化合物ニ就テ…………… 農學得業士 福谷君貞

一 小麥及ヒ大豆ノ加水分解ニ就テ…………… 農學得業士 足立彌八

一 農學得業士 福谷君貞

農學得業士 福谷君貞

一本校演習林ニ於ケル雲霧結量一觀測…………… 教授 林學士 淵野旭子

一 種子鳥牧場植物誌…………… 助教授 林學得業士 岡積眞人

一 鹿兒島縣下ニ於ケル蝶類ノ分布ニ就テ…………… 農學得業士 岩田收二

學術報告 第參號

一 食用植物ノ化學的研究(第四報)…………… 教授 農學博士 吉村清尙

一 ゲンノシヨウコ(牝牛兒苗)ノ成分ニ就テ…………… 教授 農學博士 吉村清尙

一 殘滓ヨリ燐ウオルフラム酸ノ回收ニ就テ…………… 助教授 農學得業士 足立彌八

一 煙草莖ノ利用ニ關スル研究(第一報)…………… 教授 農學博士 吉村清尙

一 蘇鐵ノ成分ニ就テ(第一報)…………… 教授 農學博士 福谷君貞

一 ウレアーゼ及ビ其應用ニ關スル研究…………… 農學得業士 相良長輝

一 教授 農學士 竹内徳三郎

一 スルデノ種實中ニ存スル鹹味物質ニ就テ……………教授 林學士 淵野 旭子
 一 櫻島噴出物礫砂礫ニ就テ……………農學得業士 福谷 君真
 一 占領南洋諸島産植物考察……………教授 農學士 河越 重紀

學術報告 第四號

一 蕙苡仁ノ成分ニ就テ……………教授 農學博士 吉村 清尙
 一 橙果ノ利用ニ關スル研究……………農學得業士 相良 長輝
 一 蘇鐵ノ成分ニ就テ(第二報)……………教授 農學博士 吉村 清尙
 一 蘇鐵ノ成分ニ就テ(第三報)……………教授 農學博士 吉村 清尙
 一 カラスウリ(王瓜)ノ成分ニ就テ……………農學得業士 古賀藤次郎
 一 胡麻ノ成分ニ就テ……………教授 農學博士 吉村 清尙
 一 棟實ノ利用ニ關スル研究……………教授 農學博士 吉村 清尙
 一 種々ノ溫度ニ於ケル四種ノ油ノ屈折率ニ就テ……………農學得業士 古賀藤次郎
 教授 理學士 伊豆 直吉

一 山岳ニ於ケル森林カ水源ヲ涵養スル作用ヲ論ズ……………教授 林學士 淵野 旭子

敷地、建物及農林實習場

本校ノ敷地ハ鹿兒島縣鹿兒島市上荒田町及鹿兒島縣鹿兒島郡中郡宇村ニ跨リ其實測面積八萬九千三百十坪七合五勺ニシテ之レニ建設セル建物ノ總坪數ハ貳千八百三十坪八合二勺七才ナリ又本校所屬果樹園ハ鹿兒島縣鹿兒島郡中郡宇村及西武田村ニ跨リアルモノ其面積六町壹畝十七步ナリ演習林ハ鹿兒島縣肝屬郡牛根及同郡垂水村ニ跨リアルモノ其ノ實測面積參千五百町貳反壹畝壹步ニシテ建物ノ總坪數ハ百廿九坪二合七勺ナリ農林實習場ハ同郡佐多村ニアルモノ其實測面積參百拾六町四反八畝貳拾壹步ナリ又牧場ハ鹿兒島縣熊毛郡北種子村西之表ニアリテ其實測面積ハ四百貳拾八町七反八畝二十八步ニシテ建物ノ總坪數ハ參百八坪四合〇五才ナリ尙植物試驗地ハ鹿兒島縣播磨郡宿村ニアリテ其面積壹町六反廿七步ニシテ建物ノ坪數ハ六十坪五合ナリ

職員

(大正十年十一月 日現在)

校長

農學博士農學士 玉利喜造 鹿兒島

教授

肥料學、農產製造學、食品化學、肥料製造及鑑定
生理化學、分析化學、化學實驗
英語、作物學

農學科主事、農場主事
別科主事

學生課長

造林及森林保護學、林產製造學、狩獵、英語

陸軍砲兵中尉

動物及昆蟲學、森林昆蟲學、動物實驗、實業汎論

陸軍步兵中尉

物理學及氣象學、物理實驗、數學

陸軍步兵軍曹

森林數學、森林經理學、森林數學實習

林學實習場主事

森林經理學實習、數學、英語、森林利用

植物園主事

植物學、植物病理學、森林植物學

陸軍步兵中尉

森林法律及森林管理學、林政學、獨逸語

林學科主事

在外研究中

畜產學、農學

標本室主事

植物學、植物學實驗

種子島牧場主事

法律及經濟學、財政學、行政大意

理學博士理學士

園藝學、農業工學、熱帶農學、農學

植物試驗場主事

修身、教育學、英語、獨逸語

陸軍步兵少尉

農學博士農學士	吉村清	尚福岡
農學士	重松達一郎	愛媛
林學士	淵野旭子	大分
農學士	岡島銀次	福井
理學士	伊豆直吉	福岡
林學士	萬年信	山形
農學士	河越重紀	鳥取
林學士	川島明八	鹿手
農學士	谷口熊之助	愛媛
農學士	米山豐	靜岡
法學士	中野治房	千葉
農學士	橫山三穂	山口
農學士	草野嶽男	鹿兒島
文學士	黑木重也	鹿兒島

助教

園藝、農場實習(園藝)

農學別科主任

作物、農場實習(作物)

農學得業士

昆蟲、養蠶實驗及動物實驗

農學得業士

土木及治水學、森林保護、土木實習、造林實習

農學得業士

養蠶學、細菌實驗、桑園實習、農場實習

農學得業士

礦物及地質學、土壤學

農學得業士

園藝、農場實習(園藝)

農學得業士

作物、農場實習(作物)

農學得業士

畜產、農場實習(畜產)

農學得業士

養蠶實習、桑園實習、農場實習

獸醫學得業士

地質及土壤學、肥料學

農學得業士

農學博士農學士

恒藤規隆

英語

植民政策

測量學、森林測量學、林學、測量實習、森林利用學、森林法

化學、分析化學、化學實驗、土壤學及肥料學

機械工學

森林土木學

編譯語

體操

體操

化學、分析化學、化學實驗

微生物學、蠶體病理學及消毒論、微生物學實驗、病理學實驗、細菌學實驗

測樹、森林利用實習、測樹實習、森林經理實習、造林實習

擊劍

柔道

110

星野賀七郎 鹿兒島

松岡正男 青森

西力造 島根

三須英雄 山口

大脇策一 大分

磯崎恒男 徳島

谷山國隆 鹿兒島

弓削滿二 鹿兒島

勝龍太郎 鹿兒島

辻本孫三郎 三重

池田榮太郎 秋田

重松義則 愛媛

佐々木正宜 茨城

廣川知思 新潟

教授 淵野旭子 前出

教授 米山豊 前出

教授 岩崎行高 前出

池田爲矩 鹿兒島

宮崎宗一 鹿兒島

木原眞男 鹿兒島

川越奎平 宮崎

濱田政芳 鹿兒島

西村利明 鹿兒島

岩切捨之 鹿兒島

新納生夫 鹿兒島

今村四郎 鹿兒島

村山藤八郎 鹿兒島

111

圖書

林學

農學

會計課

會計課長

庶務課長

會計課

教務課

會計課

高隈演習林

指宿植物試驗場

庶務課

會計課

農場

會計課
種子島牧場
教務課
化學教室
植物學教室
種子島牧場
寄宿舍兼教務課、庶務課
園藝學教室
圖書館
會計課
會計課
庶務課
動物學教室
林學教室
圖書館

川崎弘道 鹿兒島
池田實尙 鹿兒島
池田熊架装 鹿兒島
泉清宮崎
黑岩秀雄 鹿兒島
植村榮 鹿兒島
吉村吉次 鹿兒島
白濱重寛 鹿兒島
有村矢太郎 鹿兒島
長山登 鹿兒島
二川政吉 鹿兒島
谷川澤 鹿兒島
七村豊次 鹿兒島
妹尾兼輝 鹿兒島
東幸平 鹿兒島

化學教室 古賀海三
植物學教室 林田三
農場 田中
農場 田中
農場 田中

學校用器
二
三

植村政治 鹿兒島
佐竹久雄 鹿兒島
稻留純清 鹿兒島
千代島廣次 福岡
醫學士 村田豊作 佐賀
永山在船 鹿兒島

○學生 (大正十年十月現在)

第一學年
本學科
農學科
第一部
第三學年

有馬正純 中、鹿兒島
有里榮中、鹿兒島

阿部敏郎 中、福岡
石崎政次 中、福岡

井之上 深 中、鹿兒島
 小川 廣作 農、長崎
 神野 岐利 師、鹿兒島
 岸 本哲雄 中、大阪
 黒田 健次郎 中、佐賀
 竹 迫橋 彌 中、鹿兒島
 橋 口辰吉 農、宮崎
 星野 辰次郎 中、福岡
 前田 淺三 中、鹿兒島

第二部
 稻田 繁夫 中、熊本
 田中 愛穂 農、鹿兒島
 馬 場 勝 中、大阪
 林 雄三 中、岐阜
 吉武 敬三 農、福岡

内山 堯 中、長崎
 大庭 秀景 中、山口
 岸 敏彦 農、廣島
 久保 恵 農、鹿兒島
 佐伯 納 中、福岡
 中村 三八夫 中、山口
 箱崎 喜春 中、愛媛
 本橋 正太郎 農、東京

武田 貞三 中、大阪
 西 清 農、福岡
 幡鎌 芳三郎 農、靜岡
 藤井 晋松 農、山口

第三部

石田 政吉 中、鹿兒島
 平井 稔 農、愛媛
 宮本 邦彦 中、長野

中村 威 中、熊本
 丸林 讓一 農、廣島
 山田 濟 中、熊本

農學科

第一部

青山 平一郎 農、愛知
 入江 信雄 中、福岡
 井浦 康二郎 中、福岡
 大前 恒二 中、徳島
 小野 隆一 中、岡山
 篠崎 勳 中、福岡
 竹内 恭介 中、廣島
 田村 信雄 中、福岡
 田中 勝之助 中、島根

第二部

岩下 等 中、宮崎
 飯沼 康策 中、岐阜
 宇野 勝正 中、大分
 大寺 稔 中、鹿兒島
 黒木 福松 農、宮崎
 杉山 正榮 中、熊本
 谷村 俊助 中、兵庫
 高木 義浩 中、福岡
 丁主 一 農、宮崎

農學科 第一學年

安崎文武 中、鹿兒島
 大坪實壽 農、鹿兒島
 大塚護 中、熊本
 菅賢敏 中、熊本
 鈴木利一 農、宮崎
 末石憲一郎 中、佐賀
 千住周造 中、佐賀
 鶴川教輔 中、福岡
 中村寅次郎 農、宮崎
 野島友雄 中、福岡
 堀英太郎 中、大分
 三宅新一 中、熊本
 森田弘太郎 中、三重
 山内正人 中、福岡

有村三次 中、鹿兒島
 緒方惟夫 農、宮崎
 川畑芳一 中、鹿兒島
 島袋俊一 農、沖繩
 澄田晟 中、山口
 末海伊吉 中、宮崎
 田中武夫 中、山口
 中村壽夫 農、岐阜
 永友勇 農、宮崎
 平田信行 中、福岡
 前田藤輔 中、熊本
 溝口榮一 農、靜岡
 山本義夫 中、山口
 和田溫一郎 中、島根

永山將忠 中、鹿兒島
 難波薰 中、鹿兒島
 西信孝 中、鹿兒島
 福岡弘吉 中、福岡
 松永松之助 中、佐賀
 山本圓治 中、福岡
 山下實 中、鹿兒島
 第二部
 惠藤唯實 農、福岡
 佐伯等 中、福岡
 德久二佑 農、佐賀
 中原直治 中、長野
 松下初重 農、愛知
 第三部
 岡本善久 農、島根

中西一郎 中、熊本
 仁禮貞良 中、鹿兒島
 脇岡重德 中、鹿兒島
 本田輝政 檢、愛媛
 宮崎瑳二郎 農、佐賀
 山北又三郎 農、三重
 鹿島猛 農、鹿兒島
 恒吉義雄 中、鹿兒島
 永友繁雄 農、宮崎
 平古場多四郎 農、長野
 廣瀬恒久 中、熊本

渡邊富士男 中、愛知
林學科 第三學年

荒川五郎 農、宮城
砂野仁 中、京都
内野榮藏 中、鹿兒島
川上忠光 中、鹿兒島
川畑清憲 中、鹿兒島
河野醇一 中、大分
柴山榮 中、大分
高木喜藏 農、大分
田丸三吾 中、福岡
蝶野勝四郎 農、愛媛
原田盛重 中、福岡
平田滿穂 農、三重
廣瀬康三郎 農、岐阜

今村眞郷 農、長野
猪俣尙 中、宮崎
大田虎雄 中、鹿兒島
川又憲治 農、宮崎
黒井雄三 農、岐阜
兒玉直 農、大分
首藤武 農、大分
田島文雄 農、大分
田中賢治 農、山梨
永松豊 中、福岡
羽月喜助 中、鹿兒島
日高史郎 中、宮崎
古園萬吉 中、鹿兒島

林學科 第二學年

堀 轍 平 農、新潟
松田 操 中、鹿兒島
宮村倉藏 農、新潟
森川均一 農、三重
和田巖 中、鹿兒島
荒川 潔 農、宮崎
江島義光 農、熊本
鬼塚一林 中、鹿兒島
甲斐正行 農、宮崎
黒田常三郎 中、兵庫
埜田善七 農、佐賀
竹市貢 中、熊本
長井常強 中、鹿兒島
中村武久 中、東京

本間貞三 中、新潟
宮崎周郁 中、山形
物部清 中、愛知
彌富秀次郎 中、熊本
江草紀一 中、廣島
大坪龜太郎 中、鹿兒島
川添正雪 中、鹿兒島
河島雅剛 中、鳥取
猿渡茂 中、福岡
武田全 中、鹿兒島
帖佐富徳 中、鹿兒島
中村昇 農、新潟
平塚弘 中、大分

藤岡 丸 中、鹿兒島
 宮崎 楠 中、高知
 八木卓志 中、鹿兒島
 八瀬尾武義 中、鹿兒島
 山田 保農、鳥取
 和田常次郎 山、岐阜
 林學科 第一學年
 荒木衛門 中、熊本
 今井文也 中、愛媛
 井手清治 中、東京
 緒方 勇 中、福岡
 金田範思郎 中、大阪
 兼次忠藏 農、沖繩
 桑原周正 中、鹿兒島
 坂本 勇 農、知歌山

1011
 牧山義郎 中、東京
 村田一男 中、佐賀
 山本信一 中、和歌山
 山田正夫 中、靜岡
 吉田錦彌 中、愛知
 稻垣迪郎 中、三重
 今井庄五郎 農、三重
 氏田末雄 中、長崎
 片桐治郎 中、三重
 川又武治 中、新潟
 鴨川正秋 中、愛媛
 近藤利春 農、福井
 齊藤時雄 中、熊本

大江竹下清人 中、熊本
 中島佐七 中、大分
 花房廉士 中、岡山
 前田 碧農、高知
 水野敷磨 中、愛媛
 弓場清次 中、鹿兒島
 養蠶學科 第二學年
 新川善助 中、沖繩
 小野二郎 農、鹿兒島
 國分榮藏 農、宮崎
 田代虎雄 中、熊本
 古川正己 中、佐賀
 渡邊靜雄 中、宮崎
 養蠶學科 第一學年
 荒々田寅男 中、宮崎

鳥居忠雄 中、新潟
 成澤多美也 中、新潟
 長谷部唯丸 中、大分
 政岡金繁 農、愛媛
 宮原秀夫 中、鹿兒島
 渡邊孝太郎 中、福岡
 江藤烈義 中、大分
 木尾包義 中、鹿兒島
 去川 行 中、宮崎
 永田 茂 中、鹿兒島
 增山 節 中、鹿兒島
 伊牟田憲吉 中、鹿兒島

樽山 資敏 中、鹿兒島

野上田 昇 中、鹿兒島

松元 政男 中、鹿兒島

吉富 重義 中、鹿兒島

傍聽生 高能 陸 中華民國

農藝化學科 第一學年

安間 五一郎 農、靜岡

井倉 芳夫 中、岐阜

鮫島 宗熊 農、鹿兒島

仲 磯 三 農、京都

福永 誠之助 農、鹿兒島

宮園 文藤 藏 中、鹿兒島

選科生

農學科

大正八年入學

角皆 義久 中、靜岡

花盛 林 中、宮崎

横山 淳夫 中、鹿兒島

渡邊 浩軌 中、福岡

石神 次則 中、鹿兒島

押川 定彦 農、宮崎

田之上 稔 中、鹿兒島

內藤 巖 中、宮崎

松尾 盛之 農、長崎

藤井 七郎 山口

農學科

大正九年入學

党 庠 周 中華民國奉天省

農學科

大正十年入學

蔡 邦 華 中華民國江蘇省

養蠶學科

大正十年入學

王 鑑 中華民國江蘇省

林學科

大正十年入學

黃 希 周 中華民國江蘇省

農學別科生

小崎 義男 熊本

鬼塚 重造 熊本

類	農學科			林學科		
	第一年生	第二年生	第三年生	第一年生	第二年生	第三年生
最	二十三年七箇月	二十五年八箇月	二十七年六箇月	二十三年八箇月	二十五年九箇月	二十七年六箇月
底	十七年六箇月	十八年六箇月	十九年六箇月	十七年八箇月	十八年九箇月	十九年六箇月
平均	十九年四箇月	二十一年九箇月	二十二年六箇月	十九年八箇月	二十年八箇月	二十二年六箇月

第二 在學學生年齡 (大正十年十月調)

新島讓熊本	野仲勝喜熊本	松元薰精鹿兒島	守田義廣熊本	山內數雄京都	吉村繁鹿兒島
野崎浩熊本	林田要熊本	皆本由清熊本	森善四郎佐賀	吉田恒雄大分	渡邊薰香川

林學別科生

鍛治尾末人 熊本	木原平四郎 鹿兒島	古城喜熊 鹿兒島	高山岩雄 鹿兒島	鎮守五月 鹿兒島	西尾治郎 三重	東直二 鹿兒島	前田進 熊本	山田武宮崎	有瀬直 熊本	小野亨 大分	兒玉光雄 宮崎	徐學挺 中垂民國	仙波恒次郎 愛媛
川池實一 鹿兒島	窪田友志 鹿兒島	島田學 熊本	武石德衛 福岡	長友忠義 宮崎	平田淺右衛門 福岡	細山田良康 鹿兒島	美濃義忠 香川	吉岡卯一郎 福岡	上田貞次郎 熊本	隈本宗賢 鹿兒島	古賀良雄 佐賀	杉山榮藏 千葉	津山隆 熊本

和歌山縣	山口縣	廣島縣	岡山縣	福井縣	山形縣	宮城縣	群馬縣	長野縣	岐阜縣	山梨縣	靜岡縣	愛知縣
1	7	3	1	1	1	1	1	2	3	1	2	4
2	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	2
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	7	4	3	1	1	1	1	3	7	1	5	7

三重縣	新潟縣	長崎縣	兵庫縣	大阪府	京都府	東京都	道廳府縣	農學科	林學科	養蠶學科	農化學科	農學別科	林學別科	計
2	1	3	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7
5	8	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1	8
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	5
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4
7	8	5	2	4	2	4	4	1	1	1	1	1	1	4

備考 本表ノ平均ハ最高最低ノ平均ニアラスシテ全生徒ノ平均年齢ナリ
 第三 在學學生府縣別 (大正十年十月調)

養蠶學科	第一年生	二十二年	十八年八月	十九年十月
農藝化學科	第一年生	二十二年	十八年六月	十九年五月
養蠶學科	第二年生	二十三年七月	十八年六月	十九年五月
農藝化學科	第一年生	二十二年	十七年六月	十九年五月

總計	沖繩縣	鹿兒島縣	宮崎縣	熊本縣	佐賀縣	大分縣	福岡縣	高知縣	愛媛縣	德島縣	島根縣	鳥取縣
108	1	3	0	0	6	2	9	1	2	1	3	1
9	1	1	4	7	2	9	6	2	5	1	1	2
3	1	0	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	1	5	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
19	1	2	1	2	1	1	3	1	1	1	1	1
7	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1
258	3	6	3	3	9	2	3	2	7	1	3	2

第四

入學志願者出身學校種別

(第十三回募集ノ分)

類別	備考 △符ハ第二志望者	入學志願者				入學者				卒業者		
		總計	官公立師範學校卒業者	公立農業學校卒業者	私立中學校卒業者	官公立中學校卒業者	農學科	林學科	養蠶學科	化學科	計	計
第五	學生募集人員入學志願者入學者及卒業者學科別 (大正十年九月調)	113	11	8	2	75	11	8	2	5	3	1
現		113	11	8	2	75	11	8	2	5	3	1
第一學年		△		△	△	△						
第二學年		20	1	1	1	3						
第三學年		3	1	1	1	3						
計		113	11	8	2	75	11	8	2	5	3	1
本學年募集人員		△		△	△	△						
入學志願者		113	11	8	2	75	11	8	2	5	3	1
入學者		113	11	8	2	75	11	8	2	5	3	1
卒業者		113	11	8	2	75	11	8	2	5	3	1

大	兵	長	新	琦	三	群	愛	千	神	茨	福	富
阪	庫	崎	瀧	玉	重	馬	知	葉	奈	城	井	山
府	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	川	縣	縣	縣
一	三	五	二	一	一	一	二	一	三	一	一	一
二	一	一	六	一	三	一	八	一	一	一	三	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	△
一	一	二	一	一	二	一	一	一	一	一	一	一
三	一	二	二	一	二	一	一	一	一	一	一	△
三	四	八	九	一	六	一	〇	一	四	一	三	二
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	三	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	四	一	一	一	一	一	一	一

備考 ◎ハ支那選科生 ○ハ本邦選科生 △ハ第二志望者

第六 入學志願者、入學者府縣別 (第十三回募集ノ分)

類	別	入學志願者				入學者			
		農學科	林學科	養蠶學科	化學科	農學科	林學科	養蠶學科	化學科
京	都	一	二	一	三	六	一	一	一
東	京	一	一	一	一	二	一	一	一
總	計	二	三	二	四	八	二	二	二
農	藝	二	二	一	一	二	一	一	一
養	蠶	二	一	二	一	三	二	二	一
林	學	二	二	二	二	四	三	三	二
農	學	二	二	二	二	四	三	三	二

熊 本 縣	佐 賀 縣	大 分 縣	福 岡 縣	高 知 縣	愛 媛 縣	香 川 縣	德 島 縣	山 口 縣	島 根 縣	廣 島 縣	岐 阜 縣	岡 山 縣
五	二	二	八	一	三	二	一	九	一	六	一	一
八	四	二	八	四	七	一	一	三	一	二	一	一
△	△		△							△		
二	一	一	三	一	一	一	一	一	一	一	三	一
四	一	一	五	一	二	一	一	一	一	一	一	一
△	△		△							△		
二七	一七	四	三三	五	三	四	一	三	二	一九	六	二
三	二	一	四	一	一	一	一	三	一	一	一	一
三	一	二	二	一	四	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
六	二	三	七	一	四	一	一	三	一	一	二	一

秋 田 縣	鳥 取 縣	栃 木 縣	巖 手 縣	宮 城 縣	和 歌 山 縣	山 形 縣	石 川 縣	長 野 縣	奈 良 縣	滋 賀 縣	山 梨 縣	靜 岡 縣
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	二	一	二	一	一	一	一	一
				△								
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三
一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
				△								
一	二	一	一	一	三	一	二	一	一	一	一	五
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三

大阪府立市岡中學校	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
長崎縣立中學猶興館	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
長崎縣立對馬中學校	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
長崎縣立大村中學校	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
長崎縣立佐世保中學校	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
埼玉縣立粕壁中學校	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
神奈川縣立小田原中學校	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
神奈川縣立藤澤中學校	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
愛知縣立第一中學校	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
愛知縣立第三中學校	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
三重縣立宇治山田中學校	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
新潟縣立長岡中學校	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
新潟縣立村上中學校	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

第七 入學志願者出身學校別ノ一、中學校ノ部 (第十二回彙集ノ部)

類別	入學志願者					入學者				
	農學科	林學科	養蠶學科	農化學科	計	農學科	林學科	養蠶學科	農化學科	計
廣島高等師範學校附屬中學校	1	1	1	1	4	1	1	1	1	4
東京府私立正則中學校	1	1	1	1	4	1	1	1	1	4
東京府私立成城中學校	1	1	1	1	4	1	1	1	1	4
東京府私立早稲田中學校	1	1	1	1	4	1	1	1	1	4
東京府私立高輪中學校	1	1	1	1	4	1	1	1	1	4
大阪府立岸和田中學校	1	1	1	1	4	1	1	1	1	4
總計	5	5	5	5	20	5	5	5	5	20

備考 △、第二志望者

宮崎縣	鹿兒島縣	沖繩縣	總計
3	3	2	8
5	4	4	13
3	4	4	11
5	6	1	12
5	2	1	8
3	7	7	17
5	4	1	10
1	2	1	4
2	5	1	8
9	7	2	18

奈良縣立五條中學校	岐阜縣立岐阜中學校	岐阜縣立大垣中學校	岡山縣興讓館中學校	岡山縣關西中學校	岡山縣私立金光中學校	岡山縣私立中學閑谷堂	廣島縣立福山中學校	廣島縣私立修道中學校	廣島縣私立廣陵中學校	廣島縣私立日影館中學校	和歌山縣立田邊中學校	德島縣立德島中學校
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	△	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	△	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

新潟縣立村松中學校	新潟縣立柏崎中學校	宮城縣私立東北中學校	富山縣立富山中學校	富山縣立高岡中學校	山形縣立鶴岡中學校	島根縣立松江中學校	石川縣立七尾中學校	石川縣立金澤第二中學校	山梨縣立都留中學校	兵庫縣立豐岡中學校	兵庫縣立小野中學校	兵庫縣私立三田中學校
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	三	一	一	一	一	一	一	一
一	一	△	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	△	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	四	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

福岡縣立豐國中學校	福岡縣中學西南學院	大分縣立竹田中學校	大分縣立杵築中學校	大分縣立臼杵中學校	大分縣立宇佐中學校	大分縣立大分中學校	佐賀縣立小城中學校	佐賀縣立佐賀中學校	佐賀縣立鹿島中學校	佐賀縣私立龍谷中學校	熊本縣立八代中學校	熊本縣立玉名中學校
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三	一	一	三	一	一	一	二	二	一	一	一	一
三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
△	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
△	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
△	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

山口縣立山口中學校	山口縣立周陽中學校	山口縣私立鴻城中學校	山口縣立德山中學校	愛媛縣立松山中學校	愛媛縣立宇和島中學校	香川縣立高松中學校	福岡縣立八女中學校	福岡縣立中學修猷館	福岡縣立中學豐津中學校	福岡縣立中學明善校	福岡縣立朝倉中學校	福岡縣立中學傳習館
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

類別	入學志願者					入學者				
	農學	林學	林學科	養蠶學科	農化學科	農學	林學	林學科	養蠶學科	農化學科
鹿兒島縣立大島中學校	1					1				
沖繩縣立第二中學校	1					1				
朝鮮釜山中學校	2					1				
瀨州旅順中學校	1					1				
臺灣臺北中學校	1					1				
沖繩縣立師範學校	1					1				
計	6	6	△	△	△	10	9	9	6	5

第八

入學志願者出身學校別ノ二、農業學校ノ部

(第十三回募集ノ分)

熊本縣立熊本中學校	1					1				
熊本縣立天草中學校	1					1				
熊本縣立中學濟々齋	2					1				
熊本縣私立九州學院	1					1				
熊本縣私立鎮西中學校	3					1				
宮崎縣立宮崎中學校	1					1				
宮崎縣立都城中學校	3					1				
鹿兒島縣立第一鹿兒島中學校	1					1				
鹿兒島縣立第二鹿兒島中學校	4					3				
鹿兒島縣立川內中學校	2					1				
鹿兒島縣立加治木中學校	5					3				
鹿兒島縣立志布志中學校	4					4				
計	44	44	△	△	△	41	41	41	31	31

高知縣立農林學校	香川縣立農林學校	愛媛縣立宇和農業學校	愛媛縣立周桑郡立周桑農工學校	愛媛縣立西條農學校	岡山縣立農學校	山口縣立農業學校	和歌山縣立農林學校	鳥取縣立農學校	德島縣立農業學校	三重縣立農林學校	廣島縣立西條農學校	岐阜縣立農林學校
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	一	三	一	三	一	四	二	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二
一	一	一	一	一	一	一	一	二	一	二	一	一
三	一	四	一	四	一	五	二	二	一	二	三	三
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一

福井縣立農林學校	長野縣立小縣蠶業學校	長野縣立上伊那農業學校	靜岡縣立中泉農學校	靜岡縣立藤枝農學校	秋田縣立農林學校	栃木縣立農學校	愛知縣幡豆郡立農工學校	愛知縣立農林學校	新潟縣立加茂農林學校	長崎縣立農學校	群馬縣立中之條農業學校	兵庫縣立農學校
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一
三	一	一	一	一	一	一	一	九	二	一	一	一
一	一	一	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一
三	一	一	二	三	一	一	一	九	三	四	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

福岡縣立田川農林學校	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
福岡縣立福岡農學校	三	一	△	一	一	△	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
大分縣立農學校	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
大分縣立農林學校	一	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
佐賀縣立佐賀農學校	五	二	△	一	△	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
熊本縣立熊本農業學校	一	一	△	一	△	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
熊本縣立球磨農業學校	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
熊本縣立阿蘇農業學校	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
宮崎縣立高鍋農學校	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
宮崎縣立宮崎農學校	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
鹿兒島縣立鹿屋農學校	四	一	△	一	△	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
鹿兒島縣立大島農學校	一	四	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
沖繩縣立農學校	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

計	四	五	△	五	七	五	七	二	九	二	三	五	八	八	一	六	三	三	三
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

○卒業生 (イロハ順)

▲研究科修了者 大正五年四月一日修了 大正六年三月十六日修了

農藝化學 農學得業士 足立彌八 堀ノ口市藏 福谷君貞

農業經濟及農政學 農學得業士 梅谷村吉 福井 富山安義 鹿兒島

農藝化學 農學得業士 宮崎縣立農學校 演田 静英城 (長谷部) 福井縣立農學校 梅谷村吉 福井 支店 朝鮮水浦朝鮮殖産銀行 富山安義 鹿兒島

△農學科第一回 二十六人 明治四十五年七月十一日卒業

今泉陸 一崎玉 原口良策 長崎 新田元隆 鹿兒島

一五五

朝鮮忠清北道 清州公立農業學校	川西信藏 奈良	農商務省農務局農產課	片山秀太郎 鳥取
奈良縣生駒郡農業學校 法隆寺分校	米田義一 奈良	愛媛縣喜多郡役所	高市忠良 愛媛
靜岡縣立藤枝農學校	田村丈二 鳥取	三重縣立農事試驗場	田口武之助 埼玉
新潟縣農事試驗場	長友繁雄 宮崎	臺灣臺中廳	村上昌敬 熊本
シンガポール ハッピココンパニー	浦野松治 富山	愛知縣瀨尾郡役所	植田二六 愛知
自營	矢野規 福岡	鹿兒島高等農林學校 住友別子鑛業所設計部	矢崎正保 山梨
北海道札幌郡畜産試驗場 北海道支場	松田喜六 愛媛	死	松隈六郎 福岡
東京丸ノ内 東亞煙草株式會社	佐々木靖 愛媛	死	酒匂景紀 宮崎
東京市外日暮 農商務省林業試驗場	北島君三 宮崎	シンガポール 大倉組護謨園	北住福太郎 東京
自營	奇二健治 大阪	死亡	尙長四郎 鹿兒島

△農學科第二回 二十六人

大正二年七月十一日卒業	大里一太郎 埼玉	東京丸ノ内 東亞煙草株式會社	沖信夫 鹿兒島
自營	國信玉三 廣島	臺灣臺中源成農場	川上寅二 鹿兒島
姫路市立商業學校	田口正敬 兵庫	支那厦門鈴木洋行	川崎二三 鹿兒島

臺灣臺北中央研究所	神谷俊一 靜岡	シンガポール 南洋南亞公司	多田茂 靜岡
朝鮮東洋拓殖會社 元山出張所	田中菊藏 鳥取	鹿兒島高等農林學校	辻本孫三郎 三重
臺灣新竹 帝國製糖株式會社	中森仁吉 三重	フサ礦産株式會社	村田久次 宮崎
自營	梅村定二郎 愛知	鹿兒島縣廳	野崎巖 鹿兒島
宮崎縣北諸郡立農學校	野崎正雄 鹿兒島	死亡	倉内末賢 鹿兒島
農商務省農務局	藤田通敏 山口	富山縣立農事試驗場	江原憲助 埼玉
在米國	遠藤幸四郎 宮城	沖繩縣立農學校	齊藤武一郎 徳島
自營	坂本友二 長崎	自營	座間味(宗徳) 沖繩
フサ島礦産株式會社	北爪茂雄 群馬	自營	三浦多喜三郎 長崎
自營	楠出昇 愛媛	自營	玉置善三郎 三重

△農學科第三回 二十九人

大正三年七月十一日卒業	入倉正俊 香川	宮崎縣立高鍋農學校	稻田土松 宮崎
岐阜縣揖斐郡立農學校	原田清二 鹿兒島	沖繩縣廳	新里利恒 沖繩
大分縣立農學校	有馬市藏 鹿兒島	福岡縣立福岡農學校	大野昌次郎 福岡

鹿兒島郡役所

自 營

島根縣立益田農林學校

死 亡

大阪府四區
アノカヲ株式會社

鹿兒島縣薩摩郡豐樂學校

在米國

山梨縣農事試驗場

兵庫縣加西郡
農商務省種羊場

死 亡

農商務省農產課

自 營

小畑菊千代 鹿兒島

片倉久吉 宮城

田中彌達 長崎

內藤 喬 島根

上田勸造 福岡

宇都宮秀雄 愛媛

宇治野實記 大分

藤井長徳 鹿兒島

藤本義三 栃木

近藤次郎 高知

足立彌八 埼玉

樋口元雄 福岡

在米國

泰野專賣局試驗場

死 亡

東京日本海區小網町
日清製粉株式會社

自 營

愛知縣廳

沖繩縣農事試驗場

死 亡

滿洲鐵道關東都督府
臨時土地調查部

在米國

死 亡

一五八

緒方萬次郎 福岡

田中久次郎 神奈川

田口高照 鹿兒島

中山茂生 福岡

植月虎男 岡山

久保要助 長崎

松永高元 鹿兒島

藤田秀臣 鹿兒島

幸福三樹夫 鹿兒島

赤瀬川徳森 鹿兒島

結城文雄 三重

濱田民平 鹿兒島

△農學科第四回 二十六人

大正四年七月十一日卒業

一富虎之助 福岡

臺灣嘉義廳東洋製糖株式會社北港製糖所農場

高知縣立農事試驗場

臺灣新竹街湧雅農會

大坂府前大日本

山口縣立農事學校

死 亡

神奈川縣農事試驗場

自 營

臺灣總督府殖產局糖務課

東京西ヶ原農事試驗場

臺灣桃園廳中瀝街

鈴木商店農場

自 營

臺灣臺北中央研究所

大正五年四月一日卒業

大分縣立農學校

遠山次男 熊本

小野卯一 鹿兒島

鎌田清重 愛媛

竹島清哉 高知

長澤勝次郎 群馬

杉本重雄 福岡

山本忠一 福岡

藤田吉左衛門 石川

兒玉靜記 鹿兒島

小松重哉 山形

加藤信一 徳島

樋口三雄 東京

△農學科第五回 三十三人

大正五年四月一日卒業

池田憲 鹿兒島

鹿兒島縣立第二鹿兒島中學校

栃木縣立農事試驗場

臺灣總督府殖產局臺中

帝國製糖株式會社

長崎縣立對馬中學校

靜岡縣農事試驗場

臺灣中央研究所

鹿兒島化學研究所

南洋トラツク島軍政廳

鹿兒島縣立大島中學校

兵庫縣廳

在米國

大須賀胤一 兵庫

鷺海文彦 大分

田中正顯 廣島

中央常四郎 鹿兒島

歌野吉甫 長崎

鉢塚喜久治 長崎

藤瀬四郎 長崎

福谷君貞 鳥取

河野丑之助 鹿兒島

榎屋兼武 鹿兒島

下宿口重雄 鹿兒島

森平吉 大分

家村守一 鹿兒島

一五九

自營
 臺灣省農務局附屬
 茶樹栽培試驗所
 島根縣能義郡立農業學校
 岡山縣立農事試驗場
 沖繩縣立農學校
 大阪府立農事試驗場
 東京帝國大學理學部附屬
 植物園內藥用植物試驗室
 臺灣臺中
 帝國製糖株式會社
 自營
 熊本縣立農事試驗場
 岡山縣倉敷大原獎農會
 鹿兒島縣立農事試驗場
 宮崎縣南那珂郡農會
 死亡
 朝鮮京畿道廳
 西盛造 鹿兒島
 大村 繁 鹿兒島
 渡部 親次 島根
 吉田 末彦 熊本
 吉國 操 鹿兒島
 園田 晉次郎 福岡
 中村 誠 宮崎
 能勢 力 鹿兒島
 久野 園吉 愛知
 藤本 虎吉 熊本
 幸田 久島 根
 相良 長順 鹿兒島
 宮崎 守人 熊本
 下園 敬藏 鹿兒島
 瀬戸口 幸吉 鹿兒島
 鹿兒島縣伊佐郡立農林
 學校
 南滿洲鐵道會社
 在米國
 福岡市外
 大日本麥酒株式會社
 靜岡縣立農事試驗場
 臺灣宜蘭廳農會
 臺灣臺中帝國製糖會社
 自營
 臺灣嘉義南靖庄東洋
 製糖株式會社
 在米國
 宮崎縣立宮崎農學校
 長野縣小縣製糖學校
 熊本縣廳
 自營
 愛媛縣宇摩郡役所
 中馬 成介 鹿兒島
 大迫 元光 鹿兒島
 吉川 正雄 宮崎
 吉永 壽夫 福岡
 田原 壽一 兵庫
 波越 廉平 高知
 中野 健夫 鹿兒島
 倉田 義晴 熊本
 松元 惣太郎 鹿兒島
 國生 義夫 鹿兒島
 秋月 種苞 宮崎
 笹田 祐次郎 熊本
 城 正人 熊本
 森 榮一 愛媛
 杉本 一枝 山口

朝鮮京城東洋拓殖株式會社

鈴木嘉平 香川

△農學科第六回 二十四人

大正六年三月十六日卒業

神奈川縣立農業學校
 本天南滿洲製糖株式會社農務本部
 鹿兒島高等農林學校
 福岡縣廳
 德島縣名西郡
 大正紀念農學校
 自營
 長崎縣立諫早農學校
 南洋
 朝鮮全羅北道金州種苗所
 朝鮮慶尙北道迎日郡
 浦項ミツロ農場
 南洋ホル子才野村農園
 臺灣大目降殖產局
 附屬糖業試驗場
 岩田 收二 神奈川
 石原 正規 鹿兒島
 西田 孝太郎 福岡
 織田 富士夫 福岡
 (田幡)
 山口 荒一 德島
 田島 義太郎 三重
 中谷 欣三 大阪
 中村 不二雄 福岡
 有馬 高雄 鹿兒島
 湯原 重之助 島根
 平山 常吉 長崎
 鈴木 重良 宮崎
 福井縣武生町北陸電化株式會社
 東京府青梅農學校
 宮崎縣立宮崎農學校
 死亡
 鹿兒島高等農林學校
 山口縣立農業學校
 沖繩縣立農學校
 岡山縣農會
 臺灣總督府殖產局
 長崎市役所
 兵庫縣城崎郡役所
 臺灣嘉義新營庄鹽水港製糖株式會社
 (猪口)
 大津 鹿藏 福岡
 長谷川 精作 廣島
 太田 千代二 宮崎
 小田 原森秀 鹿兒島
 田尻 矩次郎 福岡
 堤 澤身 佐賀
 中野 儀正 鹿兒島
 小松 義正 岡山
 安藤 泰夫 東京
 水谷 駿一 東京
 森垣 武夫 兵庫
 慶 邦美 鹿兒島

△農學科第七回 三十一人

大正七年三月十六日卒業

臺灣花邊洋鹽水灌製糖工場	石 黒	清 鹿兒島	臺灣嘉義農林學校	馬場 土田 熊本
自 營	花田 延平 福岡	東京淺草專賣支局	林 壽 雄鳥取	
鹿兒島縣鹿屋農學校	橋口 兼英 鹿兒島	米 國	吉開 森吉 福岡	
香川縣綾歌郡役所	(谷本) 葉原慶三郎 香川	鹿兒島化學研究所	高橋 一磨 愛媛	
臺灣總督府中央研究所	平 友 恒 鹿兒島	熊本縣天草高等女學校	岡崎 靜雄 廣島	
福岡縣農會	米倉 茂俊 福岡	愛知縣立農藝學校	吉川 保治 東京	
米國キエバ島	田中 秀男 鹿兒島	朝鮮江原道種苗場	(塚田) 中野巴 眞次 長野	
熊本縣廳	(永井) 竹之下 實治 鹿兒島	自 營	野口 與市 福岡	
南洋ホルチ才護謨園	窪田 一夫 岡山	自 營	古和 文男 鳥根	
朝鮮江原道春川公立農業學校	小矢野 忠雄 鳥取	鹿兒島縣立鹿屋農學校	有馬 三郎 鹿兒島	
自 營	北原 豊熊 鹿兒島	自 營	清島 繁人 熊本	
愛媛縣立松山農業學校	(芝) 木村 好吉 山形	橫濱植物検査所	木村 季雄 三重	
	三好 吉重 愛媛		下宿口 秀雄 鹿兒島	

△農學科第八回 三十二人

大正八年三月十五日卒業

臺灣製糖株式會社	帝國製糖株式會社	鹿兒島化學研究所	自 營	日野 嘉助 愛媛	朝鮮江原道春川種苗場	盛岡 雅夫 廣島
鹿兒島高等農林學校	鹿兒島高等農林學校	臺灣臺中大南庄苗圃育成所	自 營	森田 隆一 福岡	東京四ヶ原農事試驗場	瀨口 敏麿 宮崎
自 營	朝鮮慶尙南道噴産銀行支店	鹿兒島縣立鹿屋農學校	鹿兒島縣立鹿屋農學校	大正七年五月六日卒業	島根縣津和野町高等女學校	池田 覺雄 山口
臺灣臺南廳後里庄高地蔗苗育成所	鹿兒島高等農林學校	鹿兒島縣立鹿屋農學校	鹿兒島縣立鹿屋農學校		農商務省開墾課	(飯田) 本 田 剛 熊本
鹿兒島高等農林學校	鹿兒島縣立鹿屋農學校	鹿兒島縣立鹿屋農學校	鹿兒島縣立鹿屋農學校		開東廳全州安永農園	吉 鹿 榮 福岡
	鹿兒島縣立鹿屋農學校	鹿兒島縣立鹿屋農學校	鹿兒島縣立鹿屋農學校		三重縣廳	竹内 虎太 山口
	鹿兒島縣立鹿屋農學校	鹿兒島縣立鹿屋農學校	鹿兒島縣立鹿屋農學校		米 國	內藤 克俊 廣島
	鹿兒島縣立鹿屋農學校	鹿兒島縣立鹿屋農學校	鹿兒島縣立鹿屋農學校		自 營	(那田) 田 口 實 滋 賀
	鹿兒島縣立鹿屋農學校	鹿兒島縣立鹿屋農學校	鹿兒島縣立鹿屋農學校		朝鮮京城東洋拓殖株式會社京城支店	佐 竹 進 熊本
	鹿兒島縣立鹿屋農學校	鹿兒島縣立鹿屋農學校	鹿兒島縣立鹿屋農學校		臺灣臺中後里庄蔗苗養成所	北御門 德雄 長崎

自營

第二部

柴戶德三郎 福岡

臺灣臺南製糖株式會社 豐後豐林農場

三澤正武 廣島

臺灣 日本人造肥料株式會社

板井盛衛 大分

大阪府前大日本染料製造株式會社

林茂樹 鹿兒島

大阪附屬

落合彦二 鹿兒島

臺灣總督府中央研究所

川口清志 鹿兒島

鹿兒島縣大島糖業試驗場

仲田義憲 鹿兒島

東京四ノ原農業試驗場

小林明夫 城

臺灣總督府中央研究所

古賀藤次郎 佐賀

鹿兒島縣立工業學校

駒方正治 鹿兒島

鹿兒島縣立農事試驗場

飯島祐次郎 栃木

福岡縣上郡立高等女學校

原田文吾 福岡

米國研學

田中教義 和歌山

鹿兒島縣廳

屋代弘孝 栃木

島根縣立農林學校

平松芳市 愛媛

自營

森川良雄 群馬

△農學科第九回 三十五人

大正九年三月十四日卒業

第一部

靜岡縣 農商務省茶業試驗場

今井孝 熊本

靜岡縣興津園藝試驗場

石井三十郎 佐賀

滿洲奉天製糖會社

石神堅 鹿兒島

福岡縣嘉穂郡立農學校

林種義 福岡

臺灣臺南製糖株式會社

東郷不二男 鹿兒島

宮城縣立農事試驗場

富江榮廣 鹿兒島

小島謹 千葉

東京大林區署

岡武夫 福岡

岡村孝一 新潟

滿洲奉天製糖會社

渡邊春三 福岡

臺灣臺南農會山吹脚在育種場

鎌田豐水 鹿兒島

小倉市立商業學校

柏木克邪 鹿兒島

横山壯介 鹿兒島

石川縣立農學校

吉田義衛 宮崎

高田新作 岡山

久留米輕重兵第十八大隊第一中隊

園田實美 鹿兒島

札幌北海道拓殖銀行

中谷秀俊 鹿兒島

佐賀步兵第五十三聯隊第十中隊

中野義隆 石川

熊本野戰砲兵第六聯隊第二中隊

上原盛造 鹿兒島

自營

植木保長 崎

熊本步兵第十三聯隊第六中隊

馬原忠毅 熊本

東京帝國大學農學部 耕地整理講習生

松林達雄 佐賀

宮崎縣南那珂郡立 鹿兒島農學校

郷英之助 岐阜

鹿兒島縣立鹿屋農學校

有馬純武 鹿兒島

山口縣立農業學校

佐村滿 山口

臺灣高雄町肥料株式會社

島田久吉 宮崎

第二部

死亡

川邊幹一 福岡

東京市外大島町 ヲサ島燐礦株式會社

吉永教一 佐賀

日東△株式會社

田中房一 佐賀

鹿兒島縣立鹿屋農學校

簡井諒庸 三重

京都府下龜岡町實業學校

桑原忠八 福島

臺灣高橋町肥料株式會社

福島丈夫 兵庫

愛知縣新城町農藝學校

溝口 強佐賀

東京四ヶ原農事試驗場

清水降 一福岡

第三部

大正九年七月一日卒業

梅木 瑞枝 鹿兒島

△農學科第十回 四十人

大正十年三月十四日卒業

第一部

靜岡縣興津園藝試驗場

猪俣 實宮崎

農商務省食糧局

石原元 章熊本

朝鮮群山公立農學校

原尻 馨之福岡

德島縣板野郡立農藝學校

花田好 定山口

千葉縣農商務省畜產試驗場

本多 要長崎

朝鮮總督府殖産局農務課

富永三 郎長崎

九州帝國大學農學部

瀧口 義資福岡

宮崎種馬所

上田信 行鹿兒島

臺灣高雄製糖株式會社

立山久米生宮崎

高崎專賣支局

田中英 太郎鹿兒島

朝鮮水原勸業模範場

竹野 內祐隆鹿兒島

臺灣高雄町製糖株式會社

中村清 次佐賀

鹿兒島高等農林學校

武藏 政綱熊本

黑岩 秀雄鹿兒島

靜岡縣興津園藝試驗場

大和武 七福岡

增崎 治福岡

岡山縣倉敷町大原獎農會

藤本 信義熊本

江崎喜 與治福岡

足利 義名廣島

臺灣高雄州鹽水港製糖株式會社

佐藤忠 之助山形

第二部

鹿兒島高等農林學校

泉 清宮崎

臺灣總督府

平林 文雄宮崎

大分縣宇佐郡立農學校

村田 吉熊鹿兒島

兵庫縣廳

勝田常 芳鹿兒島

熊本市大江高等女學校

眞鍋 半兵衛愛媛

愛知縣新坂町立高等女學校

矢船良 雄和歌山

鹿兒島縣伊佐郡立農林學校

佐藤 一男長野

臺灣高雄州鹽水港製糖株式會社

朝岡清 吉愛知

第三部

九州帝國大學農學部

堀 浩福岡

九州帝國大學農學部學生

安田貞 雄京都

佐賀縣立農事試驗場

兒 玉覺鹿兒島

岡山縣立農事試驗場

佐々木 綱紀鹿兒島

松江歩兵第六十三聯隊第五中隊

衣笠 修六兵庫

兵庫縣佐川郡立農學校

平峯元 治鹿兒島

大正十年四月十二日卒業

本多智五郎 長崎

△材學科第一回 二十一人

明治四十五年七月十一日卒業

長崎縣長崎小林區署

井上 止 熊本

岡山縣勝田農林學校

濱田三四郎 鳥取

農務省山林局

橋口 職 鹿兒島

東京麹町區高田商會

德田忠一 鹿兒島

東京市廳

大村 清 一 岡山

富山縣越中國東岩瀨町民團事業

小野隆義 鹿兒島

台灣總督府

川崎末五郎 京都

宮崎縣小林區署

高木祐吉 鹿兒島

鹿兒島縣屋久島小林區署

玉利 長助 鹿兒島

東京麹町區古川合名會社

塚田庫三 群馬

鳥取縣廳

波多野源治 山口

朝鮮總督府山林課

西口龜作 熊本

自營

桑山 正治 宮崎

朝鮮平安北道厚昌郡木島製紙會社

工藤 亮 兵庫

滋賀縣廳

松尾 榮 佐賀

宮崎縣鏡小區署

赤松眞志雄 鹿兒島

大阪大林區署

荒木 潤平 愛媛

台灣新竹廳

齊藤 忠雄 熊本

死亡

坂本 廣治 兵庫

台灣嘉義廳

志垣 則繼 熊本

大分縣白杵小林區署

白石英夫 福岡

△林學科第二回 二十六人

大正二年七月十一日卒業

香川縣立農林學校

今雪 眞一 香川

大分縣森小林區署

丹羽 岩 槌 廣島

高知縣立農林學校

岡積 眞人 鹿兒島

自營

奧野 正平 宮崎

山梨縣廳

大西 福作 大分

福岡縣立田川農林學校

長井 利晴 鹿兒島

宮崎縣福島小林區署

野間口 兼義 鹿兒島

台灣製糖株式會社

松尾 武吉 山口

大分縣立日田農林學校

相澤 武雄 新潟

滿洲吉林省城內宮寧造紙有限公司

高良 一齋 鹿兒島

沖繩縣立農學校

有村 季廣 鹿兒島

死亡

木下 伴一郎 三重

鹿兒島大林區署

重廣 二 鹿兒島

重廣 二 鹿兒島

北海道小樽區北濱町三井物產小樽支店

森田登美男 埼玉

△林學科第三回 二十九人

大正三年七月十一日卒業

三葉糖業株式會社 宮崎縣妻出張所	伊牟田經雄 鹿兒島	熊本縣八代小林區署	池田繁 鹿兒島
死亡	原田一郎 熊本	朝鮮慶尚南道廳	原田初造 山口
死亡	裕洋一 和歌山	朝鮮總督府新義州營林廠	岡田信三郎 廣島
農商務省山林局 林業試驗場熊本支場	奧利夫 鹿兒島	朝鮮總督府山林課	大園勉 鹿兒島
兵庫縣廳	大草公一 山口	鹿兒島公有林官行造林署	川原清文 鹿兒島
朝鮮平安北道中江鐵局氣付 鴨綠江採木公司鴨兒山分局	川原榮太郎 鹿兒島	滿洲長吉林新開門 大倉組經營	勝田秀雄 熊本
熊本縣人吉小林區署	竹内則介 鹿兒島	熊本大林區署	瀨見芳輔 岡山
帝室林野管理局 木曾支局天龍出張所	山田修平 新潟	宮崎縣綾村川崎 北浦山林事務所	山田八代 岐阜
大阪大林區署	山口光弘 岐阜	臺灣總督府殖產局	山下新二 鹿兒島
靜岡縣志太郡 東海紙科株式會社	山岸亮 福井	大阪大林區署	舟木直四郎 京都
農商務省山林局 林業試驗場	丸野友多郎 鹿兒島	高知大林區署	寺園經吉 鹿兒島
	木暮平三郎 群馬	長野縣下伊那郡王子製 紙株式會社下栗伐木所	菊池正男 茨城
	安藤得美 大分		

大正四年七月十一日卒業

△林學科第四回 二十四人

長野縣大町小林區署	岸勇馬 岡山	宮崎縣高鍋小林區署	平山敬三 鹿兒島
鹿兒島縣大島々廳	森禎彦 鹿兒島	岐阜縣船津小林區署	家永時彦 長崎
		朝鮮新義州營林廠	長谷川禮造 岐阜
		鹿兒島縣鹿屋小林區署	帖佐豊治 鹿兒島
		白營	奥田憲之 熊本
		朝鮮全羅南道廳	曾原鍛二 宮崎
		德島市德島公有林野 官行造林署	植田重季 高知
		南洋マリアナ群島 サイパン南洋殖産會社	野口主衛門 鹿兒島
		廣島縣廳	安田清次郎 熊本
		熊本縣熊本小林區署	榎園清藏 鹿兒島
		白營	荒木銃郎 熊本
		南朝鮮鐵道株式會社	三浦善一 宮崎
鹿兒島縣廳	岩下純夫 宮崎		
福井縣廳	馬場憲 鹿兒島		
朝鮮馬山 南朝鮮鐵道株式會社	新名岩一 宮崎		
宮崎縣高鍋小林區署	落合和平 鹿兒島		
秋田大林區署	高橋福次郎 新潟		
鹿兒島縣山野小林區署	長島朝吉 埼玉		
白營	上野重吉 熊本		
シノカボール 大倉組護謨園	山本綠 熊本		
鹿兒島縣廳	福丸正雄 宮崎		
秋田縣廳	鯨坂繁雄 鹿兒島		
	佐々木靜次郎 鹿手		

茨城縣多賀郡日立鎮山
青木林業出張所

重松良英 福岡

宮崎縣延岡小林區署

東清之助 宮崎

△林學科第五回 二十四人

大正五年四月一日卒業

熊本縣廳

市橋清彦 鹿兒島

大分縣竹田町鶴崎製材所

市川裕山 日

死亡

磯村憲一 福岡

熊本縣益城郡役所

高橋久志 熊本

長崎縣長崎小林區署

德永幸次郎 宮崎

北海道釧路町

德光宣之 大分

熊本縣廳

奧田一夫 熊本

矢富十製鐵會社

金丸義雄 鹿兒島

自營

田中茂治 新潟

朝鮮全羅北道光州

吉永七右衛門 滋賀

熊本縣廳

岡田正太郎 熊本

帝室林野管理局

竹下巖 鹿兒島

長崎縣廳

田崎藤七郎 長崎

伊豆國湯ヶ島出張所

中島義夫 佐賀

鹿兒島縣立鹿屋農學校

野田昌德 鹿兒島

宮崎縣綾村小林區署

野口盛夫 福岡

香川縣廳

國領正美 福岡

鹿兒島高等農林學校

山下經晴 高知

鹿兒島縣內ノ浦小林區署

松下武彦 鹿兒島

北海道室蘭營林區分署

松下善吉 島根

靜岡縣田方郡帝國林野

松本文三 兵庫

鹿本縣人吉小林區署

古莊孜 熊本

管理局天城出張所

兒玉芳美 宮崎

一勝地製材所

日高松樹 鹿兒島

△林學科第六回 二十三人

大正六年三月十六日卒業

大隈大林區署大阪公有
林野公行造林署

德瀨謙義 鹿兒島

宮崎縣廳

年見秀親 宮崎

大分縣日田小林區署

岡積猛 鹿兒島

東洋木材防蝕株式會社

四本堯治 鹿兒島

大阪府廳

四本元壽 鹿兒島

臺灣臺北州七星郡松山
木材防蝕工場

吉田浩夫 長崎

島根縣日原小林區署

津曲靜夫 鹿兒島

宮崎縣廳

福寢重遠 宮崎

京都帝國大學在學中

永井照雄 廣島

高知大林區署

永松守雄 大分

福岡縣立田川農學校

上野實意 鹿兒島

大隈大林區署江公有
林野官行造林署

野溝六朗 大分

鹿兒島大林區署

草場直次 福岡

宮崎縣加久藤小林區署

山崎泰義 鹿兒島

京都帝國大學在學中

八木千代三 鹿兒島

鹿島縣平小林區署

南時次 熊本

朝鮮黃海道廳

松川榮 熊本

廣島縣三次小林區署

小向井榮吉 鹿兒島

朝鮮總督府山林課

江頭虎雄 佐賀

滿洲奉天三井木廠

寺師貞美 鹿兒島

大阪大林區署

最勝寺速治 鹿兒島

滿洲奉天三井木廠

佐藤賢策 福岡

水口通文 愛媛

△林學科第七回 二十三人

大正七年三月十六日卒業

愛媛縣廳	岩城真彦 鹿兒島	福岡縣福岡小林區署	岩下峻 鹿兒島
朝鮮忠清南道安眠島山林課出張所	岩元國雄 鹿兒島	朝鮮總督府山林課	早瀬利康 福岡
愛知縣廳	加藤俊治 愛知	宮内省帝室林野管理局	谷村暉男 鹿兒島
鹿兒島縣廳	田中平次 鹿兒島	鹿兒島大林區署	村尾重徳 鹿兒島
熊本縣菊池小林區署	伊 ^上 丹 ^田 勝二 大分	京都帝國大學在學中	野木勇 京都
南洋南興マア會社	能美猛 山口	農商務省山林局	山上正義 鹿兒島
大分縣竹田小林區署	山下兼政 鹿兒島	鹿兒島縣廳	山本貞藏 鹿兒島
和歌山市北村林業部	石川 ^{吉川} 豪 奈良	岡山縣新見小林區署	古田好生 岐阜
和歌山製材所	河野光雄 宮崎	青森大林區署	兒玉均一 鹿兒島
南洋水産株式会社島野村農園	西郷廣恭 鹿兒島	南米	北里達道 熊本
東洋木材防腐株式會社	宮原秀二 鹿兒島	朝鮮江原道廳	瀬戸山綱政 宮崎
大阪工場	關嘉三二 鹿兒島		
鹿兒島縣熊毛郡深川林業事務所			
朝鮮江原道山林課			
江陵出張所			

大正八年三月十五日卒業

宮崎縣宮崎小林區署	伊集院兼好 鹿兒島	山形縣舟形小林區署	五十川哲 福井
朝鮮總督府山林課江原道江陵出張所	井上朴 鹿兒島	臺灣總督府營林局	壹岐高見 鹿兒島
高知縣長澤小林區署	鳥井義忠 熊本	熊本市輜重兵第六大隊第二中隊	大古殿利盛 鹿兒島
秋田大林區署	大西偉太郎 福岡	奈良縣立農林學校	脇田巖 京都
北海道小樽區三井物產文庫	甲斐田巽 福岡	靜岡縣安部郡東海紙料株式會社井川山林事務所	川崎正藏 鹿兒島
安東縣滿鮮坑木株式會社	竹之内胖 鹿兒島	京都帝國大學在學中	中島清二 鹿兒島
鹿兒島縣廳	中村金三 鹿兒島	死	登龍之助 鹿兒島
長野縣上伊那農業學校	家高甚一 長野	宮崎縣都城小林區署	丸山政彰 鹿兒島
北海道廳	益滿政一郎 鹿兒島	朝鮮忠清南道廳	古江靜哉 鹿兒島
長崎縣立農學校	寺尾正恭 愛媛	福島縣福島小林區署	佐多一至 鹿兒島
京都帝國大學在學中	三輪爲一 山口	死	水原文太郎 香川
鹿兒島縣山野小林區署	城武重宮崎	福岡縣廳	進定平 福岡
熊本縣濱町小林區署	森奏 福岡		

大正九年三月十四日卒業

△林學科第九回 二十五人

死 亡

大正十年三月十四日卒業

馬場兼俊 鹿兒島

青森大林區署

丹羽治郎 鹿兒島

大分縣白杵小林區署

田淵傳藏 鹿兒島

宮崎縣綾村小林區署

中村吉藏 鹿兒島

臺灣製糖株式會社

成富篤佐賀

東京大林區署

鷗野滿男 大阪

熊本縣重兵第六大隊

野田吉雄 熊本

第一中隊

福元繁之助 鹿兒島

朝鮮咸鏡南道三水郡

澤田利農夫 富山

新加坡坡嶺營林支廠

下正原金由 宮崎

靜岡三島野戰砲兵第二

千住八万人 佐賀

聯隊第二中隊

鈴木重年 鹿兒島

一年志願兵

鈴木重年 鹿兒島

長崎縣廳

鈴木重年 鹿兒島

部城步兵第六十四聯隊

鈴木重年 鹿兒島

第二中隊

鈴木重年 鹿兒島

△林學科第十回

三十八人

一七六

伊地知純義 鹿兒島

服部謙吉 宮崎

大岩一枝 東京

中村武英 東京

中野喜作 愛知

村山一申 鹿兒島

植村良次 滋賀

松元淳三 鹿兒島

寺田忠夫 鹿兒島

木原那雄 鹿兒島

久恒真大分

鈴木重年 鹿兒島

鈴木重年 鹿兒島

鈴木重年 鹿兒島

鈴木重年 鹿兒島

鈴木重年 鹿兒島

鈴木重年 鹿兒島

石場秀道 福岡

大國三郎 兵庫

高須新愛知

高橋重吏 京都

鶴田亮 佐賀

中村正美 大分

能勢泉 高知

八木久左衛門 長崎

福田貢 福岡

小林平藏 福岡

合屋正孝 大分

有馬直矢 鹿兒島

堺勝馬 福岡

淡川重春 鹿兒島

重松義則 愛媛

京都帝國大學在學中

高知縣馬路小林區署

熊本大林區署

京都帝國大學在學中

臺灣總督府殖產局

熊本縣濱町小林區署

九州帝國大學在學中

農商務省山林局

東京大林區署

臺灣總督府營林所

嘉義出張所

小倉市外北方步兵第四

十七聯隊十中隊

入部俊夫 鹿兒島

高須力 鹿兒島

竹下福一 愛知

副島善二 佐賀

中山一二 熊本

中村甚之助 京都

野村徹 愛媛

山崎家德 熊本

福島利武 鹿兒島

郷田恕介 鹿兒島

麻生誠 大分

有村常清 鹿兒島

桐原正一 鹿兒島

宮竹透 鹿兒島

廣瀬一範 大分

一七

△選科修了者

農學科

明治四十五年七月十一日修了

死亡

愈良 謨 浙江省

大正二年七月十一日修了

陶嗣侃 四川省

大正三年七月十一日修了

中華民國江蘇省立第三農業學校 于 鑛 四川省

大正四年七月十一日修了

朝鮮開城郡松都高等普通學校 元洪 九朝鮮平安道

大正五年四月一日修了

梅宗時 廣東省

大正六年三月十六日修了

中華民國雲南省立甲種農業學校 曹觀三 雲南省

大正七年三月十六日修了

中華民國江蘇省立第三農業學校

黃召棠 江西省

中華民國北京國立農業專門學校

劉子民 湖南省

自營

吉田清 吾鹿兒島

中華民國廣東省新寧筋坑堡榮氏先大高等小學校

葉孟寅 廣東省

死亡

張子仁 雲南省

大正八年三月十五日修了

中華民國江蘇省南昌農業專門學校 董 瑞 浙江省

中華民國成都省立農事試驗場 何先恩 四川省

大正九年三月十四日修了

中華民國江蘇省立第一農業學校 陳方 浙江省

大正十年三月十四日修了

中華民國江蘇省立第一農業學校 湯錫福 浙江省

△林學科

明治四十五年七月十一日修了

中華民國天津農林試驗場 姚懋敏 直隸省

大正二年七月十一日修了

區 銓 廣東省

大正三年七月十一日修了

張福達 廣東省

中華民國直隸保定農業專門學校

包容 浙江省

中華民國江蘇省立第一農業學校

朱鳳美 江蘇省

中華民國四川省農林學堂

徐 葦 四川省

羅由門 廣東省

大正四年七月十一日修了

中華民國江蘇省立
第一農業學校

曾 濟 寬
魏 宗 邁
中華民國四川省
四川省

大正七年三月十六日修了

中華民國四川省
農事試驗場

溫 良
中華民國四川省
四川省

大正十年三月三十日修了

中華民國江西南昌
農業專門學校

張 福 仁
中華民國浙江省
浙江省

大正十年九月三十日卒業

△農學別科第一回 十六人

井田末喜 熊本
今泉國雄 福岡
西小野重德 鹿兒島
山口長至 鹿兒島
松岡傳 鹿兒島
新井福太郎 群馬

中華民國浙江省立
甲種農業學校

揚 清 輔
中華民國四川省
四川省

石川昇一 愛知
福留純清 鹿兒島
川島藤市 福岡
山之內種光 鹿兒島
天達平 鹿兒島
有滿秀彦 鹿兒島

大正十年九月三十日卒業

△林學別科第一回 六人

北村源助 熊本
宮田照 鹿兒島
花田主計 福岡
中野善賦 鹿兒島
黑田茂作 宮崎
神川義彦 鹿兒島
千代島廣次 福岡
山下高男 鹿兒島

湯地平治 宮崎
日高靖吾 鹿兒島

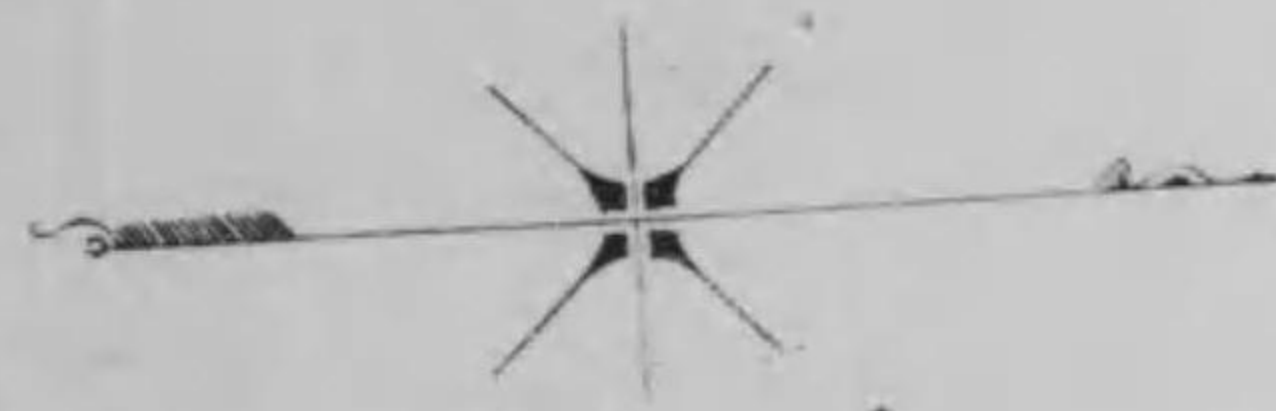
額田寬夫 岡山
中野一德 熊本
森田義德
西俣秀彦 鹿兒島

大正十年九月三十日林學別科修業

山下高男 鹿兒島

鹿兒島高等農林學校全圖

- | | | | | |
|-----------------|----------------|---------------|--------------|-------------|
| (1) 教室及事務室 | (21) 同遊樂所 | (41) 製乳室 | (61) 豚舍 | (81) 同附屬便所 |
| (2) 同附屬便所 | (22) 同膳所及釜場 | (42) 農産林産製造場 | (62) 鶏舍 | (82) 同生徒實驗室 |
| (3) 同渡り廊下 | (23) 同浴室 | (43) 調製場 | (63) 表門 | (83) 同附屬室 |
| (4) 生徒扣所及顕微鏡室 | (24) 同食堂及配膳室 | (44) 酒精蒸溜室 | (64) 裏門 | (84) 同渡り廊下 |
| (5) 同附屬便所 | (25) 同附屬渡り廊下 | (45) 篤志農夫舍 | (65) 弓射場 | |
| (6) 同渡り廊下 | (26) 同膳所附屬便所 | (46) 同便所 | (66) 弓的場 | |
| (7) 宿直室及小便室 | (27) 瓦斯發生機室 | (47) 納屋 | (67) 水禽舍 | |
| (8) 講堂兼圖書閱覽室 | (28) 瓦斯タンク | (48) 露地敷石場 | (68) 山羊綿羊種畜舍 | |
| (9) 書庫 | (29) 雜具置場 | (49) 收納場 | (69) 動植物學實驗室 | |
| (10) 同附屬渡り廊下 | (30) 薪乾燥室 | (50) 敷物庫 | (70) 昆虫飼育室 | |
| (11) 雨天體操場及銃器庫 | (31) 給水タンク | (51) 堆肥場 | (71) 定温器室 | |
| (12) 門衛所 | (32) 肥料効能試驗室 | (52) 液肥貯藏室 | (72) 家畜體秤場 | |
| (13) 防火用具置場 | (33) 養蠶室 | (53) 葉置場 | (73) 養蠶科助手宿舍 | |
| (14) 門衛所附屬便所 | (34) 貯桑室 | (54) 畜舎 | (74) 同第三養蠶室 | |
| (15) ランプ置場 | (35) 養蠶室附屬渡り廊下 | (55) 飼料調製場 | (75) 同第二養蠶室 | |
| (16) 寄宿舎 | (36) 同附屬便所 | (56) 農車置場 | (76) 同第三貯桑室 | |
| (17) 同昇降台監室及宿直室 | (37) 農場管理室及標本室 | (57) 農林夫舍 | (77) 同第二貯桑室 | |
| (18) 同湯呑所 | (38) 同附屬便所 | (58) 農林夫舍附屬便所 | (78) 同附屬便所 | |
| (19) 同病室及便所 | (39) 化學肥料貯藏場 | (59) 大小農具置場 | (79) 同附屬渡り廊下 | |
| (20) 同便所 | (40) 生徒實習室 | (60) 煉炭室 | (80) 同教室及實驗室 | |



工 場 下 其 他	木 造	石 造	鐵 造	廊 下	井 戸	芝 生	道 路	溝	橋	土 堤	池
-----------------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---	---	--------	---

